

2021年度（令和3年度） 情報公開資料

- ・ 事業の概要等
 - ・ 事業報告書
 - ・ I A C 報告書
- ・ 計算書類及び附属明細書
 - ・ 監事監査報告書
- ・ 独立監査人の監査報告書
 - ・ 事業計画書
- ・ 理事 監事 評議員名簿
 - ・ 役員等報酬規程

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
28 兵庫県	227 宍粟市	28000	7140005006897	01 一般法人	01 運営中
(7)法人の名称	社会福祉法人正久福祉会				
(8)主たる事務所の住所	兵庫県	宍粟市	一宮町福知 5 7 1		
(9)主たる事務所の電話番号	050-3612-8299	(10)主たる事務所のFAX番号	050-3066-3842		
(11)従たる事務所の有無	2 無				
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページ	http://www.shoukyu.com		(14)法人のメールアドレス	madoka@shoukyu.com	
(15)法人の設立認可年月日	昭和62年3月11日		(16)法人の設立登記年月日	昭和62年3月30日	

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7	(2)評議員の現員	7	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績)(円)	123,780
-----------	---	-----------	---	-------------------------------	---------

(3-1)評議員の氏名	(3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
飯田 吉則 市議会議員		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2
段林 繁 農業		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2
小田 伸二 会社員		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	1
世良 智 団体職員		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	1
村上 貞治 農業		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2
下川 洋一 農業		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	2
岡崎 耕三 農業		R3.7.5 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 無	2 無	0

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績)(円)	33,578,216	2 特例無
----------	---	----------	---	-------------------------------	------------	-------

(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況	(3-8)理事の任期	(3-9)理事要件の区分別該当状況	(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態	(3-13)前会計年度における理事会への出席回数
上田 芳史	1 理事長	平成5年3月30日	1 常勤	令和3年6月23日	1 法人職員	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	1 有	3 職員給与のみ支給	4
上山 安博	3 その他理事		1 常勤	令和3年6月23日	1 施設長	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無	3 職員給与のみ支給	3
山川 義光	3 その他理事		1 常勤	令和3年6月23日	1 農業	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	3 職員給与のみ支給	3
出水 賢也	3 その他理事		1 常勤	令和3年6月23日	1 施設長	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	3 施設の管理者	2 無	3 職員給与のみ支給	4
船橋 靖明	3 その他理事		1 常勤	令和3年6月23日	1 法人職員	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	3 施設の管理者	2 無	3 職員給与のみ支給	3
上田 崇	2 業務執行理事		1 常勤	令和3年6月23日	1 施設長	2 無	R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	3 施設の管理者	1 有	3 職員給与のみ支給	4

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。
「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績)(円)	159,888
----------	---	----------	---	------------------------------	---------

(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日
(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数	
上垣 博	農業	2 無	令和3年6月23日
R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	6 財務管理に識見を有する者(その他)		4
在賀 孝介	農業	2 無	令和3年6月23日
R3.6.23 ~ 令和4年度に関する定時評議員会の終結の時まで	3 社会福祉事業に識見を有する者(その他)		4

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名(監査法人の場合は監査法人名)	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額(円)

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の数			
①常勤専従者の実数	8	②常勤兼務者の実数	0
		③非常勤者の実数	4
		常勤換算数	0.0
		常勤換算数	3.2
(2)施設・事業所職員の数			
①常勤専従者の実数	164	②常勤兼務者の実数	0
		③非常勤者の実数	142
		常勤換算数	0.0
		常勤換算数	86.8

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数				(3)評議員会ごとの決議事項
	評議員	理事	監事	会計監査人	
令和3年6月23日	6	6	2	0	・中期事業計画について ・決算について ・理事及び監事の改選について ・退職手当の支給について

令和4年3月24日	6	6	2	0	・宝塚まどか園訪問介護事業所の廃止について ・第一次補正予算について ・次年度事業計画について ・次年度当初予算について
-----------	---	---	---	---	--

(4)うち開催を省略した回数 0

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和3年6月8日	5	2	・非常勤職員給与規程の変更について ・運営規程・重要事項説明書・契約書の改定について ・中期事業計画について ・事業報告について ・決算について ・理事及び監事の改選について ・退職手当の支給について ・評議員会の招集及び議案について
令和3年6月23日	6	2	・理事長の選任について ・業務執行理事の選任について ・評議員選任解任委員の改正について ・評議員の改選について ・総合施設長の選任について ・評議員選任解任委員会の招集及び議案について ・非常勤就業規則の改定について ・定年再雇用規程の改定について
令和3年9月22日	6	2	・給与規程の改定について ・育児・介護休業規程の改定について ・組織改編に係る規程類の改定について ・特別養護老人ホームまどか園防災規定の廃止について ・資格取得支援内規の制定について
令和3年12月22日	6	2	・宝塚まどか園訪問介護事業所の廃止について ・正職員勤務規程の改定について ・公印規程の改定について ・役員等損害賠償責任保険の契約について ・宗教法人明願寺に対する水光熱費の支払いについて ・利用者家族による不服事項について ・特別養護老人ホーム神戸まどか園指定更新について
令和4年3月8日	6	2	・給与規程の改定について ・新型コロナウイルス等感染症特別措置内規の改定（期間延長）について ・資金運用責任者の選任について ・第一次補正予算について ・定年延長について ・次年度事業計画について ・次年度資金運用計画について ・次年度当初予算について ・評議員会の招集及び議案について

(4)うち開催を省略した回数 0

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名

(2)監査報告により求められた改善すべき事項

(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応

10. 前会計年度に実施した会計監査(会計監査人による監査に準ずる監査を含む)の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称	②事業所の名称						
		③事業所の所在地				④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)				(イ) 借入金額(円)	(ロ) 建設費合計額(円)			
001	法人本部	00000001	本部経理区分	兵庫県 宍粟市 一宮町福知571番地	3 自己所有	3 自己所有	昭和62年3月30日	0	0	
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積		
020	一宮キャンパス	01030202	特別養護老人ホーム(介護福祉サービス)	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1030番地1	3 自己所有	3 自己所有	昭和62年7月1日	70	25,765	
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)		
020	一宮キャンパス	02120401	老人短期入所事業(短期入所生活介護)	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1030番地1	3 自己所有	3 自己所有	昭和62年7月1日	20	5,792	
		イ 大規模修繕								
020	一宮キャンパス	02120301	老人デイサービス事業(認知症対応型)	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1030番地1	3 自己所有	3 自己所有	平成10年10月1日	6	0	
		イ 大規模修繕								
020	一宮キャンパス	06260301	(公益)居宅介護支援事業	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1065番地	3 自己所有	3 自己所有	平成11年11月1日	0	0	
		イ 大規模修繕								
020	一宮キャンパス	02120901	老人介護支援センター	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1065番地	3 自己所有	3 自己所有	平成11年4月1日	0	0	
		イ 大規模修繕								
020	一宮キャンパス	02120101	老人居宅介護等事業(訪問介護)	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1030番地1	3 自己所有	3 自己所有	平成11年4月1日	0	0	
		イ 大規模修繕								
020	一宮キャンパス	02120601	認知症対応型老人共同生活援助事業	兵庫県 宍粟市 一宮町福知1029番地	3 自己所有	3 自己所有	平成18年7月1日	18	6,569	
		イ 大規模修繕								

030	宝塚キャンバス	ア建設費 イ大規模修繕	0						
		01030202 特別養護老人ホーム（介護福祉サービス）							
		兵庫県 宝塚市 美座2丁目22番2号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
030	宝塚キャンバス	02120401 老人短期入所事業（短期入所生活介護）							
		兵庫県 宝塚市 美座2丁目22番2号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
030	宝塚キャンバス	02120101 老人居宅介護等事業（訪問介護）							
		兵庫県 宝塚市 美座2丁目22番2号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
030	宝塚キャンバス	06260301 (公益) 居宅介護支援事業							
		兵庫県 宝塚市 美座2丁目22番2号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
040	神戸キャンバス	01030202 特別養護老人ホーム（介護福祉サービス）							
		兵庫県 神戸市長田区 大丸町1丁目5番1号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
040	神戸キャンバス	02120401 老人短期入所事業（短期入所生活介護）							
		兵庫県 神戸市長田区 長田区大丸町1丁目5番1号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							
040	神戸キャンバス	06260301 (公益) 居宅介護支援事業							
		兵庫県 神戸市長田区 長田区大丸町1丁目5番1号							
		ア建設費							
		イ大規模修繕							

1-1. 前会計年度における事業等の概要 - (2)公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称		②事業所の名称			⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		③事業所の所在地	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況				
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)								
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積		
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)		

1-1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称		②事業所の名称			⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		③事業所の所在地	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況				
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)								
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積		
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)		

1-1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

--

11-2. 地域における公益的な取組(地域公益事業(再掲)含む)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	宝塚まどか園おもちゃライブラリー	兵庫県宝塚市
	おもちゃライブラリー事業	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	宝塚まどか園ほっと広場	兵庫県宝塚市
	子ども食堂	
地域における公益的な取組⑤(既存事業の利用料の減額・免除)	利用者負担軽減	兵庫県宍粟市・宝塚市・神戸市
	利用料の法人独自の減免	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	ホ和トフェスティバル	兵庫県宍粟市
	施設開放による地域との交流	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	スマイルフェスティバル	兵庫県宝塚市
	施設開放による地域との交流	
地域における公益的な取組⑧(地域の関係者とのネットワークづくり)	秋祭り	兵庫県神戸市
	施設開放による地域との交流	
地域における公益的な取組⑦(地域住民に対する福祉教育)	認知症サポーター養成講座	兵庫県宍粟市
	認知症サポーター養成講座の講師	3/4
地域における公益的な取組⑦(地域住民に対する福祉教育)	介護技術講習会	兵庫県宝塚市

福祉教育)	介護技術講習会の講師	
地域における公益的な取組⑧（地域の関係者とのネットワークづくり）	一七市拡大版	兵庫県神戸市
	「あの日、1・17の思いやりの心を忘れぬために」をテーマに開催され、区社福連協として出店	
地域における公益的な取組⑧（地域の関係者とのネットワークづくり）	ほっとかへんネット長田への参画	兵庫県神戸市長田区
	社会福祉法人との連携・公益的な取り組みについての調査、研究、研修を行い、地域相談会などの実践	
地域における公益的な取組⑨（その他）	福祉避難所認証	兵庫県神戸市
	兵庫県福祉避難所認証制度に伴う協力	

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況 (社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額等の総額 (円)	0
(2) 社会福祉充実計画における計画額 (計画期間中の総額)	
① 社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業) (円)	0
② 地域公益事業 (円)	0
③ 公益事業 (円)	0
④ 合計額 (①+②+③) (円)	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
① 社会福祉事業又は公益事業 (社会福祉事業に類する小規模事業) (円)	0
② 地域公益事業 (円)	0
③ 公益事業 (円)	0
④ 合計額 (①+②+③) (円)	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	~

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1) 積極的な情報公表への取組	
① 任意事項の公表の有無	
㊦ 事業報告	1 有
㊧ 財産目録	1 有
㊨ 事業計画書	1 有
㊩ 第三者評価結果	3 該当なし
㊪ 苦情処理結果	1 有
㊫ 監事監査結果	1 有
㊬ 附属明細書	1 有
(2) 前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況	
① 事業運営に係る公費 (円)	1,208,747,152
② 施設・設備に係る公費 (円)	4,938,553
③ 国庫補助金等特別積立金取崩累計額 (円)	736,401,892
(3) 福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について	
施設名	直近の受審年度

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1) 会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況	
① 実施者の区分	02 監査法人
② 実施者の氏名 (法人の場合は法人名)	R S M清和監査法人
③ 業務内容	ア 公認会計士又は監査法人による、社会福祉法に準じた会計監査
④ 費用 [年額] (円)	4,000,000
(2) 法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況	
① 所轄庁から求められた改善事項	
② 実施した改善内容	

1 5. その他

退職手当制度の加入状況等 (複数回答可)	
① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度 ((独)福祉医療機構) に加入	1 有
② 中小企業退職金共済制度 ((独)勤労者退職金共済機構) に加入	2 無
③ 特定退職金共済制度 (商工会議所) に加入	2 無
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	1 有
⑤ その他の退職手当制度に加入 (具体的に: ●●●)	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	2 無
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

2021年度（令和3年度）事業報告

部門		法人本部（1）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知571番地
会議・委員会の種類		・評議員会 ・評議員選任解任委員会 ・理事会 ・運営執行 会議 ・業績評価委員会 ・育成評価委員会 ・各専門部会 （ケアマネ・相談・介護・給食・看護・事務）
基本事業		独自実施事業
財務の視点	財政再建への対応	・一宮キャンパス建て替えに向けた積立金目標指標の策定を行うために、一宮未来検討委員会を発足。委員会で移転に必要な資金について検討を行った。
		・収支差額・増減差額目標の策定に向けて、12月より経営再建会議（全体会）を12月より発足した。しかし、収支差額・増減差額目標の策定はできなかった。
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	・相談員部会において、契約時の補足説明等、3キャンパス情報共有を図り、ベース作成し、重要事項説明書・契約書の見直しを行うべく、素案を作成していた。契約時の補足説明については、3キャンパス共通事項・個別事項の整理完了。全面改定については、各事業所担当者への、契約書の取り直し業務の負担が大きいことから、改定は見送りとした。 ・IAC報告書等、IAC関連の3キャンパス共通化について検討に取り組んだが、共通化については、次年度へ持ち越した。
業務プロセスの視点	本部組織のスリム化	・本年度より本部職員常勤換算2.8人減で本部運営。法人全体の人件費圧縮に寄与できた。
	介護報酬改正への対応	・当法人事業に関連する介護保険最新情報等を確認し、関係部署へ回覧。必要に応じて対応依頼・調整を行い、職種部会において、関係職種間で改正内容の情報共有を図った。 ・また、（特定）処遇改善加算について、検討会を不定期開催し、支給内容・方法の検討を行い、加えて2月から始まる処遇改善支援補助金の取得に向けて検討重ね、給与規程の改定、内規の制定、取得の申請に取り組んだ。
	人事評価（業績評価、育成評価）制度の再構築	・業務・育成評価委員会は、5月から毎月1回計11回開催。 ・委員会では、次の人事考課関係資料を再構築した。①職能資格等級表（等級フレーム）とキャリアパス：各1種類、②職務分析構成図：全11職種、③職能要件書：13種類（11職種＋4・5等級版＋共通項目版計13種類）、④業績達成度評価表：1種類、⑤共通要素評価表：3種類。（再構築完了）
学習と成長の視点	働き方改革への対応	・働き方改革プロジェクトの一環で1月より毎月一回、顧問社会保険労務士による勉強会を実施した。 ・働き方改革関連法、パワハラ防止法（改正労働施策総合推進法）の施行、その他労働基準法等の法改正に沿った内容で非常勤就業規則の全面改定を行った。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
法人本部(1)

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
財務の視点	目標指標策定	一宮キャンパス建て替えに向けた積立金目標指標の策定を行う。	一宮未来検討委員会 開催回数:5回	<ul style="list-style-type: none"> 一宮キャンパス建て替えに向けた積立金目標指標の策定を行うために、一宮未来検討委員会を発足。委員会で移転に必要な資金について検討を行った。しかし、積立金目標指標の策定はできなかった。
	目標指標策定	収支差額・増減差額目標の策定。	経営再建会議 開催回数:4回	<ul style="list-style-type: none"> 収支差額・増減差額目標の策定に向けて、12月より経営再建会議(全体会)を12月より発足した。 目標策定に向け意見聴取を行ったが、収支差額・増減差額目標の策定には至らなかった。
顧客の視点	重要事項説明書・契約書の見直し	各事業の重要事項説明書・契約書について、3キャンパス統一様式で全面改訂を行う。	相談部会 :11回	<ul style="list-style-type: none"> 相談員部会において、契約時の補足説明等、3キャンパス情報共有を図り、ベース作成し、重要事項説明書・契約書の見直しを行うべく、素案を作成していた。 契約時の補足説明については、3キャンパス共通事項・個別事項の整理完了。 全面改定については、各事業所担当者への、契約書の取り直し業務の負担が大きいため、改定は見送りとした。 IAC報告書等、IAC関連の3キャンパス共通化について検討に取り組んだが、共通化については、次年度へ持ち越しとした。
	タイムリーな介護報酬情報の収集と共有	日々の情報収集・各担当者へタイムリーな情報提供・提案を行う。	関連する情報の発信の都度 :25回	<ul style="list-style-type: none"> 当法人事業に関連する厚生労働省発信の介護保険最新情報、関係団体からの制度解説や、関連情報等を確認し、関係する部署・部会へ回覧等により発信。必要に応じて対応依頼・調整を行い、職種部会において、関係職種間で改正内容の情報共有を図った。
業務プロセスの視点	介護報酬改正に伴う法令遵守事項の確認	改正内容の把握と法令遵守の徹底。	処遇改善検討会 :17回	<ul style="list-style-type: none"> (特定)処遇改善加算について、検討会を不定期開催し、支給内容・方法の検討を行った。 加えて2月から始まる処遇改善支援助金の取得に向けて検討会において検討を重ね、給与規程の改訂、内規の制定、取得の申請・支給に向けて取り組んだ。 また、制度改正に伴う各事業所の運営規程・重要事項説明書・契約書の改定に際し、必要に応じ、顧問弁護士に内容確認の上、確認・修正・資料作成援助を行った。
	人事評価(業績評価、育成評価)制度の再構築	昨年度に引き続き、人事評価(業績評価、育成評価)制度の見直しを行う。	業績・育成評価委員会 開催回数:11回	<ul style="list-style-type: none"> 業務・育成評価委員会は、5月から毎月1回計11回開催。 委員会では、次の人事考課関係資料を再構築した。①職能資格等級表(等級アパス)とキャリアパス:各1種類、②職務分析構成図:全11職種、③職能要件書:13種類(11職種+4・5等級版+共通項目版計13種類)、④業績達成度評価表:1種類、⑤共通要素評価表:3種類。(再構築完了) 2022年度は、評価配点案分検討を進め、再構築人事考課(評価)資料のリリースを順次行う。
学習の視点成長	働き方改革への対応	給与規程・非常勤給与規程の見直しを行う。	勉強会 開催回数:11回 事務部会 検討回数:5回	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革プロジェクトの一環で1月より毎月一回、顧問社会保険労務士による勉強会を実施した。 働き方改革関連法、パワハラ防止法(改正労働施策総合推進法)の施行、その他労働基準法等の法改正に沿った内容で非常勤就業規則の全面改定を行った。 事務部会で働き方改革に向けた法人・施設等での職員処遇改善の取り組みについて検討を行い、公休増に向けて近隣施設の公休日数調査を行った。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門		法人本部（2）
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知571番地
会議・委員会の種類		職員採用（求人活動会議・外国人対策会議）
		育成・研修会議（新卒・外国人労働者《技能・生活》）
		外国人対策会議（技能実習・介護留学・特定技能）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	福祉人材の育成	年間を通じて職業訓練校に対し5回、高等学校に対し2回、専門学校に対し2回、その他地域に向けてプレゼンをする機会がありました。その機会にまずは福祉や介護の魅力について情報発信し、結果採用にもつながるように実施しました。
		山崎高等学校生活創造科の初任者研修の授業について、4月15日～10月7日にかけて、計14回の講師の実施を行った。福祉に関する知識と介護技術を施設職員という経験の中から高校生向けにアレンジし発信した。
	外国人人材の研究と対策	新型コロナウイルスで、現地の情報は少ないが、特定技能生の確保に関する窓口の開拓を一步進めることができた。
顧客の視点	標準的介護能力の育成	法人新人研修に関して、3キャンパス共通の研修の実施とグローバルまでかの評価基準の見直しを行った。
業務プロセスの視点	人材育成体制の構築	OJTによる新人の現場研修について、3キャンパスバラバラの体制を共通した育成の流れにするため、新人育成マニュアルを作成した。
学習と成長の視点	スキルアップ支援	介護福祉士国家資格取得に対する支援を行った。
		技能実習が受審する初級試験・専門級試験の支援を行った。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
法人本部(2)

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視点を 貢献	福祉教育 福祉人材確保とグローバル活動	中学校のトライヤルやウィークの受入れや高等専門学校及び大学等と連携して福祉教育に携わる。また、福祉体験学習習入施設登録を行う。 ベトナム共和国をはじめ近隣国の送り出し機関と良好な関係づくりを行い、特定技能介護制度での人材確保を目指す。 外国人労働者の受け入れ制度の研究とアジアを中心に人材確保の情報収集を現地視察を含めて調査活動を行う。	山崎高等学校14回 神戸女子短期大学 30回 未実施 未実施	高等学校においては、初任者研修のテキストを中心に高齢者への関りや人権を尊重した介護サービスの重要性を伝えた。また、短期大学においては、社会福祉に関する広義な視点においては、高齢者福祉の現状を伝えることで市民・住民で支えることに若い世代が参画することの必要性を伝えた。 新型コロナウイルス蔓延により、直接的な交流がベトナムの送り出し機関とはできなかった。しかし、特定技能生の人材確保の視点から、登録支援機関や日本語学校と交流する活動を行った。 新型コロナウイルス蔓延により、現地視察等の調査活動は実施していない。
顧客の視点	標準的介護能力の育成	法人の育成計画に基づき介護人材の育成を行う。 法人独自の育成・評価システムを活用して技術取得状況を把握する。 外国人労働者が、介護人材として標準的な能力の習得に対する指導・育成・評価を行う。	13回 3回 12回程度	法人新人研修を年間として計画的に実施した。 グローイングまどかの評価を6月・9月・1月実施。評価後は現場の指導者による指導へと連動し育成へと繋がった。 技能実習2期生に関して、配属当初から約1年間定期的に研修を実施した。グローイングまどかの評価に関して、法人評価基準の見直しを行った。
業務プロセスの視点	人材の育成の体制の構築	施設指導リーダーの育成を含めた指導者支援を行う。 法人全体計画の進捗調整と施設指導・育成活動への助言を行う。 外国人労働者の採用に関する計画や指導・育成に関する情報の共有を行う。	23回 複数回 第1弾 6回 第2弾 6回	法人新人研修を元に施設の指導者となる委員会へのアプローチを委員会内で行った。(月2回の委員会を毎月実施。2月は1回) 主に新人に対する育成中心に委員会通して活動を行った。 一宮まどか園が、特定技能1期生(ネパールの採用に関する支援と入国待機時間を活用した入国前研修を11月・12月と1月・2月に分けて、育成・研修と計画及び実施した。
学習と成長の視点	資格取得支援	介護福祉士国家試験の受験支援(過去問等の準備・配布)を行う。 専門職としてのスキルアップを支援する。 技能実習生の初級試験及び専門試験受験支援を行う。	10回 複数回 初級試験 8名 専門級試験2名	8月中旬から12月末にかけて10回の問題集の提供を行った。受験者総数16名内、法人支援者9名。その内、合格者6名という結果。全体では、13名の合格者。 兵庫県介護福祉士会主催の研修等、3キャンパスへ情報発信を行った。 組合や技能実習実施機構から、初級試験及び専門級試験に関する情報入手して育成・研修課と協働で受験対策研修を実施した。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門	特別養護老人ホームまどか園 まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1	
会議・委員会の種類	運営委員会、接遇向上委員会、苦情解決委員会、個人情報保護委員会、感染症対策、衛生委員会、フェスティバル実行委員会、広報委員会、リーダー会議、給食会議、適正化委員会、口腔ケア委員会、入所計画委員会、サービス担当者会議	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	自然災害時、感染症拡大時の事業継続	地域、他施設との協定書を作れば完成。地域協定書原紙は完成。他施設との協定書は宍粟市社会福祉法人連絡協議会において協議会主導で作成いただくよう提案を行った。 3月運営委員会にて周知できた。
	地域行事への参加と盆会の開催	コロナ蔓延の状況継続の中、地域行事の参加は行えなかったが、一宮北小学校とのオンライン交流会が開催できた。
財務の視点	収入安定の為の稼働率維持	コロナ蔓延のなか、特養は目標稼働率を達成したものの、ショート目標86%に対して82.4%と落ち込み、合算目標96.5%が95.9%の実績となった。
	介護用品費の削減	介護現場主導でパットの削減に取り組み目標達成。
	栄養マネジメント強化加算算定	栄養マネジメント強化加算を算定、加えて個別機能訓練加算についても加算Ⅰ・Ⅱを算定。
顧客の視点	オンライン面会の充実	相談員携帯を施設で用意し、当日現場責任者でオンライン面会の対応ができるようになった。
	衣(医)食住の基本生活の向上	事務所の社内報の内容にも工夫を加え、職員に注意事項に発信をおこなった。
		栄養士のラウンドが頻繁化し、食事摂取量の打ち合わせが介護・ケアマネ・栄養士で行えている。厨房の調理の工夫点が、調理員により食事前にアナウンスを定期的に行っている。
	看護師が行うケアという意味での看護師の現場介入がしっかりおこなわれており、体調不良者の身体清拭食事介助を行っている。入院軽減につながっている。	
業務プロセスの視点	「ほのぼの」の活用範囲拡大	生活記録「ほのぼの」の移行は完了。ケア入力の内容の充実と数の増加をサブリーダーを中心に行っている。
	働き方改革の推進とシフト毎の役割の明確化	夜勤の拘束時間の変更については理事会承認を得て完了。満足度チェックを完了。
	業績評価・育成評価の実現	評価者に対する訓練についてはリーダー会議で開催。
学習と成長の視点	介護福祉士と介護支援専門員への受験に向けたサポート	介護支援専門員については宍粟市の研修にも3名参加。オンラインによる研修2名参加。合計6名が受験。結果1名合格。介護福祉士は今回1名受験、残念ながら不合格。
	サブリーダーの育成	サブリーダーとして1名任命。育成開始。育成強化ポイントを絞り育成中。
	園内研修の修正	メディアパスアカデミーを利用したeラーニングとZOOMのオンライン、復命研修を組み合わせた園内研修の形が完成。
	日本語教育の仕組みを作り	漢字テストに加えてクイズ形式のペーパーテストも実施。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 貢献	自然災害時、感染症拡大時の事業継続	災害時、感染症蔓延時の双方に対応した事業継続計画の見直し。 事業継続計画の周知と試行。(事業所内と地域)	1回	災害感染症共に事業継続計画は作成終了。地域、他施設との協定書の締結はできなかつた。他施設との協定書について、宍粟市社会福祉法人連絡協議会に問題提議を行った。
	地域行事への参加と盆会の開催	事業継続計画の周知と試行。(事業所内と地域) 近隣で開催される行事への参加。 新しいスタイルの盆会を各団体と協議し実施する。	2回	感染症における弁当配布訓練、またゾーン分け訓練は6月実施。BPCの周知は3月運営委員会で実施。 コロナ禍で盆会は中止になったが、一宮北小学校とオンライン交流会が開催できた。
	収入安定の為の稼働率維持	相談員の調整力向上による新規SS利用者の獲得。 新館の顧客対応力強化。(デイ棟の活用を含め)	1回	2月から介護支援専門員が体調を崩すなか生活相談員は頑張ってショートの調整をしてくれた。新館もコロナ禍でありながら可能な限りレクリエーションを行ってくれた。
財務の視 点	介護用品費の削減	リフレのバット使用に関する研修研究と費用削減。	マイナス50万	介護員の努力の結果マイナス60万まで削減に努めた。
	栄養マネジメント強化加算算定	科学的介護記録の活用と算定開始。	加算算定3加算	栄養マネジメント強化加算を算定、加えて個別機能訓練加算についても加算Ⅰ・Ⅱを算定。
	オンライン面会の充実	オンライン面会の対応者を増やし、相談、介護、看護の情報を引受人と共有する機会とする。	8回/月	相談員携帯を事業所にて準備し、現場責任者がオンライン対応できるようになった。
顧客の視 点	衣(医)食住の基本生活の向上	居室への入室時のマナー再構築と離床後の寝具、衣類の整理整頓。 調理のこだわりを利用者に伝え、食べる楽しみを増やす。	完了	居室への入室時のマナー再構築と離床後の寝具、衣類の整理整頓については下半期で達成。 調理のこだわりを調理員自ら、食事前にご利用者にアナウンスを実施。
		歯科医・看護・介護が共同で口腔ケアを推進し、高リスク者への対応を強化する。 基礎疾患の把握と体調変化への対応強化。	12回	看護師が行うケアという意味での看護師の現場介入がしつかりおこなわれており、体調不良者の身体清拭食事介助を行っている。入院軽減につながっている。
		居室担当による生活記録拡大とモニタリング実践。 食事も、服薬情報、体重の入力開始。 勤務表作成時の人員の過不足による業務量調整と夜勤の必要時間帯の再検討。	随時	生活記録「ほのぼの」の移行は完了。ケア入力の内容の充実と数の増加をサブリーダーを中心にしている。 夜勤の拘束時間の変更については理事会承認を得て完了。満足度チェックを完了。勤務表での過不足確認ができるシートに変更。
業務プロセスの視 点	業績評価・育成評価の実現	業績評価、育成評価の仕組みを理解し、公平かつ適切な職員評価の実施。	月40平均	考課者訓練は明らかに実施が少なかつた。
		介護福祉士受験に向けたサポート。 介護支援専門員の受験に向けたサポート。	随時	介護支援専門員については宍粟市の研修に3名参加。オンラインによる研修2名参加。合計6名が受験。結果1名合格。介護福祉士は今回1名受験、残念ながら不合格。
		サブリーダーを育成し、4名体制を維持する。 メディバアカデミーの試験的導入による研修体制の再検討。(新人研修と協調した上で)	2回	サブリーダーとして1名任命。育成開始。育成強化ポイントを絞り育成中。 メディバアカデミーを利用したeラーニングとZOOMのオンライン、復命研修を組み合わせた園内研修の形が完成。リーダーが部下に伝えたい研修の実施。
学習と成長の視 点	園内研修の修正	職員や地域の協力による日本語教育を実施。 社内報を活用し、職員情報を広める。	毎週金曜日	漢字テストに加えてクイズ形式のペーパーテストも実施。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門		まどか園在宅介護支援センター
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1065番地
会議・委員会の種類		部署長会議、運営委員会、衛生管理委員会、感染症対策委員会、育成評価委員会、居宅事業所会議、盆会委員会、地域包括ケア会議、自立支援サポート会議、事業所連絡会、介護支援専門員部会、宍粟市ケアマネ連絡会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	地域包括ケアシステムの推進	アセスメントによりフォーマルサービスだけでなくインフォーマルサービスを含む必要なサービスの情報提供を行い、希望されれば調整など行い計画書に位置付けています。
	日頃からの周辺地域や近隣住民との連携	感染予防のため地域行事などの参加や交流はできていません。利用者の住む近隣住民への協力も家族を通して依頼していただくようにしており、直接依頼はできていません。
財務の視点	財政再建への対応	1月より勤務形態：常勤（雇用形態：非常勤）1名採用し、特定事業所加算算定できる人員は確保できました。
		感染予防対策をとりながら予定通り事業開催でき、令和3年4月登録者数12名・利用者数38名/月から令和4年3月登録者数14名・利用者数46名/月へ利用者数を増やすことができました。
		2021年度当初予算より事務費削減できました。
顧客の視点	公平中立なケアプランの策定	初回、更新など担当者開催時に利用割合を情報公開し確認署名を得ています。まどか園ヘルパーステーションの利用割合については上期90.6%、下期87.1%と80%を超えていますが、まどか園在宅介護支援センターが特別地域居宅介護支援加算を受けている事業所であるため特定事業所集中減算の対象にはなりません。
	感染症や災害が発生した場合に必要なサービス継続提供できる体制の構築	計画書期間の見直し、更新毎に防災・災害の対応を計画書に入れ込んでいます。事業所の災害時の事業継続計画原案は作成しましたが他居宅介護支援事業所の事業継続計画について確認できておらず完成には至っていません。
業務プロセスの視点	総合的な支援で在宅生活継続	課業の確認ができていません。
	感染症対策の強化	感染症対策委員会の参加、月1回の事業所内会議により情報共有しています。利用されている事業所関連の感染者があり予定変更などの対応は行いましたが、利用者・家族の感染はなく過ごせています。
学習と成長の視点	研修への積極的な参加	地域包括支援センター、宍粟市保健福祉課、宍粟市ケアマネ会が主催する研修に8回参加しました。
	事例検討等によりスキルアップ	月1回事業所内会議を開催し情報共有や伝達等行いました。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
まどか園在宅介護支援センター

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の 貢献 視点	包括的な居宅サービス計画作成	利用者・家族にさせていただくことやインフォーマルサービスを含む居宅サービス計画書を作成。	計画書見直し毎	初回計画・計画書見直しの際に利用者・家族にさせていただくことやインフォーマルサービスを明記しました。
	事業所内会議で計画書評価	事業所内会議開催。	月1回	事業所内会議は開催しましたが、各担当毎の計画書のサービス内容の確認まではできていません。
	自治会交流	自治会行事参加、キャンパス行事参加。	0回	感染症予防のため自治会行事参加、キャンパス行事参加はできませんでした。
	利用者近隣住民の協力体制づくり	計画作成、見直し毎に必要なに応じて近隣住民の協力の必要性を検討し、必要であれば協力依頼する。	計画書作成数	利用者近隣住民へ家族より協力依頼していただきましたが、感染症予防のため介護支援専門員から直接近隣住民へ協力を依頼することはできませんでした。
財務の 視点	財政再建への対応	特定事業所加算Ⅲを取得できる体制を整えます。	常勤換算3.6人	勤務形態：常勤1名採用により特定事業所加算算定の人員確保はできました。
	ミニデイ利用者数確保	ミニデイ定期利用者数増。	年50回開催	休みが続いている利用者に参加呼びかけ、3名新規利用調整できました。年間平均利用者36.17名/月でしたが、下期は40.16名/月となりました。
顧客の 視点	経費削減	事業費を予算内で実行。	物品購入・修繕など 都度	予算内運営ができました。
	公平中立なケアプランの策定 感染症や災害への対応	情報公開、利用者へ説明。 感染症や災害が発生した場合であっても必要なサービスが継続的に提供できる体制の構築。	年2回 0回	年2回利用割合の見直しを行い、担当者会議開催時に情報公開を行いました。まどか園ヘルパーステーションについてはヘルパーステーションが町内1事業所しかなく一宮北部利用者に対し町外からの訪問調整が難しいため80%を超えています。 事業所内の事業継続計画の策定が完了しておらず、研修実施・訓練ができませんでした。
業務の プロセス の視点	居宅サービス計画書の見直し	課業確認、居宅サービス計画書の確認。	月1回	事業所内会議は開催しましたが、課業の確認、包括的な居宅サービス計画が作成の確認はできていません。
	居宅サービス計画書の見直し	利用者や家族と平時から感染症や災害発生時でも生活が継続できるように相談や対応の検討をしておく。	計画書見直し毎	月1回の事業所内会議や情報入り次第感染状況などの情報共有・情報提供は行っています。事業所内の事業継続計画の策定はできておらず、研修実施できませんでした。利用者・家族とは関係事業所感染患者があり一時休止の場合の相談・対応はできませんでした。
学習と 成長 の視点	基礎知識の向上	介護支援専門員としての基礎的な研修を受ける。	年8回	災害対応力向上研修、リスクマネジメント研修、多職種連携などの研修に参加しました。
	情報共有、介護支援専門員としてのスキルアップ	介護支援専門員としての資質の向上。	月1回	事業所内会議で情報共有、留意事項の確認や伝達は行いましたが、事例検討はできませんでした。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門	まどか園ヘルパーステーション	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1	
会議・委員会の種類	部署長会議・運営委員会・衛生委員会・感染症対策委員会	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	事業継続計画の早期作成	施設としての計画書を参考にいただくも作成できませんでした。
	地域交流行事への参加	施設内での盆踊りが開かれましたが、感染予防の為不参加でした。
財務の視点	財政再建への対応	空き状況を伝え新規獲得目指すも日中の空き時間を埋める事ができませんでした。
		職員に修繕費削減を目指す事を伝え公用車を注意して使用する意識付けができました。
顧客の視点	看取り介護を強化	看取り介護の訪問できる職員数も増えました。身体介護が不安なヘルパー指導が今後の課題です。
	利用者の意向の実現	買い物や早朝訪問希望時は、可能な限り少ない人員でしたが意向に添える様対応をしました。
業務プロセスの視点	登録ヘルパーの遠方訪問	通勤途中に利用者宅があり登録ヘルパーの遠方訪問の依頼をすることはほとんどなく未作成のままでした。
	計画的な有給消化	計画的に有給取得しての長期休暇はできませんでしたが、月ごとに希望を聞き取得してもらえました。
学習と成長の視点	高齢者虐待防止法・個人情報保護法の法令遵守の徹底	宍粟市ヘルパー連絡会で高齢者虐待防止法研修が開催され持ち帰り研修を行いました。
	看取り介護研修を増やす	看取り期の利用者への心構えと声掛けの方法をオンライン研修を利用して外部講師に教わりました。
	研修を受ける環境を整える	勤務表作成時計画していましたが、定期には難しく全員出勤できる日を調整しながら研修を行いました。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
まどか園ヘルパーズステーション

		評価・報告	
分類	重点実施項目	実行計画	実施回数
地域の視 点 貢献	事業継続計画の早期実現	事業継続計画の作成。	未作成
	地域交流行事への参加	盆会、福知もみじ祭り開催時に参加。	開催なし
財務の視 点	財政再建への対応	時間帯による訪問件数差を減らす。 公用車の修繕費軽減。	日中訪問がうめられた かった 11千円予算越え
	顧客の視 点	看取り介護を強化 利用者の意向を実現	約3名 早朝訪問109件増
業務プ ロ の視 点 七	登録ヘルパーの遠方訪問	遠方の訪問へ対応出来るよう要領の見直し。	未作成
	計画的な有給消化	長期休暇の実現。	ある程度計画的に取 得できた
学 習 の 視 点 成 長	高齢者虐待防止法・個人情報保 護法の法令遵守の徹底	高齢者虐待防止研修、個人情報保護研修の徹底。	R3年3月研修
	看取り介護研修を増やす	看取り介護に強い職員を増やす。	3回研修開催
	研修を受ける環境を整える	勤務表と訪問の調整。	設定曜日開催できな かった

評価・報告

特養が計画書作成され1部いただきましたが、先送りしたため作成できませんでした。社協がいち早く訪問介護としての計画書を作成しておられましたので、参考にさせていただきたく事になっており次年度での完成を目指します。

地域交流としての盆踊りは、感染予防で開催されませんでした。施設内で行われた行事にも感染対策として入室できず参加できませんでした。

日中の10:30～11:30・15:00～16:00 空き状況をケアマネへ相談し新規利用者獲得を目指しましたが、新規自体が少なく差を埋める事ができませんでした。

3ヶ月毎の点検はできませんでしたが、修繕費削減の声掛けを行う事で、各自注意し早めの修繕を心掛ける意識付けができました。

看取り介護としての訪問6人でした。その内、状態安定し長期訪問できた方もあり、声掛けや家族への介護相談、指導など職員から伝える事ができました。ヘルパー2名は、身体介護に不安がまだあり、次年度の課題とします。

買い物支援としては、限られた店舗での購入の為制限があるも可能な限り対応してきました。早朝訪問も対応できる職員5人で、昨年度より件数を増やす事ができました。

ヘルパーが直行、直帰する道中に利用者宅があり、登録ヘルパーに遠方訪問してもらおう事は、ほとんどありませんでした。その為、急ぎで検討することなく未作成のままでした。

勤務表作成時に、1～2日有給希望してもらい有給消化してもらいました。ただ、計画的に連続した有給の連休は出来ませんでした。次年度は、希望が出やすい様に一人一人相談してみます。

宋栗市ヘルパー連絡会で高齢者虐待防止研修がありましたので、持ち帰り研修を行いました。

令和3年11月、令和4年1月、3月に開催をしました。オンラインで外部講師にて看取り介護としての声掛けや考え方を教わりました。

第3水曜日を予定しておりましたが、全員出勤出来ない事が多く他の曜日に調整しました。日中に行う為、利用者へ訪問時間の調整を依頼してき
たが難しかった。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門	グループホームまどか園 まどか園デイサービスセンター（休止中）	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1029番地	
会議・委員会の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・西担当者会議 ・東担当者会議 ・全体会議 ・運営推進会議（身体拘束適正化委員会） ・運営委員会 ・衛生委員会 ・感染症対策委員会 ・口腔ケア委員会 ・給食会議 	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の 視点	効率的なサービス利用促進	GH利用者で特養移動可能者の順位付け、特養担当者と調整を行い、2名のSSロングでの待機者を確保し、1名入居に繋げることができたが、残りの待機者がGH入居が難しい状況となった。
	地域交流の促進	福知運動会・ふれあい喫茶・秋祭り・入居者出身地域行事等に、コロナ禍の為参加できなかった。そのような状況下で、8・10・12・2月に運営推進会議を開催することができ、コロナ禍での地域の状況を知ることができた。
	サービス利用の情報提供	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換・発信にて、地域への情報提供へ繋げ、年2回開催した。施設利用料等について、個別に情報の入手を行った。
財務の視点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を検討し、今年度年間稼働率は99.98%で推移した。また、宍粟市内GHの利用料の調査を実施し、運営推進会議にて固定利用料の値上げの具体的な提起を行い、了解を得た。家族に報告を行い、同意を得て、4月分より値上げを実施することになった。
		常勤職員・夜勤専従職員の確保に努めたが、確保できなかった。
		介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請し、科学的介護推進加算（LIFE）を4月より算定したが、他の新たな加算の算定はできない状況である。
顧客の視点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う予定でしたが、コロナ禍の為十分できなかった。
	GHに最適な対象者への情報提供	地域のケアマネの全事業所へ訪問する予定でしたが、コロナ禍の為、出来なかった。一宮町内の民生委員に情報提供の文書の送付を行う準備ができた。
	キャンパス内の情報共有	潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有を行えた。
業務プロセスの視点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを不十分であるが行えた。
	介護関連無資格者に資格取得の奨励	介護保険制度に基づき、積極的な介護関連資格取得の支援を行ったが、主催者都合で参加が出来なかった。
	業務の見直しの実施	パウチ食をほぼ毎日導入することにより、業務の見直しが少しずつ進んでいる。また、朝礼での報告内容についても検討し、業務内容の可視化を行った。
学習と成長の視点	認知症研修の継続実施	この期では、GH内での認知症勉強会が開催できなかった。
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と育成・研修課と呼応した介護福祉士資格取得支援はできなかった。
	外部の認知症研修への参加	特養の行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加予定であったが、参加できなかった。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
グループホームまどか園・まどか園デイサービスセンター(休止中)

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	効率的なサービス利用促進	GH利用者で特養移動可能者の順位付けを行い、特養担当者で調整する流れを実行する。	2名	GH利用者で特養移動可能者の順位付け、特養担当者で調整を行い、1名の入れ替えと、2名のSSロングでの待機者を確保し、1名入居に繋げることができたが、残りの待機者がGH入居が難しい状況となった。
	地域交流の促進	コロナ禍が終息した時に施設行事・担当利用者行事単位で地域行事などに参加する。	0回	福祉運動会・ふれあい喫茶・秋祭り・入居者出身地域行事等に、コロナ禍の参加できなかった。そのような状況下で、8・10・12・2月に運営推進会議を開催することができた。
	サービス利用の情報提供	市内4箇所GHでの連携を続け、情報の交換・発信にて、地域への情報提供へ繋げる。	3回	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換・発信にて、地域への情報提供へ繋げ、年2回開催した。施設利用料等について、個別に情報の手を行った。
財務の視 点 の 視 点	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的実施する。	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的実施する。	99.98%	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を検討し、今年度年間稼働率は99.98%で推移した。また、栄栗市内GHの利用料の調査を実施し、運営推進会議にて固定利用料の値上げの具体的な提起を行い、了解を得た。家族に報告を行い、同意を得て、4月分より値上げを実施することになった。
	常勤職員又は、夜勤専従職員の確保する。	常勤職員又は、夜勤専従職員の確保する。	0名	常勤職員・夜勤専従職員の確保に努めたが、確保できなかった。
	介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請する。	介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請する。	1回	介護報酬の改定に伴い、算定できる加算は、積極的に申請し、科学的介護推進加算(LIFE)を4月より算定したが、他の新たな加算の算定はできない状況である。
顧客の視 点 の 視 点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う。	2名	ご家族面会時に情報収集・提供を行う予定でしたが、コロナ禍の為十分できなかった。
	GHに最適な対象者への情報提供	地域のケアマネの全事業所へグループホームまどか園の情報を持って訪問する。	0回	地域のケアマネの全事業所へ訪問する予定でしたが、コロナ禍の為、出来なかった。一宮町内の民生委員に情報提供の文書の送付を行う準備ができた。
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有を行う。	2名	潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有が行えた。待機者2名は確保できていたが、待機者のADL等の低下により、待機者となりえなかった。
業務プロセスの視 点 の 視 点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを行う。	2回	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを不十分であるが行えた。
	介護関連無資格者に資格取得の勧奨	介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行う。	0名	介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行ったが、主催者都合で参加が出来なかった。
	業務の見直しの実施	シフト表の見直しを行うと併に業務の見直しを行う。	12回	パウチ食をほぼ毎日導入することにより、業務の見直しが少しずつ進んでいる。また、朝礼での報告内容についても検討し、業務内容の可視化を行った。
学習の視 点 の 視 点 の 視 点	認知研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を隔月開催する。	2回	GH内での認知症勉強会は、1回開催できた。研修委員会主催の研修で後日、ビデオを見ることできた。
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と育成・研修課と呼応した介護福祉士資格取得支援を行う。	0名	実務者研修への受講支援と育成・研修課と呼応した介護福祉士資格取得支援はできなかった。
	外部の認知症研修への参加	研修部が行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加する。	0回	特養の行う高齢者虐待・個人情報保護関連の研修に全員が年2回以上参加予定であったが、参加できなかった。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門		特別養護老人ホーム宝塚まどか園 宝塚まどか園ショートステイ
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		<ul style="list-style-type: none"> ●会議 運営委員会、主任会議、リーダー会議 ●委員会 入居計画委員会、感染症対策委員会、事故防止委員会、身体的拘束適正化推進委員会、高齢者虐待防止委員会、安全対策委員会、給食会議、褥瘡対策委員会、広報委員会 ●外部 県老協（阪神ブロック）、宝塚市介護保険事業者協会、社会福祉法人連絡協議会、ボランティアセンター（社会福祉協議会）、美座コミュニティ運営委員会、防災対策委員会（コミュニティ美座）、ネットワーク会議、福祉避難所連絡協議会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	まどかブランドの構築	<p>①コロナの終息がみえず、地域の会議への参画はかないませんでした。防災会議は6回参加し、宝塚市の福祉施設の防災について意見交換を行いました。</p> <p>②自治会については、コロナが少し収まっていた11月に挨拶周りを行いました。介護福祉士の実習生を9名受け入れました。看護学校の実習生8名を受け入れました。</p>
	地域住民の居場所作り	<p>①コロナ禍のなか、実施には至りませんでした。</p> <p>②いきいき百歳体操は、会場提供ができなかったため、近隣の会場にて夏以降再開されています。終息した際には再度会場提供に向けて調整していきます。</p> <p>③コロナ禍のなか、中止となりました。来年度に向けて宝塚市主催による福祉教育プログラムという授業のプログラムの検討を行いました。</p>
財務の視点	重要加算の取得	4月よりプロジェクトを立ち上げ、7月に新たに管理栄養士を雇用することにより8月より栄養強化ケアマネジメント加算の算定できるようになりました。ミールラウンド（食事の様子を観察する）などを強化し、細やかな利用者の食事提供を行いました。
	稼働率の安定化	<p>①2021年度年間の新規ショート51件の利用がありました。</p> <p>②要医療の状態の入居の判定基準の見直しを行いながら、緊急ショートの受入れ調整を行いました。</p> <p>コロナ禍により、長い利用のショート利用者を増やす方針転換し、稼働率の安定を図ったが、第5波で職員2名の感染、第6波で職員4名利用者3名の感染もあり、職員体制を確保しつつ、稼働率を維持することに大変苦慮しながら、年間95.72%の稼働率を残すことができました。年間3,000万円の実質黒字で終えることができました。</p>
	経費の節減	<p>①オムツや日用品の使用状況を毎月確認し、おむつの使用の見直し等を行い昨年の経費と同レベルに維持できました。水道光熱費については、社会情勢により高騰しており、昨年度を大きく超える額になっています。当面下落することはないため、光熱費削減の工夫を継続して行っています。</p> <p>②OA機器の共有化や物品のまとめ買いを行うことによるコスト削減、また、在庫管理を徹底して行うことにより昨年対比8.5%の削減となりました。</p>

顧客の視点	科学的介護への取り組み	4月よりプロジェクトを立ち上げ、LIFEに係る必要なデータの確認を行い、入力する役割分担を定め7月より褥瘡マネジメント加算算定し、8月より栄養強化ケアマネジメント加算の算定できるようになりました。しかしながら、科学的介護推進体制加算については、その算定プロセスが詳細に判明するにつれ、現状での算定開始が困難と判断し、次年度への課題（令和4年下期から算定開始）としました。ただし、記録の在り方等、業務プロセスの見直しも含めて行う事としました。
	褥瘡予防の強化	昨年末に自動体位変換エアマットの導入も行き、運用を開始しました。7月までに定着化し、ハイリスク者への運用ができています。褥瘡マネジメントより、褥瘡危険因子のチェックを行い、クッション等の見直しを行い褥瘡予防に努めた結果、年間延べ663人の褥瘡発症にとどまった。昨年対比32.2%減となりました。
	介護記録の充実・発展	科学的介護の取り組みに向け、どういった記録が必要か研修などに参加し、目星をつけることはできました。科学的介護推進体制加算の算定のずれ込みにより、必要な記録の調整もずれ込んだため、家族への記録送付の見直しについては、変更を行う案内を送るに留まりました。来年度は必要な記録の選択と集中を行いご家族への記録送付内容も科学的介護推進体制加算に併せて変更を行っていきます。
業務プロセスの視点	業務効率化の実施	感染症のBCP作成に伴い、最低限の介護業務についての整理を行えたが、日常業務における適正化については、さらに整理が必要であることがわかった。介護職員の勤務表から、見える化を行える準備を整え、勤怠管理の基礎知識や残業認定のプロセス等、来年度介護リーダーと共に適正化に向けて引き続き取り組んでいきます。
	事業継続計画（BCP）の作成	感染症に対するBCP原案を7月に作成し、10月にゾーニング研修、3月にBCP研修を実施した。今後は感染症対策委員会で継続して見直しを検討し、運営委員会に提案していく事としました。 自然災害に対するBCPの原案の作成を行うことができました。非常電源や職員の非常食等準備できていないものが多くあることが判明しました。来年度は非常災害対策委員会を設置し、BCPの未整備部分について、検討し災害に備えていきます。
	ノーリフティングケアの導入	①個浴のノーリフティング化に向けて、リフト浴を3種類の中から検討しました。いちら製品のリフト付シャワーチェアを3/28導入しました。 ②1/14雪組に移乗リフトを1台導入しました。前年度2組に導入時に使用した「リフト導入マニュアル」の見直しを行い使用する事でスムーズに指導ができています。施設の半分のグループで移乗リフトの導入ができています。
学習と成長の視点	介護基礎知識の向上	①今年度の新人及び栄養士採用に伴いOJTトレーナー研修を実施しました。また、介護のOJTトレーナーは、新人がEラーニングで学習した内容を確認しながら育成を行いました。 ②重大事故予防のための資料を作成し、リーダーを対象に研修を実施し、部下への周知を行いました。また、Eラーニングを介護全員に実施することにより、共通の学びとなり一定の知識の共有ができました。
	Eラーニングを活用した、園内研修の体系化	Eラーニングについて、介護職員の正職員にIDを発給し研修を実施しました。研修プログラムは、年間で全職員共有14研修と新人職員21研修、2年目職員3研修を作成し、求職者を除けば全職員が予定の研修をすべて受講することができました。来年度は、全職員を対象を広げ、Eラーニングの活動の幅を広げていきます。
	資格取得者の増加	今年度は介護福祉士に11名が受験し、9名が合格し飛躍的に介護福祉士資格保有者が増加し、介護職員全体の57%となりました。ユニットリーダー研修に1名が受講しました。
	財務知識の向上	毎月、相談部門と経理職員が確認を行い財務状況に関する認識を高めることができました。また、本部職員を講師として会計について実際の数値を見ながら学習を行うようことにより、より深く財務について認識を高めることができました。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点	まどかブランドの構築	①コロナ禍終息後の安心ほっとステーションとしての機能回復。 ②各種団体(自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会)との連携を深める。	介護実習生9名 看護実習生8名	①コロナの終息がみえず、地域の会議への参加は6回参加し、宝塚市の福祉施設の防災について意見交換を行いました。 ②自治会については、コロナが少し収まっていた11月に挨拶回りを行いました。介護福祉士の実習生を9名受入れました。看護学校の実習生8名を受け入れました。
	地域住民の居場所作り	①こども食堂の実施。 ②いきいき百歳体操の会場提供。 ③トライヤルウィークの受入れ。	0回	①コロナ禍のなか、実施には至りませんでした。 ②いきいき百歳体操は、会場提供ができなかったため、近隣の会場にて夏以降再開されています。終息した際には再度会場提供に向けて調整していきます。 ③コロナ禍のなか、中止となりました。来年度に向けて宝塚市主催による福祉教育プログラムという授業のプログラムの検討を行いました。
	重要加算の取得	栄養ケアマネジメント強化加算等の栄養士にかかる加算算定要件を満たす。	8月加算算定	4月よりプロジェクトを立ち上げ、7月に新たに管理栄養士を雇用することにより8月より栄養強化ケアマネジメント加算の算定できるようになりました。ミールラウンド(食事中の様子を観察する)などを強化し、細やかな利用者の食事提供を行いました。
財務の視 点	稼働率の安定化	①新規顧客の開拓。 ②緊急ショート受け入れへの整備。	年間95.72%	①2021年度年間の新規ショート51件の利用がありました。 ②要医療の状態の同居の判定基準の見直しを行いながら、緊急ショートの受入れ調整を行いました。コロナ禍により、長い利用のショート利用者が増やす方針転換し、稼働率の安定を図りましたが、第5波で職員2名の感染、第6波で職員4名利用者3名の感染もあり、職員体制を確保しつつ、稼働率を維持することに大変苦慮しながら、年間95.72%の稼働率を残すことができました。年間3,000万円の実質赤字で終えることができました。
	経費の節減	入院者減少への取り組み。	年間延べ802人	コロナの蔓延により、入院そのものを医療機関が受け入れないという状況も影響している部分もありましたが、入院の都度、看護職員が医師と話し合い、介護職員に対応をすすめていくことにより年間802人と大幅に目標よりも良い数値で終えることができました。
	利用者重度化のなか事業費支出の維持への取り組み。(介護用品、日用品、水道光熱費の見直しによるコスト削減) ②事務費支出の削減への取り組み。(事務消耗品の見直しによるコスト削減)	①利用者重度化のなか事業費支出の維持への取り組み。(介護用品、日用品、水道光熱費の見直しによるコスト削減) ②事務費支出の削減への取り組み。(事務消耗品の見直しによるコスト削減)	①同程度維持 ②8.5%削減	①オムツや日用品の使用状況を毎月確認し、おむつの使用の見直し等を行い昨年同レベルに維持できました。水道光熱費については、社会情勢により高騰しており、昨年度を大きく超える額になっています。当面下落することはないため、光熱費削減の工夫を継続して行っています。 ②OA機器の共有化や物品のまとめ買いを行うことによるコスト削減、また、在庫管理を徹底して行うことにより昨年対比8.5%の削減となりました。
顧客の視 点	科学的介護への取り組み	「ほのぼの」のLIFEに必要なケアマネジメントの導入を行い、専門職による評価によるケアマネジメントサイクルを作る。	科学的介護に係る加算2つ算定	4月よりプロジェクトを立ち上げ、LIFEに係る必要なデータの確認を行い、入力する役割分担を定め7月より褥瘡マネジメント加算算定し、8月より栄養強化ケアマネジメント加算の算定できるようになりました。しかしながら、科学的介護推進体制加算については、その算定プロセスが詳細に判明するにつれ、現状での算定開始が困難と判断し、次年度への課題(令和4年下期から算定開始)としました。ただし、記録の在り方等、業務プロセスの見直しも含めて行う事としました。
	褥瘡予防の強化	褥瘡予防機器を導入し、褥瘡予防計画に基づき褥瘡患者の減少を図る。	昨年対32%減	昨年末に自動体位変換エアマットの導入もを行い、運用を開始しました。7月までに定着化し、ハイリスク者への運用ができています。褥瘡マネジメントより、褥瘡危険因子のチェックを行い、クッション等の見直しを行い褥瘡予防に努めた結果、年間延べ663人の褥瘡発症にとどまった。昨年対比32.2%減となりました。
	介護記録の充実・発展	家族への記録の送付内容の見直し。	未到達	科学的介護の取り組みに向け、こういった記録が必要か研修などに参加し、目星をつけることはできました。科学的介護推進体制加算の算定のつずれ込みにより、必要な記録の調整もずれ込んだため、家族への記録送付の見直しについては、変更を行う案内を送るに留まりました。来年度は必要な記録の選択と集中を行いご家族への記録送付内容も科学的介護推進体制加算に併せて変更を行ってまいります。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
業務プロセスの視点	業務効率化の実施	日常の業務を見直し業務削減できるものを検討し、業務削減及び適正な職員配置を行う。	未到達	感染症のBCP作成に伴い、最低限の介護業務における適正化については、さらに整理が必要であったことがわかった。介護職員の勤務表から、見える化を行える準備を整え、勤怠管理の基礎知識や残業認定のプロセス等、来年度介護リーダーと共に適正化に向けて引き続き取り組んでいきます。
	事業継続計画(BCP)の作成	自然災害やパンデミックによる脅威に対して事業継続計画を作成する。	事業継続計画2部策定	感染症に対するBCP原案を7月に作成し、10月にゾーンニング研修、3月にBCP研修を実施した。今後は感染症対策委員会で見直しを検討し、運営委員会に提案していく事としました。
	ノーリフトインゲグアの導入	介護機器を導入し、業務の改善。 ①入浴リフトの導入。 ②移乗リフト導入の体系化。	①入浴リフト導入・評価 ②移乗リフト導入マニュアル完成	①1/14雪組に移乗リフトを1台導入しました。前年度2組に導入時に使用した「リフト導入マニュアル」の見直しを行い使用する事でスムーズに指導ができています。施設の半分のグループで移乗リフトの導入ができています。
学習と成長の視点	介護基礎知識の向上	①OJTTトレーナー研修実施による、OJTTトレーナーの育成。 ②新人職員が学ぶレベルの知識について全職員へ再研修の実施。	①4人研修実施 ②介護職員年14回実施	①今年度の新人及び栄養士採用に伴いOJTTトレーナー研修を実施しました。また、介護のOJTTトレーナーは、新人がEラーニングで学習した内容を確認しながら育成を行いました。 ②重大事故予防のための資料を作成し、リーダーを対象に研修を実施し、部下への周知を行いました。また、Eラーニングを介護全員に実施することにより、共通の学びとなり一定の知識の共有ができました。
	Eラーニングを活用した、園内研修の体系化	メディアパスアカデミーのEラーニングシステムを活用し、年間研修計画を策定のうえ、年間を通じてWEB上で進捗管理を実施する。	共有14本 新人21本 2年目3本	Eラーニングについて、介護職員の正職員にIDを発給し研修を実施しました。研修プログラムは、年間で全職員共有14研修と新人職員21研修、2年目職員3研修を作成し、求職者を除けば全職員が予定の研修をすべて受講することができました。来年度は、全職員を対象を広げ、Eラーニングの活動の幅を広げていきます。
	資格取得者の増加	キャリアアップにつながる資格取得の推進。 (①介護福祉士・介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修等・介護支援専門員・②ユニットリーダー研修)	介護福祉士9名 ユニットリーダー研修1名	今年度は介護福祉士に11名が受験し、9名が合格し飛躍的に介護福祉士資格保有者が増加し、介護職員全体の57%となりました。ユニットリーダー研修に1名が受講しました。
	財務知識の向上	相談部門に対する施設財務に関する研修会の定期開催。	研修会年1回	毎月、相談部門と経理職員が確認を行い財務状況に関する認識を高めることができました。また、本部職員を講師として会計について実際の数値を見ながら学習を行うようことにより、より深く財務について認識を高めることができました。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門		宝塚まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目2番2号
会議・委員会の種類		運営委員会、衛生委員会、介護技術講習会、ヘルパー職員会議
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	介護技術講習会の開催	2021年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。
	地域ニーズの把握	2021年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
財務の視点	財政再建への対応	年度末月の利用実績者数は19件です。（要介護15件、総合事業4件）事業継続を目指しましたが、残念ながら閉鎖の判断となり赤字を減らすよう最終月まで訪問に極力いくようにし、最終的には50万程度の赤字に抑えることができました。
	介護保険外事業の推進	継続的に利用している方は1名確保し、単発での利用が延べ3名となりました。自費による年間収入は約47万円でした。
顧客の視点	定期的かつ迅速なサービスの見直しと対応	サービス提供責任者による自宅訪問やサービス担当者への聞き取りを行いニーズの確認しました。聞き取り内容を訪問介護計画書の見直しに繋げ、居宅事業所・利用者・ご家族・サービス事業所へ提案を年間3件行いました。
	安定したサービス提供の確保	事業閉鎖のため新たな登録ヘルパーの獲得はありませんでした。
業務プロセスの視点	情報の共有化	毎月事業所内会議を開催致し、職員間の情報を共有し、サービス内容を見直し、サービスの向上につながるよう努力しました。
	働きやすい環境作り	同じ地区を続けて訪問できるように工夫し、効率的な勤務体制をとれるよう、シフトの見直しを行いました。
学習と成長の視点	ヘルパー研修の充実	ヘルパー研修会を毎月開催しました。
	サービス提供責任者の力量アップ	訪問介護事業部会に1回参加しました。宝塚市介護保険事業者協会、令和3年度第1回研修に参加しました。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
宝塚まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の貢献 の視点	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚居宅介護事業所と共同で開催をする。(コロナ禍終息後)	0回	2021年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。
	地域のニーズの把握	美座っ子祭り、花の道自治会祭り等の地域行事に積極的に参加し、地域との連携を深め、地域ニーズの把握に努める。(コロナ禍終息後)	0回	2021年度はコロナウイルスの影響により開催できませんでした。終息後には開催したいと思います。
財務の視点	財政再建への対応	要介護25名・総合事業15名(自費3名を含む)合計40名のご利用者を獲得し、総合的に収益が出る体制を作る。	19名	年度末月の利用実績者数は19件です。(要介護15件、総合事業4件)事業継続を目指しましたが、残念ながら閉鎖の判断となり赤字を減らすよう最終月まで訪問に極力いくようにし、最終的には50万程度の赤字に抑えることができました。
	介護保険外事業の推進	医療機関受診付き添いなど介護保険対象外のサービス提供を推進し、自費契約(有料サービス)を必要とするご利用者を獲得して、増収を図る。	15件	継続的に利用している方は1名確保し、単発での利用が延べ3名となりました。自費による年間収入は約47万円でした。
顧客の視点	定期的かつ迅速なサービスの見直しと対応	常に適切なモニタリングを行い、必要に応じて迅速に介護計画書を修正する。	3件	サービス提供責任者による自宅訪問やサービス担当者への聞き取りを行いニーズの確認しました。聞き取り内容を訪問介護計画書の見直しに繋げ、居宅事業所・利用者・ご家族・サービス事業所へ提案を年間3件行いました。
	安定したサービス提供の確保	1人のご利用者利用者に対して複数の職員が関わることにより、安定したサービス提供を確保するために、登録ヘルパーの増員を図る。	0	事業閉鎖のため新たな登録ヘルパーの獲得はありませんでした。
業務プロセスの視点	情報の共有化	事業所内会議を定期的に開催し、居宅介護支援事業所とも会議を共同で開催する。	12回	毎月事業所内会議を開催し、職員間の情報を共有し、サービス内容を見直し、サービスの向上につながるよう努力しました。
	働きやすい環境作り	同地区の訪問先を同じ日に集めるなど、効率の良いシフトを組むことを工夫するなどして、職員の業務負担を減らす。	実施	同じ地区を続けて訪問できるように工夫し、効率的な勤務体制をとれるよう、シフトの見直しを行いました。
学習と成長 の視点	ヘルパー研修の充実	既存登録ヘルパーの力量の向上を目的とした研修を行う。	12回	ヘルパー研修会を毎月開催しました。
	サービス提供責任者の力量アップ	外部研修、訪問介護事業所部会研修を積極的に受講して、サービス提供責任者としての知識を深め、力量アップに繋げる。	2回	訪問介護事業部会に1回参加しました。宝塚市介護保険事業者協会、令和3年度第1回研修に参加しました。

2021年度（令和3年度）事業報告		
部門	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	
所在地	兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号	
会議・委員会の種類	運営委員会、衛生委員会、居宅内定例会議 宝塚市介護認定審査会、宝塚市介護保険事業者協会居宅部会 介護技術講習会（コロナ終息後）	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の 視点	介護技術講習会の開催	コロナ禍のため2021年度は開催することができませんでした。2022年度はコロナが5類に引き下げられたら開催したいと考えています。
	地域に開かれた場所作り	コロナ禍のため2021年度はオレンジカフェを開催することができませんでした。1回ZOOM研修があり若年性認知症についての講習を受けています。オレンジカフェの開催について問い合わせが数件あり、開催されているところを紹介しています。
	地域社会との連携	コロナ禍のため2021年度は開催されませんでした。担当者会議の開催は短い時間でも増えてきていますので、その中で各事業所の活動・業務の理解を進めるようにしています。
財務の視点	収支の安定	7月から特定事業所加算Ⅲを再取得しています。取得後は常に単月黒字になっています。2021年度の収支は100万円の黒字で終わっています。 年度末の1人当たり要介護の給付管理数24人でした。26人には達しませんでした。徐々に担当件数が増えてきています。要支援もできるだけ受け取るようにし、長い期間担当することで信頼関係の構築に繋がりました。
	介護保険以外での収入獲得	審査会は月1～2回ありました。研修等と重ならない時は全て出席しています。認定調査の依頼も伊丹、尼崎を中心にほぼ毎月あり全て受けています。
顧客の視点	専門性を発揮した相談援助の実践	年度初めの4月から加算等が変わりデイサービスと協議・調整を行いました。さらに各事業所においてどのような加算が取れるかそれぞれの加算内容の確認も行いました。また、どのような場合は加算が取れないのかも確認し適正に記するようにしました。
	連携強化、信頼性の強化	ケアマネの全体研修を中心に色々なZOOM研修に参加しました。また、夏以降は宝塚市・社会福祉協議会・社会福祉法人連絡協議会主催の地域福祉研修に参加し地域活動者、行政、保育、障がいに関わる方と地域福祉についても研修に参加することで交流を深めました。
業務プロセスの視点	災害時の体制作り	上期はBCPを作成するための研修に参加しました。下期は災害等の対応指針を作成するために項目別に役割分担を行い、各担当者が現時点でわからないことを整理し調べるところに留まりました。来年度は、BCPを作成し、災害時等の体制を整えていきます。
	他の関連事業についての理解を深める	担当者会議を開催することにより、利用者様のコロナ禍における心身状況や日常の様子を理解することができるとともに、各事業所の特色を知ることでも利用者様に適切なチームケア体制の強化に繋がりました。

学習と成長 の視点	居宅内の連携強化	必要時はミーティングをするようにし難しい案件など一人で抱え込まないよう意見を出し合うなどした結果、個々の利用者様に合ったデイサービスやヘルパー事業所に繋げることで介護疲れをしていた家族も楽な気持ちで過ごせるように導くことができました。
	介護支援専門員更新研修等の受講	更新研修に4名受講していましたが2月予定の2日間がコロナの為9月に延期になり終了が遅れています。全員9月に受講予定となっており、終了しましたら1名（R4.8までの有効期間）は直ぐに更新の申請に入ります。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
宝塚まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 視 点 点 点	介護技術講習会の開催	介護技術講習会を、宝塚ヘルパー事業所と共同で開催する。(コロナ禍終息後)	0回	コロナ禍のため2021年度は開催することができませんでした。2022年度はコロナが5類に引き下げられたら開催したいと考えています。
	地域に開かれた場所作り	コロナ禍終息後、オンラインカフェを開催する。	0回	コロナ禍のため2021年度はオンラインカフェを開催することができませんでした。1回ZOOM研修があり若年性認知症についての講習を受けています。オンラインカフェの開催について問い合わせが数件あり、開催されているところを紹介しています。
	地域社会との連携	会議への出席や行事への参加を通じ、相互の活動・業務の理解を進める。	0回	コロナ禍のため2021年度は開催されませんでした。担当者会議の開催は短い時間でも増えていますので、その中で各事業所の活動・業務の理解を進めるようにしています。
財務の視 点	収支の安定	特定事業所加算Ⅲの再取得を行い、収支の安定(黒字化)を図る。	100万円黒字	7月から特定事業所加算Ⅲを再取得しています。取得後は常に単月黒字になっています。2021年度の収支は100万円の黒字で終わっています。
	介護保険以外での収入獲得	特定事業所加算がなくなっても黒字化できる基盤を構築するため、介護支援専門員1人当たり要介護の給付管理数26人を目指す。	24人	年度末の1人当たり要介護の給付管理数24人でした。26人には達しませんが、徐々に担当件数が増えてきています。要支援もできるだけ受けられるようにし、長い期間担当することで信頼関係の構築に繋がりました。
顧客の視 点	専門性を発揮した相談援助の実践	月2回介護認定審査会、各市町村の認定調査を実施する。	審査会20回 認定調査年間16件	審査会は月1～2回ありました。研修等と重ならない時は全て出席しています。認定調査の依頼も伊丹、尼崎を中心にほぼ毎月あり全て受けています。
	連携強化、信頼性の強化	サービス提供状況の把握とモニタリングを行い、ケアプランの改善や新たなサービス導入に向けて提案する。	実施	年度初めの4月から加算等が変わりサービスと協議・調整を行いました。さらに各事業所においてどのような加算が取れるかそれぞれの加算内容の確認も行いました。また、どのような場合は加算が取れないのかも確認し適正に記すようにしました。
業務プロセスの視 点	災害時の体制作り	法人内、外の事業所を利用することで連携をとり、利用者がより安心できる環境を提供していく。	実施	ケアマネの全体研修を中心に色々なZOOM研修に参加しました。また、夏以降は宝塚市・社会福祉協議会・社会福祉法人連絡協議会主催の地域福祉研修に参加し地域活動者、行政、保育、障がいに関わる方と地域福祉について研修に参加することで交流を深めました。
	他の関連事業についての理解を深める	災害時などを含めた担当者不在のフォロー体制を確立する。	未到達	上期はBCPを作成するための研修に参加しました。下期は災害等の対応指針を作成するために項目別に役割分担を行い、各担当者が現時点でわからないことを整理し調べるところに留まりました。来年度は、BCPを作成し、災害時等の体制を整えていきます。
学習と成長の視 点	居宅内の連携強化	関連する他事業についての知識を深めチームケアの体制の強化に繋げる。	実施	担当者会議を開催することにより、利用者様のコロナ禍における心身状況や日常の様子を理解することができるとともに、各事業所の特色を知ることでも利用者様に適切なチームケア体制の強化に繋がりました。
	介護支援専門員更新研修等の受講	職員間の情報交換、課題の共有を行い、利用者や家族が抱える問題を多面から捉えることでよりより解決策を導くことができるようにする。	4名受講	必要時はミーティングをするようにし難しい案件など一人で抱え込まないよう意見を出し合うなどとした結果、個々の利用者様に合ったデイサービスやヘルパー事業所に繋げることで介護疲れをしていた家族も楽な気持ちで過ごせるように導くことができました。 更新研修に4名受講していましたが2月予定の2日間がコロナの為9月に延期になり終了が遅れています。全員9月に受講予定となっております。終了しましたら1名(R4.8までの有効期間)は直ぐに更新の申請に入ります。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門	特別養護老人ホーム神戸まどか園 神戸まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号	
会議・委員会の種類	<p>会議：運営会議 主任リーダー会議 ユニット会議 衛生会議</p> <p>委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待防止 感染症対策 リスクマネジメント 入所検討 食事 口腔ケア</p>	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の 視点	地域との共生	コロナ禍の影響を受け、地域との共同行事がすべて中止となっている（長田 一七市 介護相談会）。地域連携については進んでいないが、今年度自治会長の退任に伴い、新しい自治会長とのパイプ作りを初めている。
	災害時福祉避難所の強化	神戸市との協定により福祉避難所の認証を受け、福祉避難所マニュアルを含めたBCP計画書の原案の作成を行った。また、次年度における福祉避難所開設訓練において、神戸市より要望があり、実施に向けた整備を進めた。
財務の視点	介護報酬改定に向けた加算等の見直しと稼働率の安定	短期入所生活介護の看護体制加算Ⅲ、Ⅳの取得し、1年を通して算定できた。次年度に関しても、条件を満たしており、引き続き算定可能な状態である。 稼働率に関して、合算平均稼働率89.36%となっており、稼働率の安定には至っていない。次年度に向けて、相談員体制及び居宅開設に向けて動いており、先を見越した運用に着手している。
	業務の見直しによる残業時間の減少	事前申請による残業時間の管理は一部で実施し、すべての残業の管理・適正化に向けて職員の指導を行っている。実残業時間数とフロア別総業務時間数の確認を行い、総勤務時間数において、令和3年4月実績9,660時間より令和4年3月実績9,003.5時間へ大幅に減少し、業務効率化を図ることができている。
顧客の視点	介護業務の評価と省力化	ユニットにより職員配置のバラツキが見られ、全体の省力化までには至っていないが、常勤換算数による必要数の整理を行い、基準値に整いつつある。
	ユニットケアの実践と評価	ユニットリーダー研修における実地研修が今年度延期の状態が続いている。また、居室担当者を継続的に配置し、個別ケアの充実を行った。
業務プロセスの視点	働きやすい環境づくり	育児休暇取得1名、育児休暇からの復帰が1名と働き方改革に即した対応が来ている。技能実習生6名（ベトナム） 留学生2名（ベトナム ミャンマー）共に職場にきちんと定着しており、安心して働ける受け入れ体制が出来ている。環境改善に向けた運営会議内での研修を12月より開始し、継続している。
	ケアプランと介護業務の一体化	介護職員が作成したモニタリングを元にケアプランの反映を行うことにより、PDCAサイクルの流れが出来ている。

学習と成長 の視点	個々のスキルアップ とキャリアアップ	今年度において、介護福祉士3名、介護支援専門員2名が合格となった。また、個々のキャリアアップにおいて、職種を問わず、配属期間が長期となっている職員に関して、異動や昇格の検討を行い、新たな課題を与えている。個別評価は人事考課を行うことにより実施出来た。
	介護技術等の習得	R X組青山氏の研修を基本的な介護方法を11月26日に実施した。また、介護報酬改定に伴う認知症介護基礎研修の受講が必要な4名において、受講完了している。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 貢 献	地域との共生	地域のニーズを知り、地域住民と交流できる機会を作る。	0	「KOBESニア元気ポイント」制度に活動受入登録し、地域住民と交流していく予定であったが、コロナウイルスによる感染リスクが継続的に高かったため、登録を断念した。
	災害時福祉避難所の強化	行政、区、市との関わりを深めていく。 災害時福祉避難所として強化を図る。	0 実施	コロナ禍の影響を受け、地域との共同行事がすべて中止となったため、関わりを持つことができなかった。 神戸市との協定により福祉避難所の認証を受け、福祉避難所マニュアルを含めたBCP計画書の原案の作成を行った。また、次年度における福祉避難所開設訓練において、神戸市より要望があり、実施に向けた整備を進めた。
財務の視 点	介護報酬改定に向けた加算等の見直しと稼働率の安定	介護報酬改定に向けた基本報酬や加算の見直しを行う。 稼働率の安定に向けて、受け入れ体制の強化を図る。	増収350円/日・人	短期入所生活介護の看護体制加算Ⅲ、Ⅳの取得し、1年を通して算定できた。食費・居住費単価に関して、見直しを行ったが、介護報酬改定に伴う基準値改定により単価の変更時期としてタイミングが悪かったため、実施しなかった。
	業務の見直しによる残業時間の減少	業務の柔軟な体制を作り、時間内業務を行う。	89.36% 減少	コロナ禍による顧客の確保が難しく、利用者の重度化による退所者が昨年度の2倍以上となり、安定した稼働率には至らなかった。定期的に外部居宅・老健との情報共有を図り、利用に繋がった。 事前申請による残業時間の管理は一部で実施し、すべての残業の管理・適正化に向けて職員の指導を行っている。実残業時間数とフロア別総業務時間数の確認を行い、総勤務時間数において、令和3年4月実績9,660時間より令和4年3月実績9,003.5時間へ大幅に減少し、業務効率化を図ることができている。
顧客の視 点	介護業務の評価と省力化	介護の数値化を検討し、業務の省力化に繋げていく。	未実施	介護の数値化までに至っておらず、業務の省力化には結びつけるまでは出来ていない。
	ユニットケアの実践と評価	アセスメントとケアプランの充実を図る。 居室担当者を継続的に配置し、個別ケアの充実を図る。	実施 実施	介護支援専門員の2名体制を取り、利用者のケアプランの整理を実施した。 居室担当者をユニットに適切に配置し、個別ケアの充実を図った。
	働きやすい環境づくり	運営委員会に社会労務士を加え、必要な知識と役割を認識する。 多様な文化を知り、学習のフォローを行う。	4回 12回	運営委員会内でミニ研修を12月から実施し、ハラスメントやアンガーマネジメント、コミュニケーション能力の向上に関する題目で実施した。 毎月の組合定期訪問による情報の共有と察の訪問を行い、その場に応じた即時対応を行ってきた。
業務プロセスの視 点	ケアプランと介護業務の一体化	ケアプラン作成に向けてのプロセスにおいて、居室担当との連携を図る。	実施	介護職員が作成したモニタリングを元にケアプランの反映を行うことにより、PDCAサイクルの流れが出来ている。
	個々のスキルアップとキャリアアップ	人事考課制度を活用し、個々に必要な能力を身につける。 キャリアアップ制度に基づき、研修を企画する。	2回 資格取得5名 異動4名	上位考課者の人事考課制度の理解を高めた上で実践し、必要に応じて、格付判定を行った。 今年度において、介護福祉士3名、介護支援専門員2名が合格となった。また、個々のキャリアアップにおいて、職種を問わず、配属期間が長期となっている職員に関して、異動や昇格の検討を行い、新たな課題を与えている。
学習の視 点 の 成 長	介護技術等の習得	楽技等の研修を実施する。	1回	RX組青山氏の研修を基本的な介護方法を11月26日に実施した。また、介護報酬改定に伴う認知症介護基礎研修の受講が必要な4名において、受講完了している。

2021年度（令和3年度）事業報告

部門	神戸まどか園居宅介護支援事業所	
所在地	兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号	
会議・委員会の種類	会議：運営会議 主任リーダー会議 ユニット会議 衛生会議	
	委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待防止 感染症対策 リスクマネジメント 入所検討 口腔ケア	
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	地域に根ざした事業所を作る	開設延期のため、未実施。
	地域の福祉拠点を作っていく	令和4年4月1日開設に向けて、神戸市と協議を行い、開設の準備を行った。
財務の視点	財政への視点	令和4年4月1日開設に向けて、法人本部と連携し、開設の準備を行った。
	神戸まどか園との連動	開設延期のため、未実施。
顧客の視点	地域で暮らしていける支援体制を作る	開設延期のため、未実施。
	行政、医療機関、サービス事業所等の連携作り	開設延期のため、未実施。
業務プロセスの視点	各キャンパスの居宅運営を学ぶ	宝塚まどか園に運営や業務内容、使用ツールについて、研修の依頼をお願いしていたが、コロナ禍により中止している。
	必要書類、押印等時代に求められる管理を行う	開設延期のため、未実施。
学習と成長の視点	理念、運営方針等を学ぶ	開設延期のため、未実施。
	介護支援専門員としてマネジメント力を学ぶ	開設延期のため、未実施。

経営計画(2021年4月～2022年3月末)
神戸まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	実施回数	評価・報告
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	地域に根ざした事業所を作る	地域交流の機会を作る。	—	開設延期のため、未実施。
	地域の福祉拠点を作っていく	介護相談会、福祉展示会を行う。	—	開設延期のため、未実施。
財務の視 点	財政への視点を持つ	給付管理数の増加に努める。	—	開設延期のため、未実施。
	神戸まどか園と連動する	短期入所、入所部門と協力し、情報を共有する。	—	開設延期のため、未実施。
顧客の視 点	地域で暮らしている支援体制を作る	地域行事に参加する。	—	開設延期のため、未実施。
	行政、医療機関、サービス事業所等と連携を作る	行政、医療機関、サービス事業所等と情報を共有し、講習会等を企画していく。	—	開設準備のために、神戸市と協議を行い、指導を受け、開設の準備を行った
業務プロセスの視 点	一宮、宝塚まどか園の居宅の運営を学ぶ	ほのぼの運用方法を学び、効率的に運営する。	0	宝塚まどか園に運営や業務内容、使用ツールについて、研修の依頼をお願いしていたが、コロナ禍により中止している。
	必要書類、押印等時代に求められる管理を行う	電磁媒体を使用し、介護保険法に基づき運営を行う。	—	開設延期のため、未実施。
学習と成長の視 点	理念、運営方針を学ぶ	理念、運営方針を学び、正久福祉会の一員としての自覚を持つ。	—	開設延期のため、未実施。
	介護支援専門員として、マネージメント力を学ぶ	介護支援専門員として基礎のマネージメント力を学び、実践する。	—	開設延期のため、未実施。

2021年度（令和3年度）IAC集計表

事業所名		報告件数			合計
		ヒヤリ・ハット	事故	苦情	
一宮	特別養護老人ホームまどか園	178	7	0	185
	まどか園在宅介護支援センター	0	0	0	0
	まどか園ヘルパーステーション	2	1	2	5
	グループホームまどか園	59	0	0	59
小計		239	8	2	249

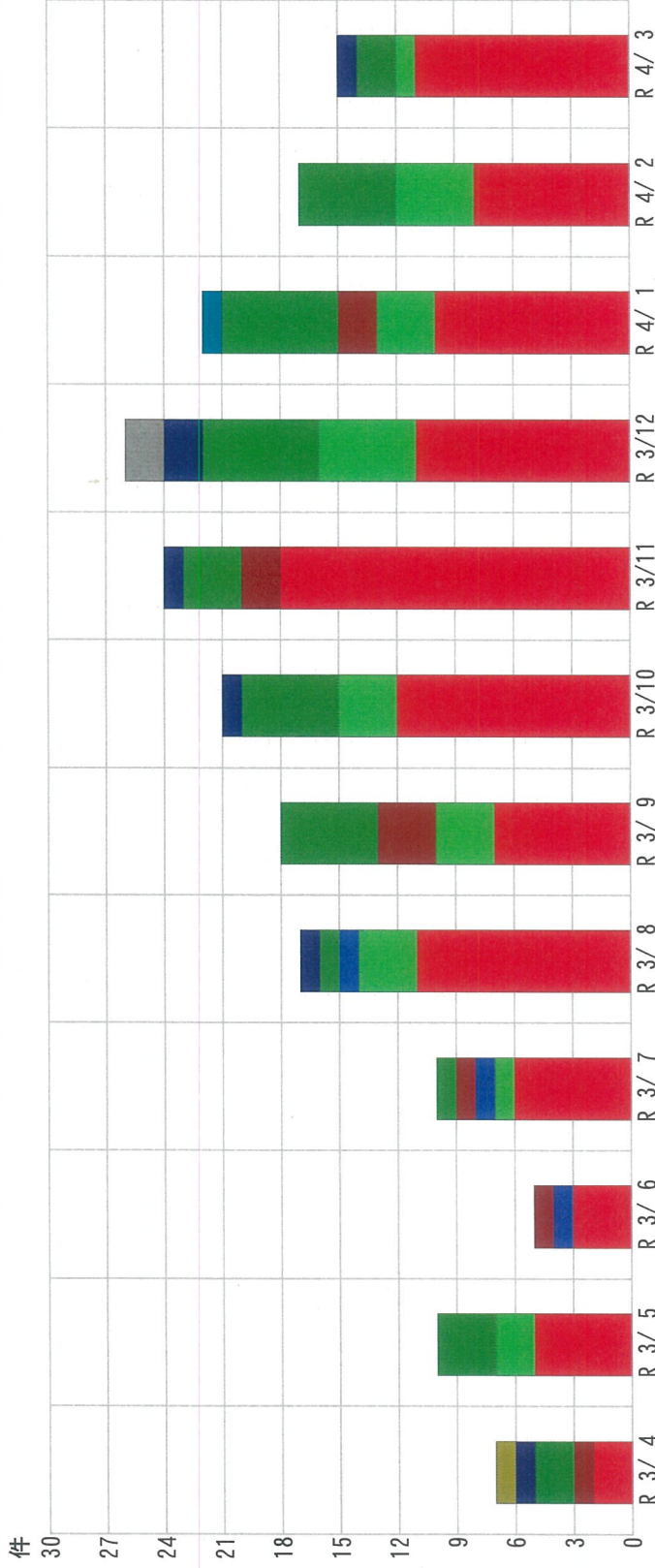
宝塚	特別養護老人ホーム宝塚まどか園	662	23	2	687
	宝塚まどか園ヘルパーステーション	0	0	0	0
	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	0	0	1	1
小計		662	23	3	688

神戸	特別養護老人ホーム神戸まどか園	311	12	2	325
小計		311	12	2	325

合計		1,212	43	7	1,262
----	--	-------	----	---	-------

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
 集計対象：全



	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
転倒・転落	2	5	3	6	11	7	12	18	11	10	8	11
外傷	0	2	0	1	3	3	3	0	5	3	4	1
誤嚥・誤飲	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
薬剤 (誤薬等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チューブトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	0	3	0	2	0	2	0	0
ずり落ち	2	3	0	1	1	5	5	3	6	6	5	2

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
 集計対象：全

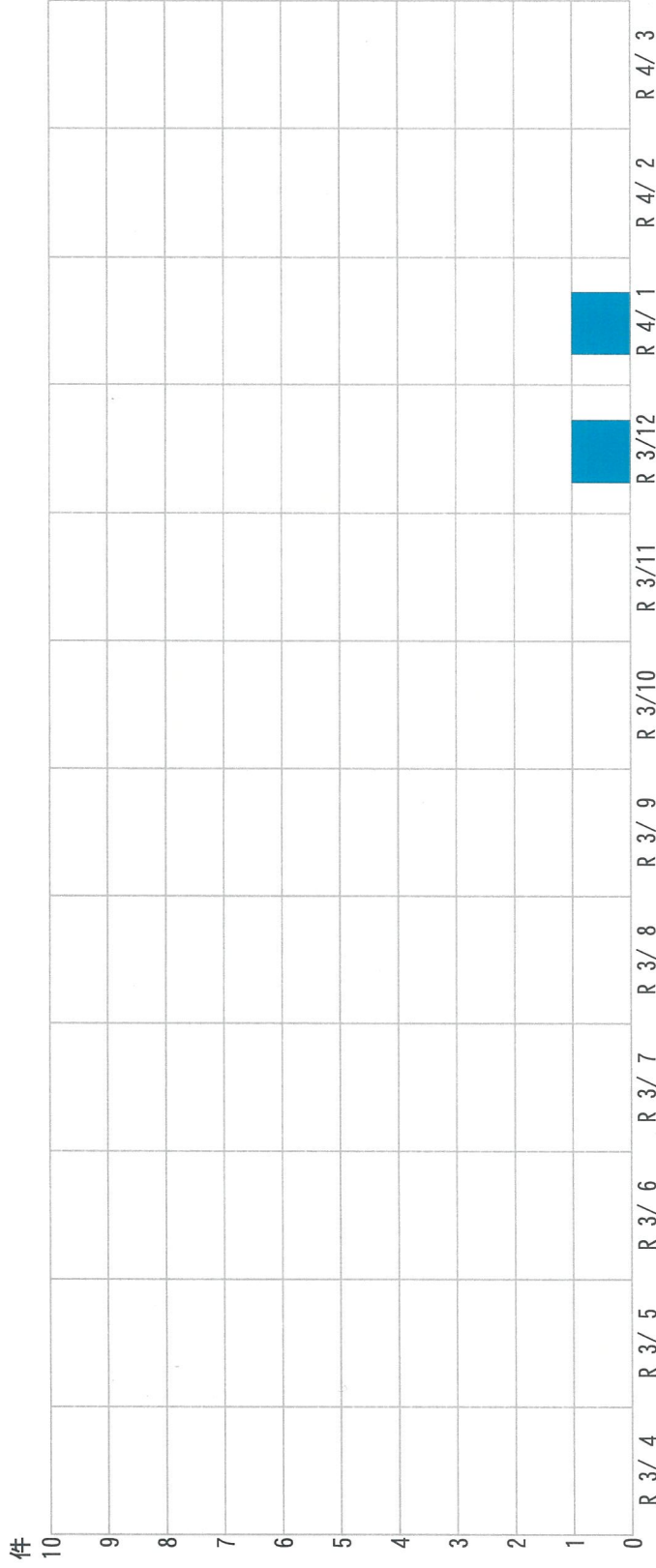
	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
異食	1				1		1	1	2			1
破損	1											
紛失										1		
施錠忘れ												
交通事故												
利用者間のトラブル									2			
施設原因のトラブル												
守秘義務違反												
人権侵害												
拘束												
サービス内容のクレーム												
説明内容のクレーム												

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
5月10日	居室より声がしたため訪室すると、他の利用者のベッド横で転倒されているのを発見する。右大腿骨の痛みと吐き気の訴えがある。	右大腿の外転と腫脹が徐々に出現し、痛みが強くなり主治医に報告し整形外科の受診を相談する。とくなが病院へ通院受け入れ予約し、通院する。右大腿骨頸部骨折と診断され入院される。	1週間前に居室変更をしていたため、予想外の動きが見られた可能性もある。居室変更した際は、数日は特に注意して見守りを行う。
8月8日	ホールで他のご利用者が乗られている車椅子の手押しハンドルを持って話しておられた。車椅子のご利用者が不意に動かれ、バランスを崩して転倒された。	立位に痛みが伴うも腫脹・内出血は見当たらず、臥床し観察する。体熱感及び頭部に皮下血腫を認め、KT=37.4℃のためクーリング対応を行う。再度確認すると左大腿骨頸部腫脹・熱感・稼働痛・外旋を認める。主治医に報告し、救急搬送の指示があり、姫路田中病院で左大腿骨転子部骨折と診断され入院される。	自力歩行できるご利用者が車椅子使用のご利用者を誘導する際、職員も一緒に付き添うか、声掛けを行い手を放していただく。
8月9日	居室より声がしたため訪室すると、部屋入り口のドアのところで倒れておられるのを発見する。	抱えてベッドまで移動し、臥床して確認する。足が少し痛い訴えあり、観察する。看護師が訪室した際、KT=37.6℃あり、アイスノン施行。左手関節の腫脹が10cm位の長さで前腕中央まであり、触れば痛みの訴えもあり。その後、左手首の腫脹・内出血・痛みの訴えあり、湿布とシーネ固定を行う。主治医に報告し翌日通院し、X-P撮影で左橈骨骨折と診断される。シーネ固定、湿布対応となる。	居室の配置変更を行い、センサーマットの位置を変える。転倒リスクのある利用者は特に度々様子を見に伺う。
9月27日	夜間より立位がとりづらい様子であったが、朝のトイレ誘導時に、立つのに時間がかかり右太ももの痛みがある。	看護師確認し、発熱持続、右大腿骨周囲の痛みあり、介助量多く立位取れず。やや腫脹あり、主治医に報告し、通院する。X-P撮影で右大腿骨の亀裂骨折と診断受け、安静が保てず田中病院緊急搬送の指示あり。田中病院でX-P撮影で骨折はない様であるが、酸素濃度低く発熱もあるため、検査入院となる。	利用者の状態を観察し、変化に早く気付けるようにする。
10月12日	トイレ誘導中、本人の不意な立ち上がりが見られる。車椅子のフットレストに右脛内側が当たり、10cm位の裂傷ができ多量出血ある。	看護師に報告し応急処置を行うも出血多く、主治医に連絡し通院する。麻酔をして傷口を縫合され、痛み止め・抗生剤の処方される。	全体の排泄時間が遅れそうな場合は、早めにトイレに行けるように対策をとる。ご利用者の状況把握をしっかり行う。
1月3日	廊下で尻もちをついた状態で転倒されていた。	痛みの訴えあり、2人介助でベッドへ移動する。看護師が確認し痛みの訴え、幹部の腫れがある。痛みの訴え強く、主治医に連絡し、とくなが病院通院する。右大腿骨転子部骨折にて入院される。	歩行が不安定なご利用者に対して、しっかり付き添いするよう注意を払う。長距離歩行とならない様、居室移動を検討する。
1月11日	トイレ利用中、職員が他のご利用者対応が必要となり、場を離れた際に転倒される。	2人介助で車椅子に座っていただく。直後より左大腿骨周囲の痛み著明に認める。主治医に報告し、翌日緊急搬送の指示あり。当日は鎮痛剤内服、バルン挿入でベッド上安静とする。翌日、宍粟総合病院へ緊急搬送され、左大腿骨転子部骨折で入院される。	トイレ介助から離れる際は必ず手すりを下ろす。

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
 集計対象：全



	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
転倒・転落												
外傷												
誤嚥・誤飲												
薬剤（誤薬等）												
チューブトラブル												
接遇												
その他												
ずり落ち												

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全

集計対象：全

	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
異食												
破損												
紛失												
施錠忘れ												
交通事故												
利用者間のトラブル												
施設原因のトラブル												
守秘義務違反												
人権侵害												
拘束												
サービス内容のクレーム									1	1		
説明内容のクレーム												

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（まどか園ヘルパーステーション）

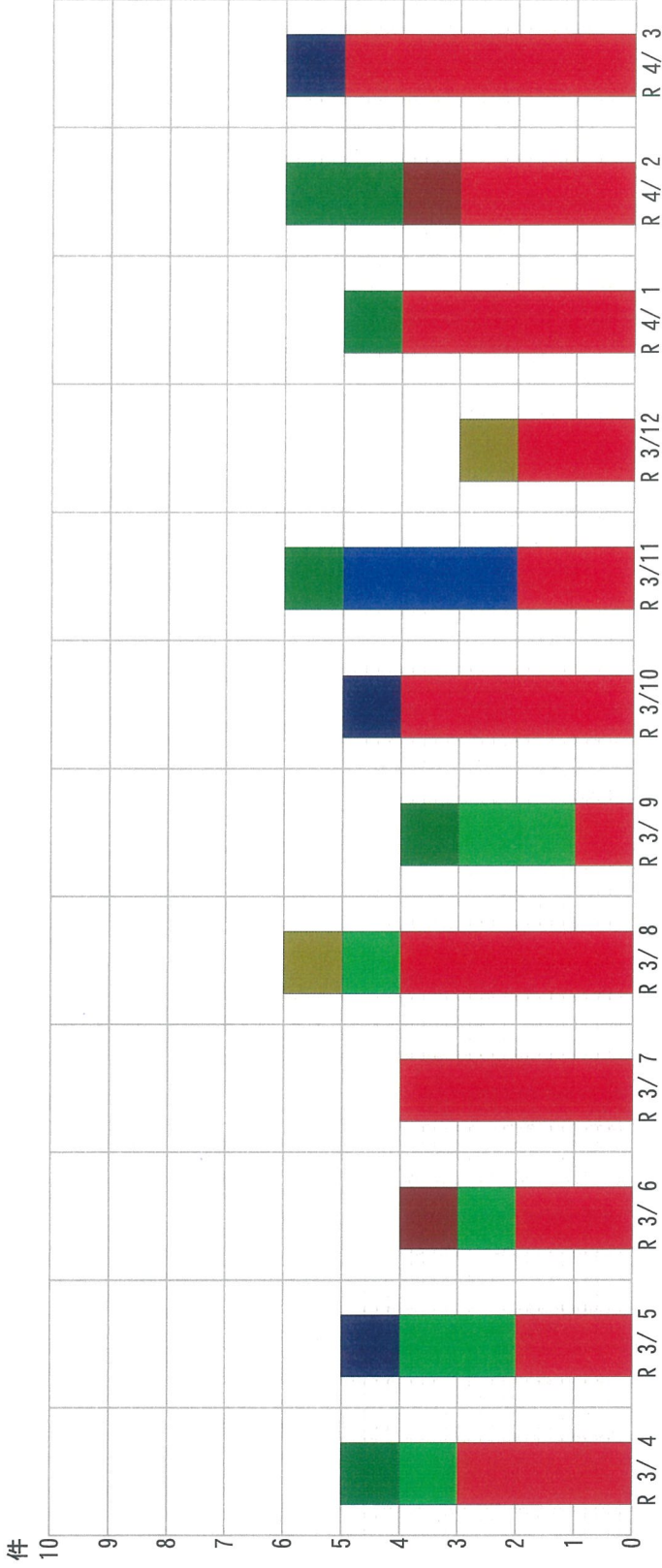
発生日	内容	対応内容	今後の対応
8月9日	利用者宅訪問するも家族が帰省しておられキャンセルあり。家族の車がある事で通常では行わないバックでの移動をしていたところ右前タイヤが溝へ脱輪してしまった。	家族が脱輪に気づいてくださり、持ち上げてくださいました。	S字に蛇行しておりバックで出ない様にするか、細心の注意を払い確認しながら移動します。

2021年度（令和3年度）苦情受付処理報告（まどか園ヘルパーステーション）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
12月9日	利用者ショート帰宅後、嫁に電話をかけたいが聴力が悪く出ないとの事でヘルパーが代わりにかける。嫁からこの時間帯は勤務中が出ないとの事でしたが、ヘルパーの説明不足で嫁が無視して出ないと義母が言っていると勘違いされ、失礼なヘルパーとひどい義母だと憤慨されケアマネへ息子を通じて連絡がありました。	話の内容を確認し、息子さんへ謝罪の連絡をかけた。	言葉使いに注意して対応します。
1月25日	利用者の尿汚染された衣類を孫家族と共同で使用されている洗濯機にて洗濯したところ、パットと一緒に洗濯していたと家族からの注意書きメモが置いてあることが翌日訪問ヘルパーにより分かる。	孫家族は、早朝から夜間遅くまで帰宅されない為、孫嫁勤務先の喫茶店に伺い謝罪しました。	衣類洗濯時は、パット類が紛れていないか充分確認し洗濯を行います。

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
 集計対象：全



	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
転倒・転落	3	2	2	4	4	1	4	2	2	4	3	5
外傷	1	2	1	2	1	2	3	3	0	0	0	0
誤嚥・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤 (誤薬等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チューブトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ずり落ち	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0

事故分析

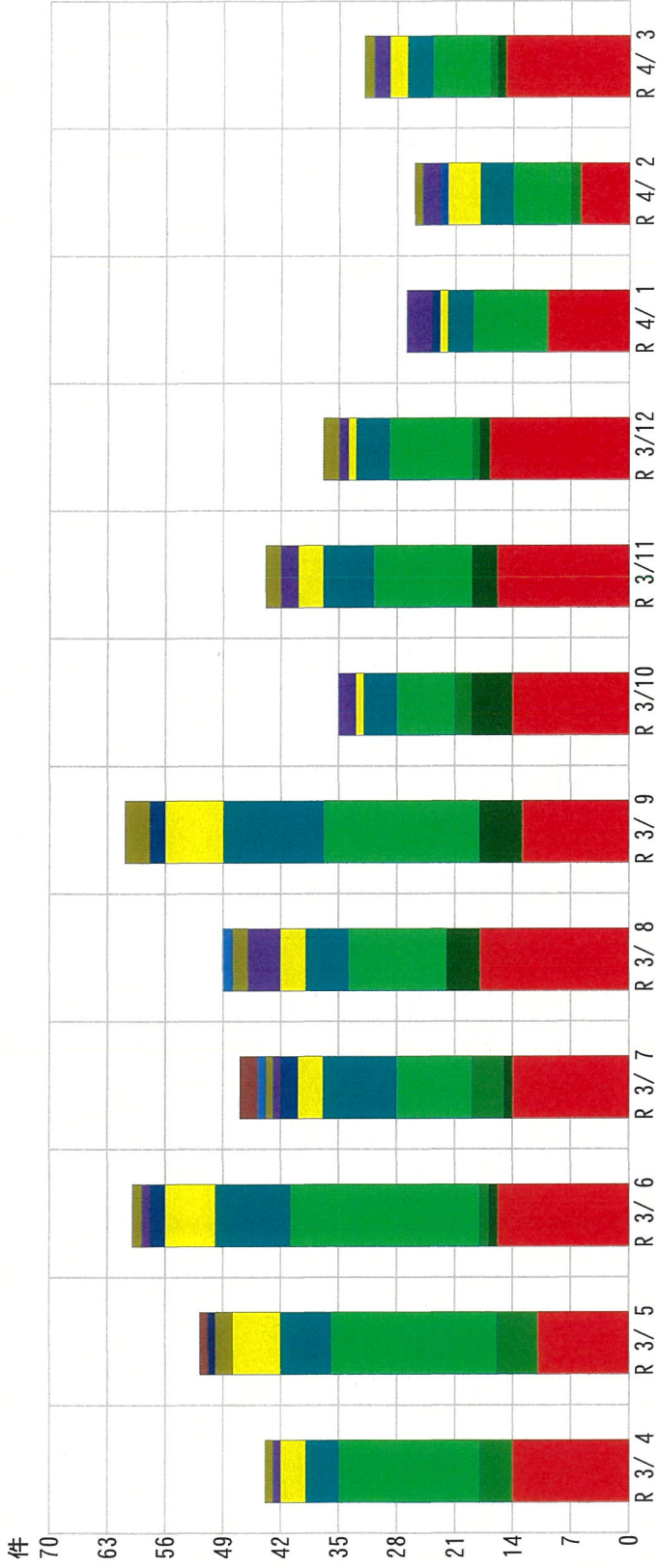
処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全

集計対象：全

	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
異食		1					1					
破損					1				1			1
紛失												
施錠忘れ												
交通事故												
利用者間のトラブル												
施設原因のトラブル												
守秘義務違反												
人権侵害												
拘束												
サービス内容のクレーム												
説明内容のクレーム												

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
集計対象：全



	R 3/4	R 3/5	R 3/6	R 3/7	R 3/8	R 3/9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/1	R 4/2	R 4/3
転倒・転落	14	11	16	14	18	13	14	16	17	10	6	15
ずり落ち			1	1	4	5	5	3	1			1
外傷	4	5	1	4			2		1		1	1
外傷 (内出血)	17	20	23	9	12	19	7	12	10	9	7	7
外傷 (表皮剥離)	4	6	9	9	5	12	4	6	4	3	4	3
薬剤 (誤薬など)	3	6	6	3	3	7	1	3	1	1	4	2
誤嚥・誤飲												1
異食			2	2		2				1		

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
集計対象：全

	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
介護や健康管理上の不	1		1	1	4		2	2	1	3	2	2
破損・紛失	1	2	1	1	2	3		2	2		1	1
トラブル												
守秘義務違反												
プライバシー・人権の		1										
抑制・拘束												
訪問/送迎時間/予定の												
クレーム				1	1							
無断外出・離園・施設												
交通事故												
感染												
その他		1		2								

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月3日	ベッドへ臥床後に腹部周辺に血がついていた。手を確認すると、第3指の付け根に2cm程度の裂傷を発見する。	止血を行い看護職員に報告。 3cmの裂傷あり。 第一病院を受診し、レントゲン結果骨折なし。 深さは1cmまたは2cm程度ある為、5針縫合となる。	ベッドへの移乗はまずL字柵を持っていただき立ち上がっていただく。介護者は手や足の位置を確認できる斜め後ろに立ち、安全を確認後ゆっくりとベッドに移っていただく。
4月9日	起床介助の為に訪室すると、前頭部に5cm×5cmの腫れを発見。離床して頂こうとするも痛みが強く起き上がる事ができない状態であった。他の部分も様子を見ると両足の前膝部に内出血がある。	身体チェックをすると両足の前膝部に内出血あり。 体温36.9度 血圧118/74脈拍82 看護職員に報告する。 再度身体チェックを実施する。 前頭部に5cm×5cmの腫れ、両足の膝の前膝部に内出血、左大腿部辺りに痛みがある。 骨折の可能性がある為、緊急搬送する。 CTにて頭部に血腫はあるが出血はなし、脳委縮あり。左大腿骨大転子部骨折あるもMRI実施困難な為、精査できず。施設にて安静対応となる。	骨折が完治するまでは、安静対応にて居室ベッド位置を変更し様子が見やすいように対応する。 オムツでの排尿は拒否があるため、トイレでの排泄対応は継続する。 現状の説明をしても動いてしまうため、トイレ時は転倒の危険性があるので、センサーマットを設置し、排泄時は介助する。トイレに行かれる際に痛みがありふらつく可能性が高いので、センサーマット横に転落防止用マットも設置する。
4月14日	入浴用のシャワーチェア上でズボンを着脱する。衣類を置く為に手を離れた時にバランスを崩し、職員が支えるも支えきらず床に頭部から左側臥位で転落した。 転落時は四つん這いの状態になった。	応援を呼び、二人介助にてシャワーチェアへ移乗する。声かけにも反応あり、シャワー浴を実施する。 その後、看護職員へ報告する。 居室ベッドに臥床し、血圧測定を行い血圧184/83、脈拍71、体温35.7℃（興奮状態） 10：40すぎ 看護職員と共に身体チェックを行う。 左頭頂部に縦5cm、横4cmの軽度の擦過傷を確認する。出血、腫脹はなし。頭痛、嘔気がないかを確認すると「ハイ」との返答あり。経過観察する。 昼食時 ベッド上にて食事提供する。傾眠があり下膳する。 17：45 ベッドから離床時に突然顔色不良あり。反応乏しく発汗あり。看護職員へ報告する。 右上方へ2,3秒程度の眼球固定あったが、声かけに返答あり。 身体チェック時に左膝にすでに黄色くなっている内出血を確認する。また、左膝内側に水が溜まっているような小さな浮腫がある。 普段は口を開けていびきをかかれるように眠るが、口を閉じて口を膨らませて寝息を立てている状態であったので、夕食と夕食後薬は中止し、経過観察する。 22：45 顔面冷たく白色痰中等あり。排泄交換時に「痛い」と大声あり。 【4月16日】 4：00 痰絡みあり。口腔ケアを行って、痰を中量除去する。黒目が右を向いた状態で、振戦あり。上半身に多量の発汗あり。 血圧125/71、脈拍75、体温36.4℃。 7：30 看護職員にて少量の白色痰を吸引する。意識レベル低下なし。顔面に発汗があり、朝食は中止とする。 9：00 嘱託医来園中にて往診する。受診の指示がある。 9：30 四肢冷感、発汗多量、短時間のレベル低下と、眼球固定があり救急搬送となる。 10：10 伊丹市立病院へ搬送 10：25 脳神経外科での診察。CT異常なし。 11：00 内科での診察。尿路感染、脱水症にて入院となる。 【4月23日】 17：12 嘱託医から診療情報のFAXあり。 病名：肺炎、尿路感染症、両側大腿骨骨幹部遠位側骨折、十二指腸潰瘍	シャワーチェア移乗後は安全ベルトを使用し、転落予防をする。 シャワーチェアは壁に横づけするか、または二人介助で対応する。 シャワーチェア使用時にタオルを使用し姿勢が安定するようポジショニングをする。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月22日	歩行時に右腸骨のあたりを手で押さえており、ベッドに臥床した後、痛い部位を確認したところ、2.5cm×5cm、1cm×3.5cmの内出血がある。	痛みの有無を確認すると、「痛い」との事。熱感もあったのでケリングを行いながら、看護職員の指示で様子観察する事となる。 血圧116/47 脈拍57 体温37.0℃ 【4/24】 右腰内出血と痛みがあり宝塚病院へ受診。骨折は否定。筋を痛めた可能性があるため、今は歩行をしない方がよいとの事。痛み止め、湿布の処方あり。	センサーマットは継続して使用する。ポータブルトイレの位置を今までよりベッド近くに設置（足元）する。
4月29日	更衣介助時に、右大腿から太もも内側にかけて27cm×6cm・左太もも内側に3cm×1cmの内出血を確認した。	応援を呼び、介護職員2名で身体チェックを実施する。痛みもあり。 8:00頃 看護職員へ報告し、経過観察の指示を受ける。 9:30頃 ご家族様に事故報告と病院受診の依頼を行った。 10:45 宝塚病院受診。CTにて右腸骨が欠けており骨折の診断がある。手術適応外の為、安静対応の指示がある。	立ち上がりセンサーは使用しているが、食事以外はほぼ居室で過ごし、ベッドで端座位で過ごす事も多い為、廊下にて反応するように設置していた。骨折部位が完治するまで、立ち上がった時にセンサーが反応するように設置場所を変更する。 また、痛みがあるので掴まれる箇所が多くなるように、立ち上がり用の柵（L字柵）を使用する。
5月24日	居室から「誰か来てください」と叫ぶ声があり訪室する。居室内で立っており、右目上から出血がある。居室内の床、タンスにも血がついていた。	すぐに隣のユニットへ応援を呼ぶ。 頭部の血を拭いて3cm程度の傷があるのを確認する。痛みもあり、全身チェックするも他外傷なし。転倒した話をされるがどこで転倒したかなどは分からず。 1:02 看護職員へオンコールする。 血圧120/54 脈76 体温36.4℃ 発語もあり、意識レベル低下なし。 看護職員より様子観察の指示がある。 7:00 看護職員により身体状況確認する。 麻痺等の出現もなく、歩行器での歩行も問題なし。 食事中に右上をぼんやりと見ている様子があるが、意識レベル低下はなく、会話可能。すぐに眠ってしまう状態もある。 9:50 宝塚第一病院（脳神経外科）受診する。 頭部CTにて頭部内出血はなし。古い脳梗塞像はある。2017年と比較して変化はなく問題なし。 かなり強打している可能性があり、右上顎洞外側壁骨折、右頬骨のつけ根骨折の診断。血液貯留もあり。 宝塚市立病院（形成外科）へ紹介となる。 顎は影響ないので食事摂取は問題ないとの事。7月5日に再診となる。 第一病院（整形外科）にて処置。6月7日に再診。 帰園後は、車いす対応するも立ち歩きがあり落ち着きなし。右頬に腫脹し痛みがある。 18:00 食欲なし。食席でぼんやりした様子がある。右頬の腫脹は継続。痛みはなし。右眼がほぼ見えていない様子。 【5/25】 9:45 宝塚市立病院（形成外科）受診。ご家族様も付添される。 右眼に腫れがあり開眼不可。 医師より開眼5mmほどあり、動きもあり。骨折部位も視神経を圧迫する部位ではない。腫れがおさまらないと手術適応ではない。上顎洞部に血液貯留については、徐々に鼻・口腔から出てくる可能性があるが問題はない。現状は抗凝固剤服用は中止できないので、1週間程は再出血の様子観察が必要と説明がある。	骨折部位が完治するまでは、センサーマットを使用する。 夜間巡視は1時間毎を継続し、本人が不安であれば傾聴する。 不穏な時は焦って動く可能性があり、幻覚、幻視もある為、タンスの角を保護する。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
6月23日	「おーい」と人を呼ぶ声が聞こえたので訪室する。ベッド上で長座位になっており、鼻つけ根に縦横0.5cmの内出血を発見する。	発見時本人様興奮されており「身体に触らないで」と仰る。血圧、体温測定は出来ず、患部の状態を確認して、痛みあり。看護職員確認時、腫れが大きくなっており、鼻血もあり宝塚第一病院に受診する。受診結果、骨折なし。頭部CTで出血なし。今後2カ月は意識障害や片麻痺の進行、吐き気や嘔吐など状態異常がないか観察の指示がある。	ご自分で身体を起こそうとされたが、不安定でベッド柵に打ち付けた可能性があるため、ベッド柵にカバーを設置する。また、臥床時はベッド柵から離れた位置で休んでいただく。
6月28日	夜間巡視時に、居室に訪室する。居室扉前で長座位で倒れているのを発見する。	介護職員の応援を呼び、バイタル測定実施。血圧155/82 脈拍70 体温36.3℃ 外傷確認の為、身体を動かした際右大転子部に強い痛みの訴えあり。 立位不可能なため、2人介助でベッドへ移乗する。頭部や全身外傷なし。 3:23看護職員にオンコールし、痛みがある右大転子部のみクーリングを行い、朝まで経過観察を行うよう指示がある。 朝食については痛みが強く、提供は難しく朝食と内服を中止した。 9時に家族・介護職員付き添いのもと宝塚第一病院整形外科を受診し、右大転子部骨折にて入院となる。	夜間トイレに行こうとし、足を滑らせ転倒された可能性があるため、1時間毎の巡視を継続する。 目覚めている時にはトイレ誘導する。また、早朝に排便があることが多いので、排便コントロールを実施し、日中に排便が出るよう調整していく。 ズボンの長さを確認し、家族様に確認の上踏まない長さにする。 両目白内障であり、左目はほぼ見えないので、本人にとって適切な明るさを保つようにする為、常夜灯とトイレの電気をつけておく。 骨折後の為、退院時の状態に合わせて検討する。（センサーマット使用）
7月5日	入浴時にズボンと靴下を脱ぐと、左足のふくらはぎから踵にかけて内出血がある。触ると痛みがある。	看護職員に報告する。 左前下腿部に4cm×8cm、後下腿部にかけて17cmの内出血、足背に12cm×4cm、8cm×2cmの内出血を確認する。 立位不可、触ると痛みがあるため宝塚第一病院受診する。 左膝蓋骨折。ニースプリントの常時装着し、伸展状態を保つよう指示がある。	センサーマットは継続して使用する。 骨折部位が完治するまでは安静対応の為、リクライニング車いすにて移動する。
8月17日	就寝介助の時、車いすからの立ち上がりが難しく、足の痛みがあった為、身体チェックする。 左大転子に5.5cm×2cmと左足内側に6cm×2cmの内出血を確認した。	発見後、左足内側の内出血周辺あたりは「痛くない」と仰られ、左大転子については、触れると「痛い！」と仰られていたため、湿布対応を行った。 19:45頃 クーリング開始した。熱感なし。 20時15分頃 身体チェックを行い、左大転子、左足内側以外の場所に内出血はなかった。血圧脈体温すべて問題なく以降経過観察を行った。 8月18日 痛みあるが立位可能。湿布対応する。 8月20日 左大転子部に6cm×6cmの腫脹に熱感あり。 8月21日 腫脹拡大し熱感あり。夜間も痛みがあり一睡もせず。 9:00宝塚病院に受診する。左人工骨頭の横に剥離骨折との診断。血腫部はpunk実施。打撲していなくても動かしていれば剥離骨折する事はあるとの事。行動制限はなく保存療法となる。	居室は1/2対応、センサーマット設置し、ポータブルトイレでの排泄を行っており、環境を整えているので継続していく。就寝時に、身体チェックを行い、早期発見に努める。
8月22日	センサーの反応があり、他利用者様の対応が終わってから（2～3分後）居室に訪室する。入り口付近にベットに脚を向け右側臥位で転倒されているのを発見する。	他介護職員に応援要請を行う。 血圧161/81 脈拍142 体温36.8℃。 頭部右額より出血あり。 看護職員にオンコールし、圧迫止血の指示がある。 21:30に看護職員付き添いで宝塚第一病院へ救急搬送となる。脳出血はないが、水頭症あり。頭部の挫傷は6針縫合する。2～3日はできるだけ安静との指示がある。	センサーマットは継続して使用する。 トイレの仕切りをカーテンから扉に変更する。扉のノブを持つとバランスを崩す可能性があるため動かないように固定する。本人様の希望で夜間帯は居室全ての明かりを消していたが、トイレの明かりは付けておく。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
8月20日	朝食後、飲み終わったコップを台所に持って来ようとされ、足がもつれ転倒された。 職員が食器洗浄中に歩行が不安定な事に気づいたが間に合わなかった。	車いすへ移乗し、ベッドへ臥床する。バイタル測定実施（血圧113/65 脈81 体温36.7度） 看護職員へ連絡する。 身体チェックをし、右大腿部付け根から大腿部にかけて強い痛みがある。右膝に少し赤みを確認し、腫脹はなし。骨折の可能性がある為、病院受診となる。 8：45 ご家族様へ事故報告する。ご家族は仕事があり受診付き添いが難しいとの事で、施設職員のみで受診する。 9：30 宝塚第一病院へ受診。右大腿骨頸部骨折の為、入院。	転倒した日は排便が4日間なく、便秘傾向であった。 便秘時には落ち着きがなくなり、転倒される可能性がある為、その際はトイレ誘導し、落ち着いて過ごして頂く事で、リスクを軽減する。 また、起床時間に熟睡している時は、午前中は臥床対応や、朝食後に眠そうな様子があれば臥床対応は継続する。 眠前薬使用しており、診療内科の医師と相談上検討する。 朝食時のみ、職員目の届く席にて対応する。
9月21日	センサー反応があり訪室する。居室内の扉前で右側臥位で転倒しているのを発見する。	看護職員に連絡する。 身体チェックを実施し、後頭部に4cm×2cmの腫れがあるが、他外傷なし。クーリング実施。 頭部の痛みはないが、左大腿骨の痛みがある。脚に腫れ等ない為、湿布にて経過観察する。 【9/22】 9：30 伊丹恒生脳神経外科にご家族様も付添にて受診する。脳梗塞の診断があるが、足の骨折の治療はできない為、脳・骨折共に対応可能な伊丹市民病院へ紹介となり受診する。 伊丹市民病院にて、左大腿骨骨折と診断あり。高齢にてご家族は手術希望されず。温存治療となる。 伊丹恒生脳神経外科へ転院し、脳梗塞治療にて入院治療となる。	歩行不可能の状態での退院となる。 左大腿骨骨折の手術は行っておらず、左下肢は動かさず安静と病院より指示がある。 本人に安静の理解ができず、ベッド上での動きがあるので低床ベッドを使用し転落防止の対応とする。
11月9日	居室内で、車いすから転落しているのを発見する。 床に多量に出血痕あり。	看護職員へ連絡する。 タオルでの止血、バイタル測定を行う。血圧151/79 脈62 体温36.5℃ 右額に2cm、1cm、2.5cmの切創があり、出血も伴っている。 圧迫止血し、ファスナート固定にて処置。 脳外科受け入れなく、14：30に第一病院の整形外科を受診する。 頭部CT，レントゲンにて頭部、肩から足は骨折もなく特に異常はなし。 創傷については、現在の処置でいいが、気になるようであれば脳外科受診するようにとの事。 頭部打撲している為異常がないか経過観察の指示がある。	車イスでの座位姿勢が崩れた状態で、自操し脚を後方に巻き込み、バランスを崩し車いすから転倒したと思われる。 車いすは足のみで自操しており、姿勢も前屈姿勢になり、右上肢麻痺があるのでよりバランスを崩しやすい身体状況である。 姿勢が崩れている時は、座り直しを行う。 足のみで車いすを自操するので、座面の高さが低い車いすへ変更する。
11月12日	トイレの訴えがあり、立ち上がりは介護職員が介助をした。 歩行器にて一歩を踏み出した時に躓き転倒し、頭から倒れこんだ。	転倒直後、ソファへ本人を抱え移乗する。右額に多量の出血が見られた為、タオルで抑え止血し、クーリング対応を行う。 夜間待機看護職員へオンコールする。 バイタル測定し、血圧80/69、脈拍121、体温36.1℃。意識あり、痛みの訴えもあり。 22時に看護職員が現場に到着し、出血続いている為、再度止血を行う。 22時50分頃、伊丹恒生脳神経外科救急搬送となる。 CTにて一部不鮮明な箇所もある。創傷は縫合。経過観察の為、入院となる。	眠前薬服用後、歩行不安定になることが想定される場合、多職種で共通認識をもちリスクについて共有化する。 眠前薬服用後のトイレ誘導の対応が必要と判断した場合、通常対応で可能かどうか検証し、別途対応が必要な場合はケアプランに記載し共有化する。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
12月7日	入浴時に体を洗うタオルを取るため手を放した。 バランスを崩し、入浴用のストレッチャーから転落し頭部打撲する。	入浴用緊急コールにて応援を呼び、看護職員へ報告する。 額に裂傷と出血がありタオルで圧迫止血する。本人には意識あり。 血圧114/71 脈82 体温36.4℃ 血中酸素濃度97% 看護職員が到着後、裂傷が大きいため13:58救急搬送となる。 14:48 ご家族様に連絡がつながり、現状報告をする。 医師より説明があり、頭部CT検査にて骨折、脳出血はなし。てんかんを起した様子なし。前額部を20針縫合する。 患部が壊死した場合は形成受診との事。 経過観察の為、翌日まで入院となる。	入浴用の体位安定用クッション購入し、座位不安定な状況を少しでも改善する。 座位が不安定な方は2人介助で入浴する。 1人介助の方は洗身時、ストレッチャーの片側を壁に寄せて転落を軽減し、手を離す時はベルトを使用する。 洗にくい部分は応援を呼び二人で対応し、ベルトを使用して洗える箇所はベルトは使用したままにする。 事前にタオルや着替え等は手を離さなくても取れる位置に用意しておき、利用者から手を離さない。
1月26日	起床後から右腕を動かすと痛みがある。	朝食後にベッドへ臥床し痛みがある箇所を確認すると広範囲に内出血がある。 看護職員に報告する。 右肘関節部位に14cm×14.5cmの内出血があり、少し触れるだけで強い痛みがある。 血圧146/99 脈88 体温36.4 血中酸素飽和度95% 長男様へ受診連絡するも繋がらず、長女様へ受診する旨を説明する。 12:30こだま病院へ相談員が付き添いし受診する。 レントゲンにて右上腕骨顆上骨折の診断。 ギプスで骨折箇所を固定すると、年齢もあり皮膚トラブルの可能性があるので、シーネ（添木）固定し、保存療法となる。 夕方に長男様より連絡があり、診断結果の報告をする。	骨粗鬆症が現病歴にあるので、骨折のリスクが高い事を再度周知し、介助中はより注意が必要なことを周知する。 更衣時や移乗時には腕を引っ張らず介助する。 低床ベッドを車いすの高さまで上げずに、上へ抱え上げて移乗した事により柵やアームサポートに打撲し骨折に至ったと思われる。移乗時はベッドの高さを調節し、ご利用者に負担がかからないよう介助する。
2月6日	「ゴンッ」と音がし、後ろを振り返ると共同室で車いすから右側臥位に横たわっているのを発見した。	痛みの有無を確認すると痛みがある。右こめかみに1.5cm×1cmの裂傷。出血が多量のためタオルで止血する。看護職員が到着し、ガーゼ保護の処置をする。その後身体チェックを行い、第2指人差し指に1.5cm×1cmの内出血と第4指に1.5cm×1.3cmの内出血を確認した。 血圧173/96体温36.9℃ 右こめかみ傷が深いことから宝塚第一病院に受診し、創部縫合し帰園される。	座位用のクッションではいものを敷いていたので、深い感から座りなおりしをした時にバランスを崩して転倒した可能性がある。また、滑りやすい素材でもあったため、クッションの見直しをする。 爪は入浴後に切る事を継続する。
2月18日	朝食後にトイレの訴えがあり、ご自身で立ち上がった時に右股関節から右大腿部にかけて強い痛みの訴えがあり歩行ができなかった。	車いすに移乗し、居室に誘導。ベッドに臥床し、身体確認を行うも外傷がないの確認する。 看護職員と相談員に報告。トイレ誘導の際は、立ち上がりが可能だったため、ショートステイ終了時間まで経過観察。ご家族様に状況をお伝えし、かかりつけの整形外科受診する。右股関節頸部骨折の診断があり宝塚市立病院に転院入院となる。	赤外線センサー設置継続 ご利用前に身体状況の確認（家族、居宅から）及び必要であれば病院受診を依頼する。 痩せ気味体形のため、椅子に低反発の座布団を使用する。 歩行動作に変化が会った時や、痛みの訴えがあったときは、すみやかにご家族様に連絡し、病院受診の調整を行う。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
2月21日	トイレでの排泄時に右手甲に表皮剥離を発見する。	二人介助で車いすに誘導し、ベッドへ臥床する。血中酸素濃度94%、血圧183/92、脈拍68。前額部に打撲があり、触れると痛みがある。4×6cmの腫瘍、血腫部もありクーリング実施。右手に4cmの剥離はファスナート処置。身体チェックを行い両ひざにも薄く赤みがあり、他は外傷なし。ご家族様へ報告し受診する旨を伝える。15：00伊丹恒生脳神経外科を受診。頭部CTにて脳内に出血なし、頭蓋骨にひびや骨折なし。3月中にぼんやりした様子やふらつきがあれば慢性硬膜下血腫の疑いがあるので受診との医師より説明がある。	排泄はベッド上、またはトイレ誘導の際は二人で対応する。また、体動が強い際にも時間を空けて介助する。急な動きもあるため、トイレの手すりに保護材を使用する。トイレ時には必要物品を準備し、その場を離れない。
3月16日	就寝介助の際、共同室から「ドン」と音がし見に行くとキッチンを頭にして車いすごと転倒されてるのを発見する。左の眉毛あたりから大量出血してるのを確認した。	発見後、看護職員に報告し、他介護職員に応援要請する。血圧158/85 脈拍66 体温37.0℃。看護職員が到着し、ガーゼで止血をし2人介助でリクライニング車いすに移乗し19時30分に救急搬送する。頭部異常なく、左前額部を縫合し帰園となる。	体調不良時にはベッドへ早めに臥床する。リクライニング車いすのギャッジを降ろす場合、背中のクッションはすべて外しておく。アームサポートの一番高い位置で統一する。机を手で押す行為があるので、食事以外の時間は机から少し距離を離す。
3月23日	「お願いします」と聞こえ、訪室すると、車イスからはずり落ちているのを確認した。	看護職員へ報告する。左足第5指あたりが「痛い」と仰られるも、外傷はなく、経過観察する。ベッドへの移乗は問題なく、実施できていた。血圧124/70脈61体温36.8℃ 19:30頃左足第5指付け根に、3cm×2cmの内出血を確認した。痛みはあるものの「大丈夫ですよ」と仰られた様子観察をした。1：00頃より痛みが強くなる。徐々に腫れもあり。翌朝ご家族様に連絡し、こだま病院受診する。第4・5趾にヒビの診断。2週間後再受診となり帰園される。	視力も低く、ほとんど見えていない状態であるが、日常動作には問題がなく、部屋の場所やベッドの位置などは理解できている。本人の自分でできることはしたいを尊重し、継続したケアを行う。臥床した時に、起き上がる時はナースコールを押してもらうように声をかける。
3月26日	ベッド横に左側臥位で倒れているのを発見する。	看護職員へ報告する。前額部にY字型の裂傷があり多量出血していた為、直ぐにタオルで止血を行う。意識はあるが、混乱されている様子。血圧164/83 脈69 体温36.3℃ 看護職員とリクライニング車いすに移乗行い、頭部クーリング行う。宝塚病院へ受診し、創部は縫合する。頭部も異常なく帰園される。	麻痺があり、車イスの自走は転倒リスクが高いため、職員の介助により移動することとする。車イスに座っている際には、両脚をフットレストに乗せていただき、静止時はブレーキを掛ける。居室で過ごされる時は、前にテーブルのある場所で過ごしてもらい、手が届くところにロングコールを設置して、ご本人がトイレ時等ご用の際、職員に知らせることができるようにする。

2021年度（令和3年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ）

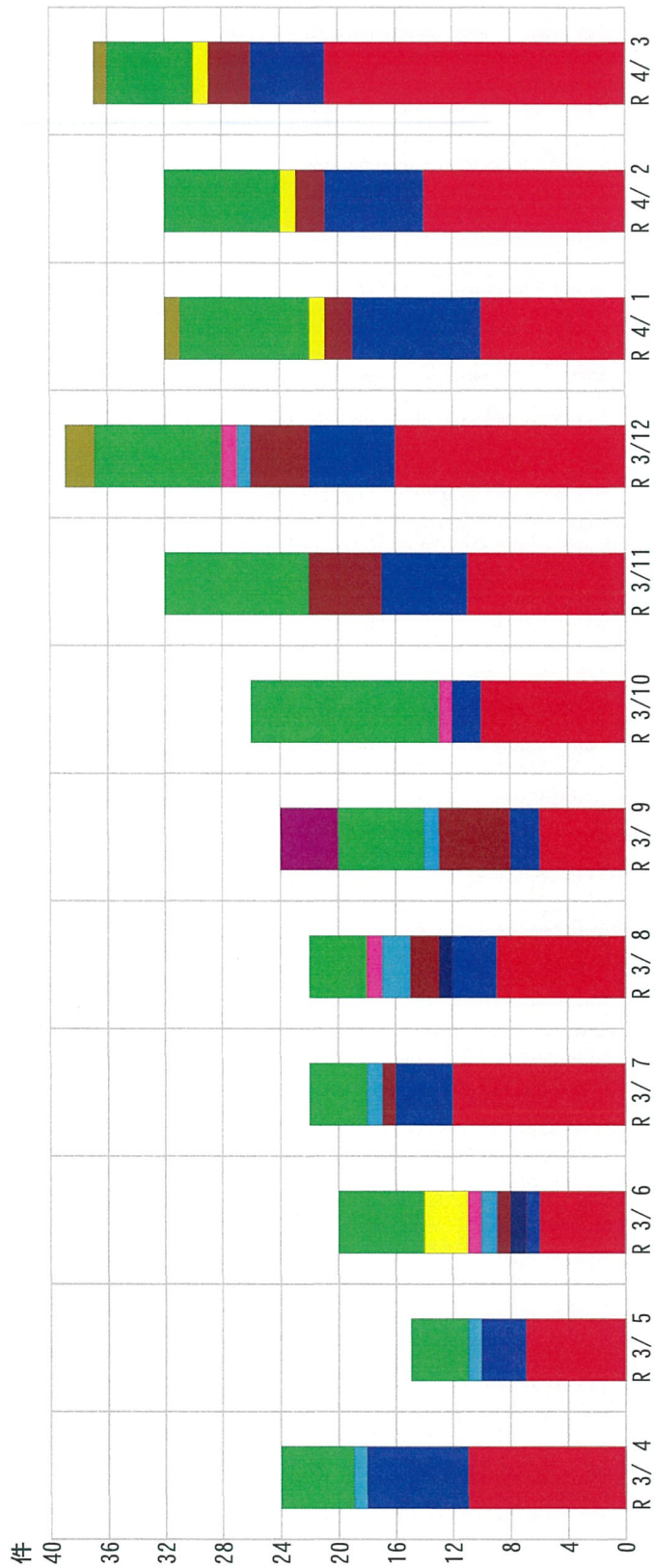
発生日	内容	対応内容	今後の対応
7月29日	ご家族様より「持参した飴とパンが残っていると」立腹された様子で連絡がある。	居宅管理者へ報告する。送迎時に、ご家族様と相談員が持参するパンの提供を詳細に決め統一する事となる。	ご家族様の意向が変わることがあるので、ショートステイご利用申込書を毎回相談員も確認する。居宅や介護サービス事業所とトラブルを繰り返しているため、居宅ケアマネとしっかり情報共有を行い、トラブルを最小限になるよう努める。
8月7日	ご家族様が持参された物品が本人に渡されておらず紛失が分かる。依頼品の持参がなく、再度依頼した際に持参されていた事が分かった。（義歯洗浄剤2箱・歯ブラシ3本・お菓子）	ご家族に持参日・時間を確認する。（7月21日または22日18時以降に持参）他組に間違えて配布されていないか確認するも分からず。義歯洗浄剤、歯ブラシが最近持参された利用者様を確認し、名前の記載がないものを一旦引き上げ、ご家族様に確認するも持参品ではないとの事。見つからない可能性が高いので同等品弁償対応する。	聞き間違いの防止の為、持参品の用紙をご家族に記載して頂く。また、紛失防止の為に、持参品に名前の記載もお願いする。

2021年度（令和3年度）苦情受付処理報告（宝塚まどか園居宅介護支援事業所）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月1日	ショート利用希望者に対し利用できるかもと伝えた後、基本情報とは状態がかなり変化したこともあり受け入れが難しくなったことを家族に伝えると家族がご立腹される。	家族、施設長、相談員、居宅管理者、担当CMとで話し合いの場を持つ。なぜ受入が難しいかを施設長、相談員より説明するも、一旦入所できると聞いたが、断られたのは契約違反だと言われる。ショートを数日受け入れる方向で検討することで対応する。	どのようにでも理解できる曖昧な言葉で伝えない。状態変化があった場合などは利用が難しくなること等丁寧に説明をする。

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
集計対象：全



	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/ 10	R 3/ 11	R 3/ 12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
転倒	11	7	6	12	9	6	10	11	16	10	14	21
転落	7	3	1	4	3	2	2	6	6	9	7	5
薬剤			1	1	1							
落薬			1	1	2	5		5	4	2	2	3
誤薬	1	1	1	1	2	1			1			
誤嚥・誤飲			1		1		1		1			
異食			3							1	1	1
その他	5	4	6	4	4	6	13	10	9	9	8	6

事故分析

処理日：令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月31日 利用者：全
集計対象：全

	R 3/ 4	R 3/ 5	R 3/ 6	R 3/ 7	R 3/ 8	R 3/ 9	R 3/10	R 3/11	R 3/12	R 4/ 1	R 4/ 2	R 4/ 3
抜去									2	1		1
接遇												
自傷行為						4						
車両事故												
施設外徘徊												

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
4月29日	9時15分、トイレより「誰か助けて」と聞こえたので、中を覗くと、頭を奥に、足を扉側にして、右側臥位で倒れていた。	看護師がその場で右大転子部の状態を確認し、皮下出血あり、痛みの訴えが強い。2人介助で抱えて居室のベッドに横になって頂く。バイタル測定後も痛みの訴えが強く、ご家族へ状態報告し、受診の相談を行った。9時40分、受診し、痛みが強かったため、痛み止めの点滴を行った後、レントゲンとCT検査受けられる。CTにて骨折は認められないが、痛みの訴えが強く、経過観察のため、入院となった。	トイレに一人で行こうとされるため、見逃さないように職員同士声を掛け合い、見守りを行う。 他の方のケアでご利用者のそばを離れる時に、トイレの有無をお伺いしてから離れる。
7月10日	10時03分、ご家族付き添いによる受診を終え、帰園した際、ご利用者が椅子に座られて、ご家族と相談員の申し送りを聞かれていた。 背もたれがあると思い込み、もたれかかったが背もたれがなく、そのまま後方に倒れてしまい、玄関の壁で後頭部を強打される。	左後頭部より出血があり、看護師に報告。左後頭部に3～4cmの裂傷による出血があり、ガーゼで圧迫止血行う。問いかけにしっかりと返事をされ、四肢麻痺ないが、裂傷部付近に頭痛の訴えがあった。抗血栓薬の服薬はなく、バイタルも異常がみられないが、出血がある為、救急要請を行い、10時23分に家族同乗による救急搬送となった。家族より搬送先の指定があったが、適さないため、他の病院へ搬送となった。11時15分にご家族より連絡があり、CT検査し、異常ないが傷は深く、8針ステープラー止めし、来週に抜糸の予定とのこと。 12時、ご家族と共に施設へ帰園。左後頭部には大きなガーゼを貼付。ご家族より洗髪は明日までしないよう指示があり、次回、受診予定日確定次第連絡するとのこと。また、頭部打撲の注意点についての用紙を預り、異常があれば、病院に連絡する事で話がまとまった。	玄関の椅子は、背もたれがある物に変更する。受診から戻られた際は、なるべくすぐに職員がご家族と対応を代わる。
7月12日	9時20分、お部屋に訪室するとベッド横にて右側臥位で倒れているところを発見する。	ご利用者を動かさず、意識レベルのみ確認し、看護師に報告する。 看護師2名と共に、痛み・外傷の確認を行い、左眉尻・左手首に皮下出血と腫れと痛みの訴えあり。左手を動かしてもらっても、右手で支えないと動かさない状態である。看護師により左手首をシーネで固定し、バイタル測定を行ったが、血圧高値。受け答えは普段と変わらないご様子であった。血圧高値であるが、朝食前であり、朝食後に薬の降圧剤を服用いただく。 10時にご家族へ連絡するが不在。10時30分に左手関節の痛みあり。10時50分にバイタル確認したところ、血圧数値は落ち着いている。 11時の時点で痛みと腫れがある為、整形外科に受診。 左手関節のレントゲン撮影後、橈骨骨折の診断を受ける。骨はずれていないので手術適応ではないとのこと。1か月のギプス固定で経過観察の指示があり、1週間に1回外来受診し、レントゲン撮影により骨の状態をみるとのこと。痛み止めの処方あり。14時にご家族様にも連絡が繋がり状態報告し、ご理解いただいた。	ご利用者自身は居室内を自由に動かされているが、居室内でどのような動線で動かれているか、動きを再アセスメントしていくこととする。また、ご利用者自身はどのようになって床に倒れていたか理解されておらず、状況の聴き取りは困難であったが、状況から転倒したという可能性が高いと思われる。今後も自身で歩行をされることを考えると現在履かれている靴がスポーツサンダルであり、床にひっかかり躓かれる可能性がある。通常の靴はご利用者が嫌がられていることもある為、歩行が安定しやすいスリッパタイプの靴を試していただき、靴の変更をご利用者と一緒に進めていく。
9月13日	12時に栄養剤注入のために訪室するとバルンカテーテルを自己抜去されました。	看護師が確認した為、その場で状態確認する。時間を置いて、主治医の指示の元、バルンカテーテルを再挿入しました。	バルンカテーテルのチューブをフィルムで固定する。（土台にフィルムを貼り、その上からフィルムでチューブを固定） 訪室の度にチューブの位置を確認する。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
10月24日	15時15分、居室から「誰か来てー」と声が聞こえ訪室すると、床に右側臥位になられているご利用者を発見する。左大転子部の痛みの訴えが見られた	15時18分、看護師がバイタル測定、外傷確認を行い、左大転子辺りを抑え、強い痛みがあったが、左大転子付近に発赤や皮下出血、腫れは認められない。血圧は高めだが、意識清明、両上肢は動きに異常は見られなかった。タオル移乗にて右側臥位のままりクライニングに移っていただく。受診が必要と判断し、15時26分にご家族へ報告し、主治医の診療所へ受診となった。15時35分に救急要請を行い、15時50分に救急車が到着され搬送される。16時に病院に到着。救急外来にて診察とレントゲン検査他を受けた結果、左大腿骨転子部骨折と診断され、病院より髄内釘手術になることをご家族に説明され、了承された。	ベッドを移られた際は、床にマットを敷き、車いすの場所にも注意する。ご利用者にも移乗時は、ナースコールを押していただく事を再度説明、居室へ訪室する回数も増やし、見守りを強化していく。
11月19日	19時20分、就寝介助の際、靴下を脱いで頂いた時に、左足（足背）に腫脹、熱感、うっすらと皮下出血状になっていることを確認した。	触ると身体をびくっと動かされ、痛みもある様子。夜間はアイスノンで様子観察を行った。11/20(土)10時半、看護師が確認し、左足背部に腫脹があるも軽減されており、動かすも表情変わらず、痛みはない様子であり、湿布貼付し、様子観察を継続する事とした。19時15分、腫脹、熱感、うっすらと皮下出血跡状のものあり。触り、押したりするも痛む様子や苦痛表情はなし。11/21(日)触れるも痛みなし。軽度の皮下出血と腫脹はみられる。11/22(月)左足背腫脹軽減。熱感なし。足趾一部皮下出血あり。ロキソニンテープ貼付する。11/23(火)17時50分に左足背腫脹と皮下出血あり。足裏も皮下出血あり。触れると苦痛表情される。11/24(水)腫脹か浮腫が見当がつきにくい状態。皮下出血があり、湿布貼付する。11/25(木)9時、数日間、経過観察としたが、腫脹と皮下出血の軽減見られない為、整形外科に受診する事とした。13時、整形外科へ受診。左足背のレントゲン撮影の結果、左第4趾のつけ根にヒビ(骨折)があると診断を受ける。骨粗鬆症も進んでおり、固定しないとずれる可能性はあるが、ご利用者のADLであると大丈夫であろうとの事。外反母趾があるので、ギプスを巻くと褥瘡になる可能性があるため、ギプスはせずに、湿布と包帯で様子観察し、1週間後に再度受診指示あり。入院等はなく、保存治療とし、通院にて経過観察となる。17時15分、ご家族に19日の夜に腫れを発見してからの状況と本日受診して骨折があったことを報告し、お詫びしました。「命にかかわるような怪我ではないので、大丈夫です」と言われましたが、ご本人に痛い思いをさせてしまったこととお詫びしています。	移乗時に足背がどこかに当たってしまった可能性や車いすを介助で押している際にぶつけてしまった可能性が考えられる。移乗方法を再度検討し、安全な形(2人介助を行う等)で移乗を行うこととする。また、車いすを押す介助者は、足元が見えていない事がある為、必ず確認を行い注意していく。

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
12月29日	<p>2時40分、センサーが鳴ったが他利用者トイレ介助中のため、対応できなかった。対応後にご利用者の所在を確認するもリビングのご利用者の座席の後方に歩行器のみがある（一旦リビングまで出てこられ着席するも立ち上がり歩行器使用せず独歩で歩かれた様子）。居室を確認すると洗面台前の椅子がひっくりかえっており、その付近でご利用者も右側臥位に転倒されている所を発見する。</p>	<p>外傷や痛み、バイタルの確認を行い、頭は打っていないと仰られる。右腕と前腕の痛みの訴えがあり、右腕脱力で自身では軽度しか力めず、介助での腕上げ時、極度に挙がったり外転している様子や肘を屈伸するも痛みがあり困難な状況であった。待機看護師に状況報告し、急激な腫れや激痛は現在はなく、もしも朝までに痛みが強ければ、カロナール内服を行い、朝まで様子観察の指示を受ける。 7時40分に看護師が確認し、右肩に強い腫脹あり。皮下出血、痛みあり。バイタル異常なし。呼吸は穏やか。バストバンドで固定するが、きついようなので、三角巾固定に変更する。痛みや腫脹がある為、受診調整となった。 7時55分にご家族に状況説明を行い、本日受診させていただく事を了承された。 9時に主治医へ状況説明後、受診の指示あり。9時半に整形外科に受診の方向となる。右肩のレントゲン撮影の結果、右上腕骨外科頸骨折との診断を受け、入院の上、髄内釘固定術の手術を受けられる事となった。担当医からご家族にも電話連絡され、説明後に了承を得た。</p>	<p>他者介助中に起きた事故であったため、夜間の状況を再度職員で情報共有し、ご利用者が覚醒されても転倒なく動けるように歩行器や車いすの位置を見直す。又、夜間の排泄状況を再確認することと巡回回数を増やしていく。</p>
1月15日	<p>6時に居室よりトイレにお連れした際、腹部からペグが落下する。ご利用者が抜去していた状況であった。</p>	<p>ご利用者に確認するが、抜いた記憶はなく、痛みの訴えもない。8時に看護師が確認し、止血されているが、穴は開通している状況であった。ネラトンカテーテル挿入可能な状況で淡黄色透明液の逆流が確認されていることを主治医へ報告後、受診の指示があり、ご家族にもその旨を報告した。 9時半に主治医診療所に受診し、ペグの再挿入をしていただく。</p>	<p>見守りや巡回回数を増やし、毎回確認していく。</p>
1月22日	<p>0時45分にパット交換を行った際、左足の包帯を巻いている上部が大きく切れていて出血していることを発見する。</p>	<p>待機看護師へ報告後、待機看護師が施設へ来園。左下腿外側に約4cmの裂傷があり、深さも1cmほどであった。縫合が必要かと思われるが、夜間の為、消毒後テープ固定する。出血量は少ないが、浮腫の為浸出液が多い状態であった。 9時に病院へ受診した際、薄い水泡のようになっていた。縫うほどではなく、消毒後、ステリーテープで固定しガーゼ保護処置を行った。入浴は可能で施設での処置として、ステリーテープはずっと貼りっぱなしにして、傷が治ったとしても自然に剥がれるのを待つように指示があった。また、ガーゼは汚染や濡れたり時に交換。受診後、ご家族に連絡し、状況報告を行った。</p>	<p>足の接触に注意していく。夜間は巡回時に足の位置等も確認し、状況観察していく。</p>

2021年度（令和3年度）事故受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
3月6日	21時10分に職員が訪室するとベッドを背に座り込んでおられるご利用者を発見する。	<p>痛みの訴えや外傷、バイタルを確認した。痛みの訴えは無く、外傷は見当たらない。バイタル数値に異常も見られない状態であった。立ち上がりを介助し、ベッドに座っていただく。その後はベッドで横になって休まれる。21時50分にセンサー反応があり、トイレを希望されたため、ご案内した際、歩行の状態は普段と変化は見られなかったが、右手中指が青くなっている状態であった。</p> <p>3時30分、右手中指が青く、腫れていることを再度確認。</p> <p>9時に施設看護師が確認した際、右手第3指腫脹と手掌・手背に皮下出血があり、軽度圧迫すると痛みの訴えがあった。10時にご家族へ状況報告し、11時、受診することとなった。採血、レントゲン撮影の結果、右手第3指骨折の診断が下った。シーネ固定を行い、痛み止めの処方に加えて、翌日の同病院の整形外科受診の指示を受け、その旨をご家族へ報告した。</p> <p>3月8日 15時30分、整形外科に受診。右手中指基節骨折と診断を受ける。骨折線はあるが、骨のズレは無く、このままシーネ固定で様子を見ることとなった。</p>	ご利用者とも相談しながら、靴の購入を検討する。
3月15日	13時15分にご利用者が立ち上がり、右に回るような形でよろけてしまい、頭を棚にぶつけられ、額と鼻の横が切れて、出血された。	<p>近くにいた看護師がすぐに対応し、止血を行った。バイタル測定にて異常はないが傷も深い為、受診が必要と判断し、ご家族に連絡するが、出られなかった。</p> <p>受診を行い、頭部CT検査は異常なし。4針縫合となった。ご家族に連絡が付き、状態説明を行った。</p>	<p>いままでどおりリスクの軽減に努めていく。</p> <p>歩行状態について、職員間で情報共有を行い、見守りや付き添いができるように注意していく。</p>
3月26日	16時20分に杖の落ちる音とご利用者の声が聞こえ、居室へ向かうと、眼鏡が破損し、床に落ちており、居室前の廊下で尻もちをついている所を発見する。	<p>外傷を確認をすると、左手の甲は皮膚剥離されており、鼻の真ん中あたりから少量出血と右肘にも皮下出血を確認し、看護師に報告した。バイタル測定を行ったが特に異常は見られず、看護師が傷の処置を行う。看護師よりご家族へ状況報告し、今朝よりふらつきも強く、ご利用者からめまいの訴えもあり、受診の検討を依頼した。ご家族が迎えに来られ、病院へ受診することとなった。</p>	<p>車椅子を使用しトイレ誘導等を行う。</p> <p>ナースコールも再度説明し、動きにくい時があればいつでも押していただくよう随時説明していく。</p>

2021年度（令和3年度）苦情受付処理報告（特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ）

発生日	内容	対応内容	今後の対応
5月12日	以前にご利用者入院に伴い、入れ歯を預かっており、再度、他院への転院に伴い、義歯ケースを預かることとなった。居室に置くため、ご利用者の居室に訪室し、義歯の確認を行ったが見当たらなかった。	5月12日から18日の間でユニット内でしばらく義歯の捜索を行ったが見つからない。最終確認は4月30日（金）に紙に包み袋に入れ、洗濯物と一緒に持ち帰っており、その後、介助職員が洗濯室前に洗濯物を設置。翌日、出勤職員が洗濯物を確認したが、その際には義歯を確認していない。施設での紛失の可能性が高く、家族に状況報告の上、弁償させていただく事をお伝えし、ご理解いただいた。	義歯ケースが無い際は、義歯返却時に一目で義歯とわかる状態でユニット返却、もしくは返却と同時に義歯ケースの代わりにするものを用意し、その場で回収、保管する。義歯返却を行う職員も一緒に確認を行う。
11月18日	昼食使用後入れ歯をリビングのカウンターに置いていたが、16時5分頃に他のご利用者が持ち主の義歯を触りながら歩いている所を発見し、回収すると、下義歯のワイヤー部破損していた。	持ち主のご利用者へ謝罪と弁償させていただく事をお伝えした。当日夕食以降の食事について、「別に入れ歯が無くても食べれるから大丈夫よ」と言葉をいただく。普段からご自身で入れ歯を外して食べられていることがあった。17時14分、ご家族に状況報告した上で、謝罪した。歯科往診時に義歯の修理もしくは再作成を相談し、弁償させていただくことを説明し、ご理解いただいた。	他のご利用者の手の届くところでは、義歯を保管しない。

2021年度
決算報告書

(自) 2021年4月 1日

(至) 2022年3月31日

計算書類及び財産目録

- 法人単位資金収支計算書(第一号第一様式)
- 社会福祉事業区分資金収支内訳表(第一号第三様式)
- 法人単位事業活動計算書(第二号第一様式)
- 社会福祉事業区分事業活動内訳表(第二号第三様式)
- 法人単位貸借対照表(第三号第一様式)
- 社会福祉事業区分貸借対照表内訳表(第三号第三様式)
- 注記(法人全体)
- 財産目録(別紙4)

- 拠点区分資金収支計算書(第一号第四様式)
- 拠点区分事業活動計算書(第二号第四様式)
- 拠点区分貸借対照表(第三号第四様式)
- 注記(拠点区分)

法人単位資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	1,615,171,000	1,609,668,022	5,502,978
		借入金利息補助金収入	2,174,000	2,174,586	△586
		経常経費寄附金収入	240,000	300,000	△60,000
		受取利息配当金収入	2,614,000	2,200,753	413,247
		その他の収入	5,386,000	5,479,788	△93,788
		流動資産評価益等による資金増加額	6,308,000	16,064,422	△9,756,422
	事業活動収入計(1)		1,631,893,000	1,635,887,571	△3,994,571
	支出	人件費支出	1,033,241,000	1,024,564,174	8,676,826
		事業費支出	215,885,000	214,060,230	1,824,770
		事務費支出	169,589,000	156,868,900	12,720,100
利用者負担軽減額		4,511,000	4,417,359	93,641	
支払利息支出		12,606,000	12,585,465	20,535	
その他の支出		5,328,000	5,140,686	187,314	
流動資産評価損等による資金減少額		5,000,000	10,497,020	△5,497,020	
事業活動支出計(2)		1,446,160,000	1,428,133,834	18,026,166	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		185,733,000	207,753,737	△22,020,737	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	589,381	△589,381
		固定資産売却収入	120,000	120,000	0
		その他の施設整備等による収入	0	505,642	△505,642
		施設整備等収入計(4)	120,000	1,215,023	△1,095,023
	支出	設備資金借入金元金償還支出	107,640,000	107,640,000	0
		固定資産取得支出	13,454,000	10,295,878	3,158,122
ファイナンス・リース債務の返済支出		667,000	666,600	400	
その他の施設整備等による支出		766,000	760,008	5,992	
施設整備等支出計(5)		122,527,000	119,362,486	3,164,514	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△122,407,000	△118,147,463	△4,259,537	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	19,226,000	10,107,506	9,118,494
		その他の活動収入計(7)	19,226,000	10,107,506	9,118,494
	支出	長期貸付金支出	4,322,000	1,043,026	3,278,974
		積立資産支出	65,163,000	60,047,010	5,115,990
	その他の活動支出計(8)		69,485,000	61,090,036	8,394,964
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△50,259,000	△50,982,530	723,530	
予備費支出(10)		21,734,000	—	4,997,000	
		△16,737,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		8,070,000	38,623,744	△30,553,744	
前期末支払資金残高(12)		431,047,000	431,047,362	△362	
当期末支払資金残高(11)+(12)		439,117,000	469,671,106	△30,554,106	

予備費支出△16,737,000円は、事業費支出に510,000円、事務費支出に2,589,000円、流動資産評価損等による資金減少額に5,000,000円、固定資産取得支出に109,000円、その他の施設整備等による支出に479,000円充当使用した額である。尚、差額△8,050,000円は内部取引消去で拠点区分間繰入金支出に一宮キャンパス拠点区分で2,572,000円、宝塚キャンパス拠点区分で5,478,000円充当使用した額である。

社会福祉事業区分資金収支内訳表
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計
			法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点			
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	51,804	495,946,770	656,008,218	457,661,230	1,609,668,022	0	1,609,668,022
		借入金利息補助金収入	0	0	0	2,174,586	2,174,586	0	2,174,586
		経常経費寄附金収入	100,000	170,000	30,000	0	300,000	0	300,000
		受取利息配当金収入	2,197,517	2,017	843	376	2,200,753	0	2,200,753
		その他の収入	670,100	1,396,400	1,382,638	2,030,650	5,479,788	0	5,479,788
		流動資産評価益等による資金増加額	16,064,422	0	0	0	16,064,422	0	16,064,422
	事業活動収入計(1)		19,083,843	497,515,187	657,421,699	461,866,842	1,635,887,571	0	1,635,887,571
	支出	人件費支出	2,553,845	328,379,091	393,242,442	300,388,796	1,024,564,174	0	1,024,564,174
		事業費支出	2,469,891	67,718,437	84,011,662	59,860,240	214,060,230	0	214,060,230
		事務費支出	6,604,905	31,961,395	61,563,454	56,739,146	156,868,900	0	156,868,900
利用者負担軽減額		0	1,265,328	2,691,140	460,891	4,417,359	0	4,417,359	
支払利息支出		40,568	935,049	1,502,654	10,107,194	12,585,465	0	12,585,465	
その他の支出		0	1,556,414	959,752	2,624,520	5,140,686	0	5,140,686	
流動資産評価損等による資金減少額		10,497,020	0	0	0	10,497,020	0	10,497,020	
事業活動支出計(2)		22,166,229	431,815,714	543,971,104	430,180,787	1,428,133,834	0	1,428,133,834	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△3,082,386	65,699,473	113,450,595	31,686,055	207,753,737	0	207,753,737	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	589,381	0	0	589,381	0	589,381
		固定資産売却収入	0	120,000	0	0	120,000	0	120,000
		その他の施設整備等による収入	12,276	103,056	87,392	302,918	505,642	0	505,642
		施設整備等収入計(4)	12,276	812,437	87,392	302,918	1,215,023	0	1,215,023
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	10,332,000	50,508,000	42,492,000	107,640,000	0	107,640,000
		固定資産取得支出	1,483,448	3,809,700	4,391,330	611,400	10,295,878	0	10,295,878
ファイナンス・リース債務の返済支出		666,600	0	0	0	666,600	0	666,600	
その他の施設整備等による支出		281,425	472,752	5,831	0	760,008	0	760,008	
施設整備等支出計(5)		6,739,473	14,614,452	54,905,161	43,103,400	119,362,486	0	119,362,486	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△6,727,197	△13,802,015	△54,817,769	△42,800,482	△118,147,463	0	△118,147,463	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	57,006	8,424,187	1,004,010	622,303	10,107,506	0	10,107,506
		拠点区分間繰入金収入	41,447,000	5,560,471	2,204,447	405,000	49,616,918	△49,616,918	0
		その他の活動収入計(7)	41,504,006	13,984,658	3,208,457	1,027,303	59,724,424	△49,616,918	10,107,506
	支出	長期貸付金支出	639,990	0	288,900	114,136	1,043,026	0	1,043,026
		積立資産支出	3,749,588	29,856,132	23,134,807	3,306,483	60,047,010	0	60,047,010
		拠点区分間繰入金支出	8,169,918	16,092,000	25,355,000	0	49,616,918	△49,616,918	0
その他の活動支出計(8)		12,559,496	45,948,132	48,778,707	3,420,619	110,706,954	△49,616,918	61,090,036	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		28,944,510	△31,963,474	△45,570,250	△2,393,316	△50,982,530	0	△50,982,530	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		19,134,927	19,933,984	13,062,576	△13,507,743	38,623,744	0	38,623,744	
前期末支払資金残高(11)			136,504,332	210,121,382	176,576,828	△92,155,180	431,047,362	0	431,047,362
当期末支払資金残高(10)+(11)			155,639,259	230,055,366	189,639,404	△105,662,923	469,671,106	0	469,671,106

法人単位事業活動計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	1,609,668,022	1,637,510,923	△27,842,901
		経常経費寄附金収益	300,000	490,000	△190,000
		サービス活動収益計(1)	1,609,968,022	1,638,000,923	△28,032,901
	費用	人件費	1,039,709,645	1,035,790,957	3,918,688
		事業費	214,060,230	215,325,471	△1,265,241
		事務費	156,868,900	158,461,194	△1,592,294
		利用者負担軽減額	4,417,359	4,536,068	△118,709
		減価償却費	123,678,106	128,003,067	△4,324,961
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△34,141,851	△35,605,065	1,463,214
		徴収不能額	80,000	0	80,000
徴収不能引当金繰入		725,614	849,979	△124,365	
	サービス活動費用計(2)	1,505,398,003	1,507,361,671	△1,963,668	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	104,570,019	130,639,252	△26,069,233	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	2,174,586	2,263,194	△88,608
		受取利息配当金収益	2,200,753	1,132,372	1,068,381
		有価証券評価益	9,756,423	12,802,897	△3,046,474
		有価証券売却益	5,699,100	22,731,784	△17,032,684
		その他のサービス活動外収益	8,639,857	9,185,810	△545,953
		サービス活動外収益計(4)	28,470,719	48,116,057	△19,645,338
	費用	支払利息	12,585,465	13,979,269	△1,393,804
		有価証券評価損	10,497,020	1,169,479	9,327,541
		有価証券売却損	0	1,361,142	△1,361,142
		その他のサービス活動外費用	6,922,137	8,567,487	△1,645,350
		サービス活動外費用計(5)	30,004,622	25,077,377	4,927,245
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△1,533,903	23,038,680	△24,572,583	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	103,036,116	153,677,932	△50,641,816	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	589,381	0	589,381
		固定資産売却益	119,999	0	119,999
		その他の特別収益	849,979	1,818,537	△968,558
			特別収益計(8)	1,559,359	1,818,537
	費用	固定資産売却損・処分損	8	935,244	△935,236
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△548,475	548,475
		国庫補助金等特別積立金積立額	589,381	0	589,381
	特別費用計(9)	589,389	386,769	202,620	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	969,970	1,431,768	△461,798	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	104,006,086	155,109,700	△51,103,614	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	1,296,125,286	1,162,815,586	133,309,700
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,400,131,372	1,317,925,286	82,206,086
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	1,898,000	0	1,898,000
		その他の積立金積立額(16)	46,000,000	21,800,000	24,200,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,356,029,372	1,296,125,286	59,904,086	

社会福祉事業区分事業活動内訳表
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計	
		法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点				
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	51,804	495,946,770	656,008,218	457,661,230	1,609,668,022	0	1,609,668,022
		経常経費寄附金収益	100,000	170,000	30,000	0	300,000	0	300,000
		サービス活動収益計(1)	151,804	496,116,770	656,038,218	457,661,230	1,609,968,022	0	1,609,968,022
	費用	人件費	11,910,642	325,664,457	396,927,095	305,207,451	1,039,709,645	0	1,039,709,645
		事業費	2,469,891	67,718,437	84,011,662	59,860,240	214,060,230	0	214,060,230
		事務費	6,604,905	31,961,395	61,563,454	56,739,146	156,868,900	0	156,868,900
		利用者負担軽減額	0	1,265,328	2,691,140	460,891	4,417,359	0	4,417,359
		減価償却費	5,295,490	37,066,809	32,203,568	49,112,239	123,678,106	0	123,678,106
		国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△10,596,427	△12,753,985	△10,791,439	△34,141,851	0	△34,141,851
		徴収不能額	0	30,000	20,000	30,000	80,000	0	80,000
徴収不能引当金繰入	0	143,032	370,052	212,530	725,614	0	725,614		
	サービス活動費用計(2)	26,280,928	453,253,031	565,032,986	460,831,058	1,505,398,003	0	1,505,398,003	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△26,129,124	42,863,739	91,005,232	△3,169,828	104,570,019	0	104,570,019	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	0	0	0	2,174,586	2,174,586	0	2,174,586
		受取利息配当金収益	2,197,517	2,017	843	376	2,200,753	0	2,200,753
		有価証券評価益	9,756,423	0	0	0	9,756,423	0	9,756,423
		有価証券売却益	5,699,100	0	0	0	5,699,100	0	5,699,100
		その他のサービス活動外収益	1,278,999	3,771,318	1,523,766	2,065,774	8,639,857	0	8,639,857
		サービス活動外収益計(4)	18,932,039	3,773,335	1,524,609	4,240,736	28,470,719	0	28,470,719
	費用	支払利息	40,568	935,049	1,502,654	10,107,194	12,585,465	0	12,585,465
		有価証券評価損	10,497,020	0	0	0	10,497,020	0	10,497,020
		その他のサービス活動外費用	352,888	1,563,362	1,950,547	3,055,340	6,922,137	0	6,922,137
		サービス活動外費用計(5)	10,890,476	2,498,411	3,453,201	13,162,534	30,004,622	0	30,004,622
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,041,563	1,274,924	△1,928,592	△8,921,798	△1,533,903	0	△1,533,903	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△18,087,561	44,138,663	89,076,640	△12,091,626	103,036,116	0	103,036,116	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	589,381	0	0	589,381	0	589,381
		固定資産売却益	0	119,999	0	0	119,999	0	119,999
		拠点区分間繰入金収益	41,447,000	5,560,471	2,204,447	405,000	49,616,918	△49,616,918	0
		拠点区分間固定資産移管収益	1,263,956	3,062,791	1	105,264	4,432,012	△4,432,012	0
		その他の特別収益	0	212,516	304,383	333,080	849,979	0	849,979
		特別収益計(8)	42,710,956	9,545,158	2,508,831	843,344	55,608,289	△54,048,930	1,559,359
	費用	固定資産売却損・処分損	3	3	0	2	8	0	8
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	589,381	0	0	589,381	0	589,381
		拠点区分間繰入金費用	8,169,918	16,092,000	25,355,000	0	49,616,918	△49,616,918	0
		拠点区分間固定資産移管費用	1,835,438	290,953	2,062,897	242,724	4,432,012	△4,432,012	0
特別費用計(9)		10,005,359	16,972,337	27,417,897	242,726	54,638,319	△54,048,930	589,389	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	32,705,597	△7,427,179	△24,909,066	600,618	969,970	0	969,970	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,618,036	36,711,484	64,167,574	△11,491,008	104,006,086	0	104,006,086	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	168,757,744	338,648,854	852,482,654	△63,763,966	1,296,125,286	0	1,296,125,286	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	183,375,780	375,360,338	916,650,228	△75,254,974	1,400,131,372	0	1,400,131,372	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	1,898,000	0	0	1,898,000	0	1,898,000	
	その他の積立金積立額(16)	0	27,000,000	19,000,000	0	46,000,000	0	46,000,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	183,375,780	350,258,338	897,650,228	△75,254,974	1,356,029,372	0	1,356,029,372	

法人単位貸借対照表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	569,686,399	536,656,762	33,029,637	流動負債	261,050,024	266,120,705	△5,070,681
現金預金	217,837,977	194,109,620	23,728,357	事業未払金	27,704,334	31,611,138	△3,906,804
有価証券	91,724,098	84,013,091	7,711,007	その他の未払金	60,601,186	62,241,384	△1,640,198
事業未収金	249,298,901	248,215,419	1,083,482	1年以内返済予定設備資金借入金	105,840,000	107,640,000	△1,800,000
未収金	209,800	244,903	△35,103	1年以内返済予定リース債務	0	666,600	△666,600
未収補助金	6,233,802	4,532,492	1,701,310	預り金	73,818	73,818	0
貯蔵品	889,108	1,016,757	△127,649	職員預り金	12,291,569	12,453,039	△161,470
立替金	1,446,955	1,387,331	59,624	賞与引当金	54,539,117	51,434,726	3,104,391
前払費用	2,690,962	3,802,468	△1,111,506	固定負債	1,163,475,552	1,257,274,472	△93,798,920
1年以内回収予定長期貸付金	70,000	80,000	△10,000	設備資金借入金	1,056,554,000	1,162,394,000	△105,840,000
仮払金	10,410	104,660	△94,250	退職給付引当金	83,956,172	78,105,732	5,850,440
徴収不能引当金	△725,614	△849,979	124,365	役員退職慰労引当金	22,965,380	16,774,740	6,190,640
固定資産	3,079,980,539	3,141,426,161	△61,445,622	負債の部合計	1,424,525,576	1,523,395,177	△98,869,601
基本財産	2,624,874,660	2,721,122,174	△96,247,514	純 資 産 の 部			
土地	967,370,677	967,370,677	0	基本金	89,298,929	89,298,929	0
建物	3,139,953,264	3,139,666,164	287,100	国庫補助金等特別積立金	584,563,061	618,115,531	△33,552,470
建物減価償却累計額	△1,482,449,281	△1,385,914,667	△96,534,614	その他の積立金	195,250,000	151,148,000	44,102,000
その他の固定資産	455,105,879	420,303,987	34,801,892	運営資金積立金	195,250,000	151,148,000	44,102,000
土地	21,803,685	21,803,685	0	次期繰越活動増減差額	1,356,029,372	1,296,125,286	59,904,086
建物	93,082,294	93,082,294	0	(うち当期活動増減差額)	104,006,086	155,109,700	△51,103,614
構築物	39,482,656	39,482,656	0				
車輛運搬具	50,339,042	51,275,932	△936,890				
器具及び備品	193,940,558	189,054,119	4,886,439				
有形リース資産	0	6,641,740	△6,641,740				
建物減価償却累計額	△53,106,751	△49,697,808	△3,408,943				
構築物減価償却累計額	△33,018,251	△31,336,043	△1,682,208				
車輛運搬具減価償却累計額	△42,958,722	△41,542,122	△1,416,600				
器具及び備品減価償却累計額	△149,780,136	△138,996,506	△10,783,630				
有形リース資産減価償却累計額	0	△5,864,040	5,864,040				
権利	2	2	0				
ソフトウェア	4,506,610	7,521,801	△3,015,191				
投資有価証券	1,120,000	1,120,000	0				
長期貸付金	4,084,276	3,111,250	973,026				
退職給付引当資産	72,168,190	69,299,207	2,868,983				
保険積立資産	55,762,080	52,023,840	3,738,240				
運営資金積立資産	195,250,000	151,148,000	44,102,000				
差入保証金	210,000	200,000	10,000				
長期前払費用	2,220,346	1,975,980	244,366				
資産の部合計	3,649,666,938	3,678,082,923	△28,415,985	純資産の部合計	2,225,141,362	2,154,687,746	70,453,616
				負債及び純資産の部合計	3,649,666,938	3,678,082,923	△28,415,985

社会福祉事業区分貸借対照表内訳表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計
	法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点			
流動資産	425,906,216	235,870,238	211,098,366	123,547,236	996,422,056	△426,735,657	569,686,399
現金預金	102,489,398	391,850	60,152,100	54,804,629	217,837,977	0	217,837,977
有価証券	91,724,098	0	0	0	91,724,098	0	91,724,098
事業未収金	0	78,506,828	106,087,091	64,704,982	249,298,901	0	249,298,901
未収金	0	110,751	45,986	53,063	209,800	0	209,800
未収補助金	0	1,332,671	2,162,545	2,738,586	6,233,802	0	6,233,802
貯蔵品	0	261,069	185,307	442,732	889,108	0	889,108
立替金	0	651,095	687,994	107,866	1,446,955	0	1,446,955
前払費用	531,576	612,640	698,838	847,908	2,690,962	0	2,690,962
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	10,000	60,000	70,000	0	70,000
拠点区分間貸付金	231,150,734	154,146,366	41,438,557	0	426,735,657	△426,735,657	0
仮払金	10,410	0	0	0	10,410	0	10,410
徴収不能引当金	0	△143,032	△370,052	△212,530	△725,614	0	△725,614
固定資産	101,759,961	558,258,232	1,163,030,060	1,256,932,286	3,079,980,539	0	3,079,980,539
基本財産	0	341,417,387	1,047,612,779	1,235,844,494	2,624,874,660	0	2,624,874,660
土地	0	38,391,773	490,728,904	438,250,000	967,370,677	0	967,370,677
建物	0	925,573,780	1,150,733,284	1,063,646,200	3,139,953,264	0	3,139,953,264
建物減価償却累計額	0	△622,548,166	△593,849,409	△266,051,706	△1,482,449,281	0	△1,482,449,281
その他の固定資産	101,759,961	216,840,845	115,417,281	21,087,792	455,105,879	0	455,105,879
土地	0	21,803,685	0	0	21,803,685	0	21,803,685
建物	0	93,082,294	0	0	93,082,294	0	93,082,294
構築物	0	38,632,656	0	850,000	39,482,656	0	39,482,656
車輛運搬具	0	22,602,915	19,216,127	8,520,000	50,339,042	0	50,339,042
器具及び備品	8,805,834	75,472,291	77,449,224	32,213,209	193,940,558	0	193,940,558
建物減価償却累計額	0	△53,106,751	0	0	△53,106,751	0	△53,106,751
構築物減価償却累計額	0	△32,871,131	0	△147,120	△33,018,251	0	△33,018,251
車輛運搬具減価償却累計額	0	△17,420,326	△17,240,170	△8,298,226	△42,958,722	0	△42,958,722
器具及び備品減価償却累計額	△3,267,449	△62,937,140	△56,247,282	△27,328,265	△149,780,136	0	△149,780,136
権利	0	0	2	0	2	0	2
ソフトウェア	2,376,000	887,261	422,492	820,857	4,506,610	0	4,506,610
投資有価証券	1,090,000	30,000	0	0	1,120,000	0	1,120,000
長期貸付金	2,962,290	30,000	957,850	134,136	4,084,276	0	4,084,276
退職給付引当資産	11,619,634	20,528,742	26,505,781	13,514,033	72,168,190	0	72,168,190
保険積立資産	55,762,080	0	0	0	55,762,080	0	55,762,080
運営資金積立資産	22,000,000	109,050,000	64,200,000	0	195,250,000	0	195,250,000
差入保証金	110,000	0	100,000	0	210,000	0	210,000
長期前払費用	301,572	1,056,349	53,257	809,168	2,220,346	0	2,220,346
資産の部合計	527,666,177	794,128,470	1,374,128,426	1,380,479,522	4,076,402,595	△426,735,657	3,649,666,938
流動負債	278,969,595	30,485,347	91,675,074	286,655,665	687,785,681	△426,735,657	261,050,024
事業未払金	1,776,866	5,957,904	12,281,039	7,688,525	27,704,334	0	27,704,334
その他の未払金	60,601,186	0	0	0	60,601,186	0	60,601,186
1年以内返済予定設備資金借入金 預り金	2,508,000 73,818	10,332,000 0	50,508,000 0	42,492,000 0	105,840,000 73,818	0 0	105,840,000 73,818

社会福祉事業区分貸借対照表内訳表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業				合計	内部取引消去	事業区分合計
	法人本部拠点	一宮キャンパス拠点	宝塚キャンパス拠点	神戸キャンパス拠点			
職員預り金	12,230,164	0	50,000	11,405	12,291,569	0	12,291,569
拠点区分間借入金	195,584,923	0	9,487,975	221,662,759	426,735,657	△426,735,657	0
賞与引当金	6,194,638	14,195,443	19,348,060	14,800,976	54,539,117	0	54,539,117
固定負債	43,320,802	79,029,651	48,686,468	992,438,631	1,163,475,552	0	1,163,475,552
設備資金借入金	2,103,000	55,192,000	18,753,000	980,506,000	1,056,554,000	0	1,056,554,000
退職給付引当金	18,252,422	23,837,651	29,933,468	11,932,631	83,956,172	0	83,956,172
役員退職慰労引当金	22,965,380	0	0	0	22,965,380	0	22,965,380
負債の部合計	322,290,397	109,514,998	140,361,542	1,279,094,296	1,851,261,233	△426,735,657	1,424,525,576
基本金	0	89,298,929	0	0	89,298,929	0	89,298,929
国庫補助金等特別積立金	0	136,006,205	271,916,656	176,640,200	584,563,061	0	584,563,061
その他の積立金	22,000,000	109,050,000	64,200,000	0	195,250,000	0	195,250,000
運営資金積立金	22,000,000	109,050,000	64,200,000	0	195,250,000	0	195,250,000
次期繰越活動増減差額	183,375,780	350,258,338	897,650,228	△75,254,974	1,356,029,372	0	1,356,029,372
(うち当期活動増減差額)	14,618,036	36,711,484	64,167,574	△11,491,008	104,006,086	0	104,006,086
純資産の部合計	205,375,780	684,613,472	1,233,766,884	101,385,226	2,225,141,362	0	2,225,141,362
負債及び純資産の部合計	527,666,177	794,128,470	1,374,128,426	1,380,479,522	4,076,402,595	△426,735,657	3,649,666,938

計算書類に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

(2) 固定資産の減価償却の方法

①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

④役員退職慰労引当金

・役員退職慰労金の支給に備えるため、給与規程細則に基づく期末における支給見込額を計上している。

(4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度
- ・給与規程細則

5. 法人が作成する計算書類等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類（会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式）
- (2) 事業区分別内訳表（会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式）
当法人では、公益事業及び収益事業を実施していないため作成していない。
- (3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
- (4) 公益事業及び収益事業における拠点区分別内訳表（会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式）
当法人では、公益事業及び収益事業を実施していないため作成していない。
- (5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
- ①法人本部拠点区分（社会福祉事業）
- ・法人本部サービス区分
- ②一宮キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
- ・特別養護老人ホームまどか園サービス区分
 - ・まどか園ショートステイサービス区分
 - ・まどか園デイサービスセンターサービス区分
 - ・まどか園在宅介護支援センターサービス区分
 - ・まどか園ヘルパーステーションサービス区分
 - ・グループホームまどか園サービス区分
- ③宝塚キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
- ・特別養護老人ホーム宝塚まどか園サービス区分
 - ・宝塚まどか園ショートステイサービス区分
 - ・宝塚まどか園ヘルパーステーションサービス区分
 - ・宝塚まどか園居宅介護支援事業所サービス区分
- ④神戸キャンパス拠点区分（社会福祉事業）
- ・特別養護老人ホーム神戸まどか園サービス区分
 - ・神戸まどか園ショートステイサービス区分
 - ・神戸まどか園デイサービスセンターサービス区分
 - ・神戸まどか園ヘルパーステーションサービス区分
 - ・神戸まどか園居宅介護支援事業所サービス区分

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	967,370,677	0	0	967,370,677
建物	1,753,751,497	287,100	96,534,614	1,657,503,983
合 計	2,721,122,174	287,100	96,534,614	2,624,874,660

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	1,630,011,229
土地（基本財産）	960,985,424
合 計	2,590,996,653

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	1,117,220,000
-----------------------	---------------

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) リース取引関係

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産

車輛運搬具

社会福祉法人 正久福祉会
財 産 目 録

2022年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						217,837,977
預 金	ハリマ農業協同組合	普通預金	—	運転資金として	—	372,367,732
	西兵庫信用金庫	普通預金	—	〃	—	13,365,447
	但馬銀行	普通預金	—	〃	—	3,856,313
	ゆうちょ銀行	普通預金	—	〃	—	1,238,338
	商工組合中央金庫	普通預金	—	〃	—	260,147
	上記のうち運営資金積立資産	—	—	上記のうち運営資金積立資産	—	△ 173,250,000
	小 計					217,837,977
有価証券	三菱UFJモルガンスタンレー証券	—	—	運転資金として	—	113,724,098
	上記のうち運営資金積立資産	—	—	上記のうち運営資金積立資産	—	△ 22,000,000
	小 計					91,724,098
事業未収金	国保連、利用者、市町村等	—	—	介護報酬、利用者負担等	—	249,298,901
未収金	職員等	—	—	職員立替分等	—	209,800
未収補助金	宍粟市、神戸市、兵庫県等	—	—	減免補助金、利息補助金等	—	6,233,802
貯蔵品	紙オムツ、パット等	—	—	期末棚卸高	—	889,108
立替金	利用者立替金	—	—	利用者立替金等	—	1,446,955
前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険等	—	—	火災保険料等	—	2,690,962
1年以内回収予定 長期貸付金	職員	—	—	職員貸付金	—	70,000
仮払金	兵庫県社会福祉協議会	—	—	退職年金共済掛金	—	10,410
徴収不能引当金	徴収不能引当金	—	—	徴収不能引当額	—	△ 725,614
流 動 資 産 合 計						569,686,399
2 固定資産						

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
(1) 基本財産							
土地	(一宮キャンパス拠点)						
	宍粟市一宮町福知寺坂576番1	740.00㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している		3,700,000	
	宍粟市一宮町福知寺坂578番7	5.66㎡	—	〃		100,000	
	宍粟市一宮町福知寺坂595番3	240.00㎡	—	〃		727,273	
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1	3,401.00㎡	—	〃		16,894,000	
	宍粟市一宮町西深字川戸476番2	204.00㎡	—	〃		2,890,500	
	宍粟市一宮町福知字河原1029番	674.00㎡	—	〃		2,200,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1029番2	60.43㎡	—	〃		108,713	
	宍粟市一宮町福知字河原1030番2	296.00㎡	—	〃		1,184,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1032番	50.00㎡	—	〃		120,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1033番	44.00㎡	—	〃		150,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1036番3	612.54㎡	—	〃		1,850,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1036番4	143.00㎡	—	〃		150,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1038番	917.00㎡	—	〃		2,022,835	
	宍粟市一宮町福知字河原1038番2	102.19㎡	—	〃		184,812	
	宍粟市一宮町福知字河原1039番	234.00㎡	—	〃		360,000	
	宍粟市一宮町福知字河原1063番1	572.00㎡	—	〃		1,827,945	
	宍粟市一宮町福知字河原1064	27.00㎡	—	〃		59,535	
	宍粟市一宮町福知字河原1065番1	648.87㎡	—	〃		3,789,685	
	宍粟市一宮町福知字河原1065番3	40.49㎡	—	〃		72,475	
	(宝塚キャンパス拠点)						
	宝塚市美座2丁目186	540.00㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している			56,255,702
	宝塚市美座2丁目187	879.00㎡	—	〃			91,571,781
	宝塚市美座2丁目185	495.00㎡	—	〃			51,567,727
	宝塚市美座2丁目179	2,092.56㎡	—	〃			217,997,095
	宝塚市美座2丁目215	19.00㎡	—	〃			1,979,367

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額	
建物	宝塚市美座2丁目27番8	64.35㎡	—	〃		6,703,804	
	宝塚市美座2丁目205	13.49㎡	—	〃		1,405,351	
	宝塚市美座2丁目213	28.00㎡	—	〃		2,916,962	
	宝塚市美座2丁目178	393.12㎡	—	〃		40,954,151	
	宝塚市美座2丁目210番2	173.00㎡	—	〃		18,022,660	
	宝塚市美座2丁目210番3	13.00㎡	—	〃		1,354,304	
	(神戸キャンパス拠点)						
	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	5,674.75㎡	—	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している			438,250,000
	小 計						967,370,677
	(一宮キャンパス拠点)						
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1、1029番地2、1032番地、1036番地3、1038番地、1038番地2、同所同字寺坂576番地1所在						
	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺平屋建老人ホーム	1,499.29㎡	1987年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	347,131,666	283,697,440	63,434,226
	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建老人ホーム	1,149.89㎡	2001年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	266,028,450	160,984,451	105,043,999
	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建ボイラー室	10.50㎡	2011年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	22,248,500	13,877,672	8,370,828
	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建浴室	42.05㎡	2011年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	24,784,543	8,819,166	15,965,377
	宍粟市一宮町西深字川戸476番2所在						
	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺2階建寄宿舍	114.00㎡	1990年度	職員宿舎に使用している	21,090,000	13,482,294	7,607,706
宍粟市一宮町福知字寺坂595番3所在							
鉄筋コンクリート造ルーフィング葺4階建集会所	264.33㎡	1994年度	地域交流ホームに使用している	69,572,000	49,686,952	19,885,048	
宍粟市一宮町福知字河原1030番地1、1036番地3所在							
鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建宿直室、倉庫	54.00㎡	1999年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	371,498	214,363	157,135	
宍粟市一宮町福知字河原1065番1所在							
鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建事務所	119.85㎡	1999年度	第2種社会福祉事業である老人介護支援センター等に使用している	27,840,000	15,544,998	12,295,002	
宍粟市一宮町福知字河原1065番1、1065番地3所在							
鉄筋コンクリート造陸屋根平屋建デイサービスセンター	131.25㎡	2001年度	第2種社会福祉事業である老人デイサービスに使用している	33,688,508	19,040,332	14,648,176	

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	宍粟市一宮町福知字河原1029番地、1029番地2、1030番地1、1030番地2、1038番地2、1065番地1所在 鉄骨造スレート葺2階部分グループホーム 437.55㎡	2011年度	第2種社会福祉事業である認知症対応型老人共同生活援助事業に使用している	112,818,615	57,200,498	55,618,117
	(宝塚キャンパス拠点) 宝塚市美座二丁目179番地、185番地、186番地、187番地所在 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建老人ホーム 5,685.18㎡	2004年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	1,150,733,284	593,849,409	556,883,875
	(神戸キャンパス拠点) 神戸市長田区大丸町一丁目6番地47所在 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建老人ホーム 4,112.76㎡	2016年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	1,063,646,200	266,051,706	797,594,494
	小 計					1,657,503,983
基本財産合計						2,624,874,660
(2)その他の固定資産						
土地	(一宮キャンパス拠点) 宍粟市一宮町西深字川戸503番2 139.00㎡		職員の駐車場等に使用している			1,240,000
	宍粟市一宮町福知字河原1063番3 51.00㎡		〃			244,100
	宍粟市一宮町福知字河原1061番2 31.00㎡		〃			30,000
	宍粟市一宮町福知字河原1062番1 55.00㎡		〃			130,000
	宍粟市一宮町福知字河原1046番2 223.00㎡		〃			640,000
	宍粟市一宮町福知字河原1047番2 66.00㎡		〃			140,000
	宍粟市一宮町福知字河原1060番1 1,879.00㎡		〃			13,767,585
	宍粟市一宮町福知字神子垣内1160-3 364.65㎡		〃			3,300,000
	宍粟市一宮町西深字川戸503-1 953.00㎡		利用者用の果樹園に使用している			2,312,000
	小 計					21,803,685
建物	(一宮キャンパス拠点) 宍粟市一宮町福知字河原1029番地、1029番地2、1030番地1、1030番地2、1038番地2、1065番地1所在 鉄骨造スレート葺1階部分老人ホーム 310.25㎡	2006年度	職員寄宿舎に使用している。	92,829,294	53,090,812	39,738,482
	宍粟市一宮町福知字河原1030番1、1029番地2、1032番地、1036番地3、1038番地、1038番地2、同所同字寺坂576番地1所在					

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺平屋建老人ホーム 1,499.29㎡	1987年度	第1種社会福祉事業である特別養護老人ホーム等に使用している	253,000	15,939	237,061
	小 計					39,975,543
構築物	擁壁水路修繕、駐車場舗装工事等	—	社会福祉事業等に使用	39,482,656	33,018,251	6,464,405
車輛運搬具	トヨタハイエース他31台	—	利用者送迎用、利用者宅移動用、職員移動用等に使用	50,339,042	42,958,722	7,380,320
器具及び備品	電動ベッド、冷蔵庫、パソコン等	—	社会福祉事業等に使用	193,940,558	149,780,136	44,160,422
権利	水道分担金等	—	社会福祉事業等に使用	7,683,300	7,683,298	2
ソフトウェア	介護ソフト等	—	社会福祉事業等に使用	22,832,894	18,326,284	4,506,610
投資有価証券	ハリマ農業協同組合、西兵庫信用金庫等	—	出資金	—	—	1,120,000
長期貸付金	職員	—	職員貸付金	—	—	4,084,276
退職給付引当資産	兵庫県社会福祉協議会	—	退職年金共済掛金事業主負担分	—	—	72,168,190
保険積立資産	ソニー生命 積立利率変動型終身保険	—	将来における役員退職慰労金・債務保証のための保険積立金	—	—	55,762,080
運営資金積立資産	ハリマ農業協同組合(普通預金)、三菱UFJモルガンスタンレー証券(有価証券)等	—	将来における施設・設備の整備、大規模修繕の目的のために積み立てている資産	—	—	195,250,000
差入保証金	保証金	—	社宅保証金	—	—	210,000
長期前払費用	あいおいニッセイ同和損害保険等	—	火災保険料等	—	—	2,220,346
その他の固定資産合計						455,105,879
固定資産合計						3,079,980,539
資 産 合 計						3,649,666,938
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分業者支払等	—		—	—	27,704,334
その他の未払金	3月分給与等	—		—	—	60,601,186
1年以内返済予定 設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構他	—		—	—	105,840,000
預り金	源泉所得税他	—		—	—	73,818
職員預り金	社会保険料、源泉所得税等	—		—	—	12,291,569

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
賞与引当金	賞与支給見込額のうち当期帰属額	—		—	—	54,539,117
流動負債合計						261,050,024
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構他	—		—	—	1,056,554,000
退職給付引当金	退職年金共済掛金要支給額	—		—	—	83,956,172
役員退職慰労引当金	役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額	—		—	—	22,965,380
固定負債合計						1,163,475,552
負債合計						1,424,525,576
差引純資産						2,225,141,362

法人本部拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	52,000	51,804	196	
		その他の事業収入	52,000	51,804	196	
		補助金事業収入(公費)	52,000	51,804	196	
		経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0	
		経常経費寄附金収入	100,000	100,000	0	
		受取利息配当金収入	2,197,000	2,197,517	△517	
		受取利息配当金収入	2,197,000	2,197,517	△517	
		その他の収入	670,000	670,100	△100	
		雑収入	670,000	670,100	△100	
		流動資産評価益等による資金増加額	6,308,000	16,064,422	△9,756,422	
		有価証券売却益	5,699,000	5,699,100	△100	
		有価証券評価益	0	9,756,423	△9,756,423	
		為替差益	609,000	608,899	101	
	事業活動収入計(1)	9,327,000	19,083,843	△9,756,843		
	支出	人件費支出	1,163,000	2,553,845	△1,390,845	
		役員報酬支出	346,000	355,874	△9,874	
		役員退職慰労金支出	300,000	200,000	100,000	
		職員給料支出	417,000	877,209	△460,209	
		法定福利費支出	100,000	1,120,762	△1,020,762	
		事業費支出	2,601,000	2,469,891	131,109	
		水道光熱費支出	589,000	596,839	△7,839	
		燃料費支出	8,000	6,048	1,952	
		車輛費支出	2,004,000	1,867,004	136,996	
		事務費支出	6,509,000	6,604,905	△95,905	
		福利厚生費支出	326,000	341,894	△15,894	
		職員被服費支出	71,000	71,170	△170	
		旅費交通費支出	413,000	15,904	397,096	
研修研究費支出		216,000	60,326	155,674		
事務消耗品費支出		926,000	997,317	△71,317		
印刷製本費支出		261,000	260,958	42		
修繕費支出		208,000	215,939	△7,939		
通信運搬費支出		1,122,000	1,440,810	△318,810		
会議費支出		195,000	129,910	65,090		
広報費支出		142,000	142,000	0		
業務委託費支出		100,000	661,880	△561,880		
手数料支出		1,043,000	1,046,786	△3,786		
土地・建物賃借料支出		240,000	240,000	0		
租税公課支出		50,000	32,000	18,000		
保守料支出	636,000	517,422	118,578			
渉外費支出	75,000	45,589	29,411			
諸会費支出	485,000	385,000	100,000			
支払利息支出	39,000	40,568	△1,568			
支払利息支出	39,000	40,568	△1,568			
流動資産評価損等による資金減少額	5,000,000	10,497,020	△5,497,020			
資産評価損	5,000,000	10,497,020	△5,497,020			
有価証券評価損	5,000,000	10,497,020	△5,497,020			
事業活動支出計(2)	15,312,000	22,166,229	△6,854,229			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△5,985,000	△3,082,386	△2,902,614			
施設整備等による収支	収入	その他の施設整備等による収入	0	12,276	△12,276	
		その他の収入	0	12,276	△12,276	
		施設整備等収入計(4)	0	12,276	△12,276	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	4,308,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	4,308,000	4,308,000	0	
		固定資産取得支出	1,580,000	1,483,448	96,552	
		器具及び備品取得支出	1,580,000	1,483,448	96,552	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	667,000	666,600	400	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	667,000	666,600	400	
		その他の施設整備等による支出	287,000	281,425	5,575	
その他の支出	287,000	281,425	5,575			
施設整備等支出計(5)	6,842,000	6,739,473	102,527			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△6,842,000	△6,727,197	△114,803			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	57,000	57,006	△6	
		退職給付引当資産取崩収入	57,000	57,006	△6	
		拠点区分間繰入金収入	33,397,000	41,447,000	△8,050,000	
		拠点区分間繰入金収入	33,397,000	41,447,000	△8,050,000	
	その他の活動収入計(7)	33,454,000	41,504,006	△8,050,006		
	支出	長期貸付金支出	3,800,000	639,990	3,160,010	
		長期貸付金支出	3,800,000	639,990	3,160,010	
		積立資産支出	3,739,000	3,749,588	△10,588	
		退職給付引当資産支出	0	11,348	△11,348	
		保険積立資産支出	3,739,000	3,738,240	760	
拠点区分間繰入金支出		878,000	8,169,918	△7,291,918		
拠点区分間繰入金支出	878,000	8,169,918	△7,291,918			

法人本部拠点区分資金収支計算書
 (自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
△	その他の活動支出計(8)	8,417,000	12,559,496	△4,142,496	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	25,037,000	28,944,510	△3,907,510	
	予備費支出(10)	5,000,000	—	0	
		△5,000,000			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	12,210,000	19,134,927	△6,924,927	
	前期末支払資金残高(12)	136,504,000	136,504,332	△332	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	148,714,000	155,639,259	△6,925,259	

予備費支出△5,000,000円は、有価証券評価損に5,000,000円充当使用した額である。

法人本部拠点区分事業活動計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)		
収益	介護保険事業収益	51,804	427,500	△375,696		
	その他の事業収益	51,804	427,500	△375,696		
	補助金事業収益(公費)	51,804	427,500	△375,696		
	経常経費寄附金収益	100,000	100,000	0		
	経常経費寄附金収益	100,000	100,000	0		
	サービス活動収益計(1)	151,804	527,500	△375,696		
サービス活動増減の部	費用	人件費	11,910,642	10,644,808	1,265,834	
		役員報酬	355,874	268,196	87,678	
		役員退職慰労金	200,000	0	200,000	
		役員退職慰労引当金繰入	6,190,640	3,450,640	2,740,000	
		職員給料	877,209	0	877,209	
		職員賞与	△4,106,463	0	△4,106,463	
		賞与引当金繰入	5,359,378	4,106,463	1,252,915	
		退職給付費用	1,714,258	2,183,233	△468,975	
		法定福利費	1,319,746	636,276	683,470	
		事業費	2,469,891	3,541,420	△1,071,529	
		保健衛生費	0	1,000	△1,000	
		水道光熱費	596,839	729,839	△133,000	
		燃料費	6,048	8,640	△2,592	
		保険料	0	216,812	△216,812	
		車両費	1,867,004	2,585,129	△718,125	
		事務費	6,604,905	6,016,300	588,605	
		福利厚生費	341,894	124,938	216,956	
		職員被服費	71,170	39,490	31,680	
		旅費交通費	15,904	800	15,104	
		研修研究費	60,326	46,486	13,840	
		事務消耗品費	997,317	2,057,122	△1,059,805	
		印刷製本費	260,958	226,377	34,581	
		修繕費	215,939	267,035	△51,096	
		通信運搬費	1,440,810	1,056,594	384,216	
		会議費	129,910	202,255	△72,345	
		広報費	142,000	135,000	7,000	
		業務委託費	661,880	△10,000	671,880	
		手数料	1,046,786	597,865	448,921	
		土地・建物賃借料	240,000	200,000	40,000	
		租税公課	32,000	30,850	1,150	
		保守料	517,422	586,551	△69,129	
		渉外費	45,589	63,937	△18,348	
		諸会費	385,000	391,000	△6,000	
減価償却費	5,295,490	5,517,580	△222,090			
減価償却費	5,295,490	5,517,580	△222,090			
	サービス活動費用計(2)	26,280,928	25,720,108	560,820		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△26,129,124	△25,192,608	△936,516		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,197,517	1,129,249	1,068,268	
		受取利息配当金収益	2,197,517	1,129,249	1,068,268	
		有価証券評価益	9,756,423	12,802,897	△3,046,474	
		有価証券評価益	9,756,423	12,802,897	△3,046,474	
		有価証券売却益	5,699,100	22,731,784	△17,032,684	
		有価証券売却益	5,699,100	22,731,784	△17,032,684	
		その他のサービス活動外収益	1,278,999	3,972,886	△2,693,887	
		為替差益	608,899	2,488,090	△1,879,191	
		雑収益	670,100	1,484,796	△814,696	
			サービス活動外収益計(4)	18,932,039	40,636,816	△21,704,777
		費用	支払利息	40,568	60,787	△20,219
			支払利息	40,568	60,787	△20,219
			有価証券評価損	10,497,020	1,169,479	9,327,541
			有価証券評価損	10,497,020	1,169,479	9,327,541
有価証券売却損	0		1,361,142	△1,361,142		
有価証券売却損	0		1,361,142	△1,361,142		
その他のサービス活動外費用	352,888		255,776	97,112		
為替差損	0		163,284	△163,284		
雑損失	352,888	92,492	260,396			
	サービス活動外費用計(5)	10,890,476	2,847,184	8,043,292		
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,041,563	37,789,632	△29,748,069		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△18,087,561	12,597,024	△30,684,585		
収益	拠点区分間繰入金収益	41,447,000	37,526,960	3,920,040		
	拠点区分間繰入金収益	41,447,000	37,526,960	3,920,040		
	拠点区分間固定資産移管収益	1,263,956	1,646,759	△382,803		

法人本部拠点区分事業活動計算書
 (自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)		
特別増減の部	Ⅲ					
		拠点区分間固定資産移管収益	1,263,956	1,646,759	△382,803	
		特別収益計(8)	42,710,956	39,173,719	3,537,237	
	費用		固定資産売却損・処分損	3	1	2
			器具及び備品売却損・処分損	3	1	2
			拠点区分間繰入金費用	8,169,918	42,958,114	△34,788,196
			拠点区分間繰入金費用	8,169,918	42,958,114	△34,788,196
			拠点区分間固定資産移管費用	1,835,438	423,924	1,411,514
			拠点区分間固定資産移管費用	1,835,438	423,924	1,411,514
			特別費用計(9)	10,005,359	43,382,039	△33,376,680
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	32,705,597	△4,208,320	36,913,917	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,618,036	8,388,704	6,229,332		
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	168,757,744	160,369,040	8,388,704	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	183,375,780	168,757,744	14,618,036	
		基本金取崩額(14)	0	0	0	
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	183,375,780	168,757,744	14,618,036	

法人本部拠点区分貸借対照表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	425,906,216	338,620,421	87,285,795	流動負債	278,969,595	211,833,428	67,136,167
現金預金	102,489,398	31,880,494	70,608,904	事業未払金	1,776,866	2,647,802	△870,936
有価証券	91,724,098	84,013,091	7,711,007	その他の未払金	60,601,186	62,241,384	△1,640,198
前払費用	531,576	1,168,776	△637,200	1年以内返済予定設備資金借入金	2,508,000	4,308,000	△1,800,000
拠点区分間貸付金	231,150,734	221,555,860	9,594,874	1年以内返済予定リース債務	0	666,600	△666,600
仮払金	10,410	2,200	8,210	預り金	73,818	73,818	0
固定資産	101,759,961	98,139,682	3,620,279	職員預り金	12,230,164	12,403,039	△172,875
その他の固定資産	101,759,961	98,139,682	3,620,279	拠点区分間借入金	195,584,923	124,750,046	70,834,877
器具及び備品	8,805,834	8,144,360	661,474	賞与引当金	6,194,638	4,742,739	1,451,899
有形リース資産	0	6,641,740	△6,641,740	固定負債	43,320,802	34,168,931	9,151,871
器具及び備品減価償却累計額	△3,267,449	△2,946,950	△320,499	設備資金借入金	2,103,000	4,611,000	△2,508,000
有形リース資産減価償却累計額	0	△5,864,040	5,864,040	退職給付引当金	18,252,422	12,783,191	5,469,231
ソフトウェア	2,376,000	5,940,000	△3,564,000	役員退職慰労引当金	22,965,380	16,774,740	6,190,640
投資有価証券	1,090,000	1,090,000	0	負債の部合計	322,290,397	246,002,359	76,288,038
長期貸付金	2,962,290	2,322,300	639,990	純 資 産 の 部			
退職給付引当資産	11,619,634	8,646,009	2,973,625	その他の積立金	22,000,000	22,000,000	0
保険積立資産	55,762,080	52,023,840	3,738,240	運営資金積立金	22,000,000	22,000,000	0
運営資金積立資産	22,000,000	22,000,000	0	次期繰越活動増減差額	183,375,780	168,757,744	14,618,036
差入保証金	110,000	100,000	10,000	(うち当期活動増減差額)	14,618,036	8,388,704	6,229,332
長期前払費用	301,572	42,423	259,149	純資産の部合計	205,375,780	190,757,744	14,618,036
資産の部合計	527,666,177	436,760,103	90,906,074	負債及び純資産の部合計	527,666,177	436,760,103	90,906,074

計算書類に対する注記（法人本部拠点区分）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

(2) 固定資産の減価償却の方法

①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

④役員退職慰労引当金

・役員退職慰労金の支給に備えるため、給与規程細則に基づく期末における支給見込額を計上している。

(4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度
- ・給与規程細則

4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

(1) 法人本部拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑩））

サービス区分が1つのため作成を省略している。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

(1) リース取引関係

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産

車輛運搬具

一宮キャンパス拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	502,238,000	495,946,770	6,291,230	
	施設介護料収入	239,341,000	239,312,765	28,235	
	介護報酬収入	215,320,000	215,321,913	△1,913	
	利用者負担金収入(公費)	168,000	161,535	6,465	
	利用者負担金収入(一般)	23,853,000	23,829,317	23,683	
	居宅介護料収入	78,749,000	75,910,473	2,838,527	
	(介護報酬収入)	69,712,000	67,104,344	2,607,656	
	介護報酬収入	69,275,000	66,676,664	2,598,336	
	介護予防報酬収入	437,000	427,680	9,320	
	(利用者負担金収入)	9,037,000	8,806,129	230,871	
	介護負担金収入(公費)	118,000	130,551	△12,551	
	介護負担金収入(一般)	8,869,000	8,628,058	240,942	
	介護予防負担金収入(一般)	50,000	47,520	2,480	
	地域密着型介護料収入	64,981,000	65,039,770	△58,770	
	(介護報酬収入)	58,484,000	58,535,793	△51,793	
	介護報酬収入	58,484,000	58,535,793	△51,793	
	(利用者負担金収入)	6,497,000	6,503,977	△6,977	
	介護負担金収入(一般)	6,497,000	6,503,977	△6,977	
	居宅介護支援介護料収入	17,121,000	16,941,510	179,490	
	居宅介護支援介護料収入	16,362,000	16,165,470	196,530	
	介護予防支援介護料収入	759,000	776,040	△17,040	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	2,064,000	2,069,737	△5,737	
	事業費収入	1,832,000	1,834,259	△2,259	
	事業負担金収入(公費)	12,000	17,453	△5,453	
	事業負担金収入(一般)	220,000	218,025	1,975	
	利用者等利用料収入	95,937,000	94,470,955	1,466,045	
	地域密着型介護サービス利用料収入	21,623,000	21,635,924	△12,924	
	食費収入(公費)	53,000	52,605	395	
	食費収入(一般)	33,118,000	31,852,565	1,265,435	
	食費収入(特定)	12,752,000	12,709,550	42,450	
	居住費収入(公費)	1,000	1,455	△455	
	居住費収入(一般)	18,983,000	18,622,167	360,833	
	居住費収入(特定)	9,368,000	9,533,689	△165,689	
	その他の利用料収入	39,000	63,000	△24,000	
	その他の事業収入	4,045,000	2,201,560	1,843,440	
	補助金事業収入(公費)	2,425,000	1,015,100	1,409,900	
	受託事業収入(公費)	1,024,000	1,064,714	△40,714	
	受託事業収入(一般)	596,000	121,746	474,254	
	経常経費寄附金収入	140,000	170,000	△30,000	
	経常経費寄附金収入	140,000	170,000	△30,000	
	受取利息配当金収入	4,000	2,017	1,983	
	受取利息配当金収入	4,000	2,017	1,983	
	その他の収入	1,253,000	1,396,400	△143,400	
	受入研修費収入	0	10,010	△10,010	
	利用者等外給食費収入	725,000	681,400	43,600	
雑収入	528,000	704,990	△176,990		
事業活動収入計(1)	503,635,000	497,515,187	6,119,813		
事業活動による収支	人件費支出	336,064,000	328,379,091	7,684,909	
	職員給料支出	143,059,000	141,827,834	1,231,166	
	職員賞与支出	22,864,000	22,519,813	344,187	
	非常勤職員給与支出	116,646,000	113,706,606	2,939,394	
	退職給付支出	14,177,000	11,179,810	2,997,190	
	法定福利費支出	39,318,000	39,145,028	172,972	
	事業費支出	68,030,000	67,718,437	311,563	
	給食費支出	27,773,000	27,670,603	102,397	
	介護用品費支出	10,358,000	10,230,189	127,811	
	医薬品費支出	44,000	23,784	20,216	
	診療・療養等材料費支出	142,000	161,819	△19,819	
	保健衛生費支出	1,250,000	1,097,771	152,229	
	医療費支出	20,000	0	20,000	
	被服費支出	73,000	51,000	22,000	
	教養娯楽費支出	1,000,000	874,070	125,930	
	日用品費支出	484,000	599,181	△115,181	
	水道光熱費支出	17,164,000	19,182,044	△2,018,044	
	燃料費支出	203,000	396,581	△193,581	
	消耗器具備品費支出	2,954,000	2,317,845	636,155	
	保険料支出	3,309,000	2,179,366	1,129,634	
	賃借料支出	1,128,000	1,115,442	12,558	
	車輛費支出	2,128,000	1,705,742	422,258	
	雑支出	0	113,000	△113,000	
	事務費支出	38,976,000	31,961,395	7,014,605	
	福利厚生費支出	2,248,000	2,195,504	52,496	
	職員被服費支出	211,000	241,508	△30,508	
	支出				

一宮キャンパス拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
	旅費交通費支出	202,000	2,000	200,000		
	研修研究費支出	325,000	275,780	49,220		
	事務消耗品費支出	2,924,000	2,842,646	81,354		
	印刷製本費支出	340,000	245,649	94,351		
	修繕費支出	6,761,000	5,289,527	1,471,473		
	通信運搬費支出	1,638,000	1,594,188	43,812		
	会議費支出	74,000	24,300	49,700		
	広報費支出	438,000	251,708	186,292		
	業務委託費支出	14,042,000	12,433,230	1,608,770		
	手数料支出	3,399,000	1,146,200	2,252,800		
	土地・建物賃借料支出	151,000	36,000	115,000		
	租税公課支出	221,000	191,750	29,250		
	保守料支出	5,275,000	4,601,418	673,582		
	渉外費支出	250,000	186,235	63,765		
	諸会費支出	435,000	377,700	57,300		
	雑支出	42,000	26,052	15,948		
	利用者負担軽減額	1,300,000	1,265,328	34,672		
	利用者負担軽減額	1,300,000	1,265,328	34,672		
	支払利息支出	957,000	935,049	21,951		
	支払利息支出	957,000	935,049	21,951		
その他の支出	1,601,000	1,556,414	44,586			
利用者等外給食費支出	1,601,000	1,556,414	44,586			
事業活動支出計(2)	446,928,000	431,815,714	15,112,286			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	56,707,000	65,699,473	△8,992,473			
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	589,381	△589,381	
		施設整備等補助金収入	0	589,381	△589,381	
		固定資産売却収入	120,000	120,000	0	
		車輛運搬具売却収入	120,000	120,000	0	
		その他の施設整備等による収入	0	103,056	△103,056	
		その他の収入	0	103,056	△103,056	
	施設整備等収入計(4)	120,000	812,437	△692,437		
	支出	設備資金借入金元金償還支出	10,332,000	10,332,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	10,332,000	10,332,000	0	
		固定資産取得支出	3,809,000	3,809,700	△700	
建物取得支出		288,000	287,100	900		
車輛運搬具取得支出		1,097,000	1,100,000	△3,000		
器具及び備品取得支出		1,637,000	1,636,100	900		
その他の資産取得支出		787,000	786,500	500		
その他の施設整備等による支出	473,000	472,752	248			
その他の支出	473,000	472,752	248			
施設整備等支出計(5)	14,614,000	14,614,452	△452			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△14,494,000	△13,802,015	△691,985			
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	11,395,000	8,424,187	2,970,813	
		退職給付引当資産取崩収入	9,497,000	6,526,187	2,970,813	
		運営資金積立資産取崩収入	1,898,000	1,898,000	0	
		拠点区分間繰入金収入	0	5,560,471	△5,560,471	
		拠点区分間繰入金収入	0	5,560,471	△5,560,471	
	その他の活動収入計(7)	11,395,000	13,984,658	△2,589,658		
	支出	積立資産支出	34,849,000	29,856,132	4,992,868	
		退職給付引当資産支出	2,849,000	2,856,132	△7,132	
		運営資金積立資産支出	32,000,000	27,000,000	5,000,000	
		拠点区分間繰入金支出	16,092,000	16,092,000	0	
拠点区分間繰入金支出		16,092,000	16,092,000	0		
その他の活動支出計(8)	50,941,000	45,948,132	4,992,868			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△39,546,000	△31,963,474	△7,582,526			
予備費支出(10)	4,940,000	—	178,000			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,489,000	19,933,984	△17,444,984			
前期末支払資金残高(12)	210,122,000	210,121,382	618			
当期末支払資金残高(11)+(12)	212,611,000	230,055,366	△17,444,366			

予備費支出△4,762,000円は、修繕費支出に1,282,000円、業務委託費支出に338,000円、車輛運搬具取得支出に97,000円、その他の支出に473,000円、拠点区分間繰入金支出に2,572,000円に充当使用した額である。

一宮キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	495,946,770	509,394,005	△13,447,235
	施設介護料収益	239,312,765	235,135,656	4,177,109
	介護報酬収益	215,321,913	211,301,865	4,020,048
	利用者負担金収益(公費)	161,535	278,755	△117,220
	利用者負担金収益(一般)	23,829,317	23,555,036	274,281
	居宅介護料収益	75,910,473	79,278,490	△3,368,017
	(介護報酬収益)	67,104,344	70,100,038	△2,995,694
	介護報酬収益	66,676,664	69,337,522	△2,660,858
	介護予防報酬収益	427,680	762,516	△334,836
	(利用者負担金収益)	8,806,129	9,178,452	△372,323
	介護負担金収益(公費)	130,551	115,983	14,568
	介護負担金収益(一般)	8,628,058	8,977,745	△349,687
	介護予防負担金収益(一般)	47,520	84,724	△37,204
	地域密着型介護料収益	65,039,770	71,323,420	△6,283,650
	(介護報酬収益)	58,535,793	64,099,430	△5,563,637
	介護報酬収益	58,535,793	64,099,430	△5,563,637
	(利用者負担金収益)	6,503,977	7,223,990	△720,013
	介護負担金収益(一般)	6,503,977	7,223,990	△720,013
	居宅介護支援介護料収益	16,941,510	16,810,470	131,040
	居宅介護支援介護料収益	16,165,470	15,976,650	188,820
	介護予防支援介護料収益	776,040	833,820	△57,780
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	2,069,737	3,380,060	△1,310,323
	事業費収益	1,834,259	3,031,333	△1,197,074
	事業負担金収益(公費)	17,453	7,751	9,702
	事業負担金収益(一般)	218,025	340,976	△122,951
	利用者等利用料収益	94,470,955	94,832,222	△361,267
	地域密着型介護サービス利用料収益	21,635,924	21,374,507	261,417
	食費収益(公費)	52,605	129,934	△77,329
	食費収益(一般)	31,852,565	28,817,931	3,034,634
	食費収益(特定)	12,709,550	15,820,892	△3,111,342
	居住費収益(公費)	1,455	0	1,455
	居住費収益(一般)	18,622,167	19,071,843	△449,676
	居住費収益(特定)	9,533,689	9,617,115	△83,426
その他の利用料収益	63,000	0	63,000	
その他の事業収益	2,201,560	8,633,687	△6,432,127	
補助金事業収益(公費)	1,015,100	7,491,587	△6,476,487	
補助金事業収益(一般)	0	82,500	△82,500	
受託事業収益(公費)	1,064,714	949,530	115,184	
受託事業収益(一般)	121,746	110,070	11,676	
経常経費寄附金収益	170,000	288,000	△118,000	
経常経費寄附金収益	170,000	288,000	△118,000	
サービス活動収益計(1)	496,116,770	509,682,005	△13,565,235	
サービス活動増減の部	人件費	325,664,457	335,486,724	△9,822,267
	職員給料	141,827,834	150,929,504	△9,101,670
	職員賞与	9,745,343	8,066,321	1,679,022
	賞与引当金繰入	12,246,552	12,774,470	△527,918
	非常勤職員給与	113,706,606	114,285,261	△578,655
	退職給付費用	9,090,940	8,916,058	174,882
	法定福利費	39,047,182	40,515,110	△1,467,928
	事業費	67,718,437	67,815,385	△96,948
	給食費	27,670,603	28,093,755	△423,152
	介護用品費	10,230,189	9,674,615	555,574
	医薬品費	23,784	82,529	△58,745
	診療・療養等材料費	161,819	254,611	△92,792
	保健衛生費	1,097,771	2,101,040	△1,003,269
	医療費	0	3,540	△3,540
	被服費	51,000	△6,000	57,000
	教養娯楽費	874,070	893,319	△19,249
	日用品費	599,181	2,125,378	△1,526,197
	水道光熱費	19,182,044	16,903,657	2,278,387
	燃料費	396,581	1,042,150	△645,569
	消耗器具備品費	2,317,845	1,051,483	1,266,362
	保険料	2,179,366	2,391,520	△212,154
	賃借料	1,115,442	1,146,553	△31,111
	車輛費	1,705,742	2,050,175	△344,433
地域貢献活動費	0	2,000	△2,000	
雑費	113,000	5,060	107,940	
事務費	31,961,395	25,328,589	6,632,806	

一宮キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
費用	福利厚生費	2,195,504	2,138,793	56,711	
	職員被服費	241,508	291,678	△50,170	
	旅費交通費	2,000	2,680	△680	
	研修研究費	275,780	449,260	△173,480	
	事務消耗品費	2,842,646	1,289,054	1,553,592	
	印刷製本費	245,649	288,561	△42,912	
	修繕費	5,289,527	4,534,307	755,220	
	通信運搬費	1,594,188	1,616,911	△22,723	
	会議費	24,300	0	24,300	
	広報費	251,708	38,960	212,748	
	業務委託費	12,433,230	8,998,848	3,434,382	
	手数料	1,146,200	482,700	663,500	
	土地・建物賃借料	36,000	112,500	△76,500	
	租税公課	191,750	281,850	△90,100	
	保守料	4,601,418	4,133,162	468,256	
	渉外費	186,235	183,025	3,210	
	諸会費	377,700	460,700	△83,000	
	雑費	26,052	25,600	452	
	利用者負担軽減額	1,265,328	1,229,467	35,861	
	利用者負担軽減額	1,265,328	1,229,467	35,861	
	減価償却費	37,066,809	41,016,248	△3,949,439	
	減価償却費	37,066,809	41,016,248	△3,949,439	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,596,427	△11,530,746	934,319	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,596,427	△11,530,746	934,319	
	徴収不能額	30,000	0	30,000	
	徴収不能額	30,000	0	30,000	
	徴収不能引当金繰入	143,032	212,516	△69,484	
徴収不能引当金繰入	143,032	212,516	△69,484		
サービス活動費用計(2)	453,253,031	459,558,183	△6,305,152		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	42,863,739	50,123,822	△7,260,083		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,017	1,979	38
		受取利息配当金収益	2,017	1,979	38
		その他のサービス活動外収益	3,771,318	1,943,836	1,827,482
		受入研修費収益	10,010	15,000	△4,990
		利用者等外給食収益	681,400	1,044,150	△362,750
		雑収益	3,079,908	884,686	2,195,222
		サービス活動外収益計(4)	3,773,335	1,945,815	1,827,520
	費用	支払利息	935,049	1,066,033	△130,984
		支払利息	935,049	1,066,033	△130,984
		その他のサービス活動外費用	1,563,362	2,592,091	△1,028,729
		利用者等外給食費	1,556,414	1,855,773	△299,359
		雑損失	6,948	736,318	△729,370
		サービス活動外費用計(5)	2,498,411	3,658,124	△1,159,713
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,274,924	△1,712,309	2,987,233
経常増減差額(7)=(3)+(6)	44,138,663	48,411,513	△4,272,850		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	589,381	0	589,381
		施設整備等補助金収益	589,381	0	589,381
		固定資産売却益	119,999	0	119,999
		車輛運搬具売却益	119,999	0	119,999
		拠点区分間繰入金収益	5,560,471	27,083,170	△21,522,699
		拠点区分間繰入金収益	5,560,471	27,083,170	△21,522,699
		拠点区分間固定資産移管収益	3,062,791	426,906	2,635,885
		拠点区分間固定資産移管収益	3,062,791	426,906	2,635,885
		その他の特別収益	212,516	345,913	△133,397
		徴収不能引当金戻入益	212,516	345,913	△133,397
	特別収益計(8)	9,545,158	27,855,989	△18,310,831	
	費用	固定資産売却損・処分損	3	4	△1
		車輛運搬具売却損・処分損	1	0	1
		器具及び備品売却損・処分損	2	4	△2
		国庫補助金等特別積立金積立額	589,381	0	589,381
		国庫補助金等特別積立金積立額	589,381	0	589,381
		拠点区分間繰入金費用	16,092,000	16,591,296	△499,296
		拠点区分間繰入金費用	16,092,000	16,591,296	△499,296
		拠点区分間固定資産移管費用	290,953	1,766,091	△1,475,138
拠点区分間固定資産移管費用		290,953	1,766,091	△1,475,138	
特別費用計(9)	16,972,337	18,357,391	△1,385,054		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△7,427,179	9,498,598	△16,925,777		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	36,711,484	57,910,111	△21,198,627		

一宮キャンパス拠点区分事業活動計算書
 (自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	338,648,854	296,538,743	42,110,111
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	375,360,338	354,448,854	20,911,484
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	1,898,000	0	1,898,000
	運営資金積立金取崩額	1,898,000	0	1,898,000
	その他の積立金積立額(16)	27,000,000	15,800,000	11,200,000
	運営資金積立金積立額	27,000,000	15,800,000	11,200,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	350,258,338	338,648,854	11,609,484

一宮キャンパス拠点区分貸借対照表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	235,870,238	217,786,981	18,083,257	流動負債	30,485,347	33,001,322	△2,515,975
現金預金	391,850	31,179,849	△30,787,999	事業未払金	5,957,904	7,848,115	△1,890,211
事業未収金	78,506,828	79,671,378	△1,164,550	1年以内返済予定設備資金借入金	10,332,000	10,332,000	0
未収金	110,751	180,141	△69,390	賞与引当金	14,195,443	14,821,207	△625,764
未収補助金	1,332,671	358,593	974,078	固定負債	79,029,651	98,175,408	△19,145,757
貯蔵品	261,069	317,970	△56,901	設備資金借入金	55,192,000	65,524,000	△10,332,000
立替金	651,095	618,494	32,601	退職給付引当金	23,837,651	32,651,408	△8,813,757
前払費用	612,640	631,056	△18,416	負債の部合計	109,514,998	131,176,730	△21,661,732
1年以内回収予定長期貸付金	0	30,000	△30,000	純 資 産 の 部			
拠点区分間貸付金	154,146,366	104,909,556	49,236,810	基本金	89,298,929	89,298,929	0
仮払金	0	102,460	△102,460	国庫補助金等特別積立金	136,006,205	146,013,251	△10,007,046
徴収不能引当金	△143,032	△212,516	69,484	その他の積立金	109,050,000	83,948,000	25,102,000
固定資産	558,258,232	571,298,783	△13,040,551	運営資金積立金	109,050,000	83,948,000	25,102,000
基本財産	341,417,387	367,650,950	△26,233,563	次期繰越活動増減差額	350,258,338	338,648,854	11,609,484
土地	38,391,773	38,391,773	0	(うち当期活動増減差額)	36,711,484	57,910,111	△21,198,627
建物	925,573,780	925,286,680	287,100				
建物減価償却累計額	△622,548,166	△596,027,503	△26,520,663				
その他の固定資産	216,840,845	203,647,833	13,193,012				
土地	21,803,685	21,803,685	0				
建物	93,082,294	93,082,294	0				
構築物	38,632,656	38,632,656	0				
車輛運搬具	22,602,915	26,634,032	△4,031,117				
器具及び備品	75,472,291	74,309,136	1,163,155				
建物減価償却累計額	△53,106,751	△49,697,808	△3,408,943				
構築物減価償却累計額	△32,871,131	△31,245,873	△1,625,258				
車輛運搬具減価償却累計額	△17,420,326	△21,198,297	3,777,971				
器具及び備品減価償却累計額	△62,937,140	△59,581,657	△3,355,483				
ソフトウェア	887,261	347,720	539,541				
投資有価証券	30,000	30,000	0				
長期貸付金	30,000	30,000	0				
退職給付引当資産	20,528,742	25,867,292	△5,338,550				
運営資金積立資産	109,050,000	83,948,000	25,102,000				
長期前払費用	1,056,349	686,653	369,696				
資産の部合計	794,128,470	789,085,764	5,042,706	純資産の部合計	684,613,472	657,909,034	26,704,438
				負債及び純資産の部合計	794,128,470	789,085,764	5,042,706

計算書類に対する注記（一宮キャンパス拠点区分）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

(2) 固定資産の減価償却の方法

①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

(4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 一宮キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（⑩））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	38,391,773	0	0	38,391,773

建物	329,259,177	287,100	26,520,663	303,025,614
合計	367,650,950	287,100	26,520,663	341,417,387

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	275,532,860
土地（基本財産）	32,006,520
合計	307,539,380

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	28,997,000
-----------------------	------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

宝塚キャンパス拠点区分資金収支計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	652,941,000	656,008,218	△3,067,218	
	施設介護料収入	404,440,000	404,883,071	△443,071	
	介護報酬収入	359,750,000	360,249,644	△499,644	
	利用者負担金収入(公費)	1,973,000	1,883,325	89,675	
	利用者負担金収入(一般)	42,717,000	42,750,102	△33,102	
	居宅介護料収入	66,549,000	67,100,898	△551,898	
	(介護報酬収入)	59,339,000	59,900,932	△561,932	
	介護報酬収入	59,196,000	59,818,660	△622,660	
	介護予防報酬収入	143,000	82,272	60,728	
	(利用者負担金収入)	7,210,000	7,199,966	10,034	
	介護負担金収入(公費)	281,000	402,984	△121,984	
	介護負担金収入(一般)	6,913,000	6,787,839	125,161	
	介護予防負担金収入(一般)	16,000	9,143	6,857	
	居宅介護支援介護料収入	22,895,000	22,921,771	△26,771	
	居宅介護支援介護料収入	20,343,000	20,335,145	7,855	
	介護予防支援介護料収入	2,552,000	2,586,626	△34,626	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	1,241,000	1,227,526	13,474	
	事業費収入	1,056,000	1,073,315	△17,315	
	事業負担金収入(公費)	72,000	37,398	34,602	
	事業負担金収入(一般)	113,000	116,813	△3,813	
	利用者等利用料収入	155,271,000	156,448,492	△1,177,492	
	施設サービス利用料収入	691,000	757,750	△66,750	
	居宅介護サービス利用料収入	1,518,000	1,575,103	△57,103	
	食費収入(公費)	464,000	434,195	29,805	
	食費収入(一般)	39,695,000	43,152,876	△3,457,876	
	食費収入(特定)	17,617,000	14,701,471	2,915,529	
	居住費収入(一般)	73,255,000	74,473,918	△1,218,918	
	居住費収入(特定)	21,570,000	20,888,554	681,446	
	その他の利用料収入	461,000	464,625	△3,625	
	その他の事業収入	2,545,000	3,426,460	△881,460	
	補助金事業収入(公費)	2,118,000	2,981,510	△863,510	
	受託事業収入(公費)	427,000	444,950	△17,950	
	経常経費寄附金収入	0	30,000	△30,000	
経常経費寄附金収入	0	30,000	△30,000		
受取利息配当金収入	413,000	843	412,157		
受取利息配当金収入	413,000	843	412,157		
その他の収入	1,355,000	1,382,638	△27,638		
受入研修費収入	213,000	257,000	△44,000		
利用者等外給食費収入	436,000	381,150	54,850		
雑収入	706,000	744,488	△38,488		
事業活動収入計(1)	654,709,000	657,421,699	△2,712,699		
事業活動による収支	人件費支出	395,575,000	393,242,442	2,332,558	
	職員給料支出	216,092,000	212,509,514	3,582,486	
	職員賞与支出	29,750,000	29,510,806	239,194	
	非常勤職員給与支出	91,110,000	92,669,163	△1,559,163	
	派遣職員費支出	4,027,000	4,080,252	△53,252	
	退職給付支出	9,017,000	8,944,971	72,029	
	法定福利費支出	45,579,000	45,527,736	51,264	
	事業費支出	85,388,000	84,011,662	1,376,338	
	給食費支出	35,628,000	35,582,049	45,951	
	介護用品費支出	15,943,000	15,505,088	437,912	
	医薬品費支出	190,000	88,500	101,500	
	診療・療養等材料費支出	591,000	290,717	300,283	
	保健衛生費支出	2,027,000	1,989,834	37,166	
	医療費支出	200,000	176,768	23,232	
	教養娯楽費支出	689,000	582,845	106,155	
	日用品費支出	1,465,000	1,451,305	13,695	
	水道光熱費支出	21,378,000	22,198,026	△820,026	
	消耗器具備品費支出	4,520,000	3,552,587	967,413	
	保険料支出	1,683,000	1,710,714	△27,714	
	賃借料支出	135,000	135,709	△709	
	車輛費支出	815,000	606,783	208,217	
雑支出	124,000	140,737	△16,737		
事務費支出	65,748,000	61,563,454	4,184,546		
福利厚生費支出	2,527,000	2,513,467	13,533		
職員被服費支出	295,000	290,687	4,313		
旅費交通費支出	25,000	5,350	19,650		
研修研究費支出	1,038,000	516,890	521,110		
事務消耗品費支出	1,565,000	1,143,356	421,644		
印刷製本費支出	489,000	268,373	220,627		
修繕費支出	4,979,000	3,180,485	1,798,515		
通信運搬費支出	1,859,000	1,793,832	65,168		
会議費支出	5,000	0	5,000		
支出					

宝塚キャンパス拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	広報費支出	428,000	338,000	90,000	
	業務委託費支出	42,259,000	42,218,908	40,092	
	手数料支出	3,884,000	2,784,572	1,099,428	
	土地・建物賃借料支出	2,488,000	2,490,000	△2,000	
	租税公課支出	148,000	160,370	△12,370	
	保守料支出	3,195,000	3,348,481	△153,481	
	渉外費支出	270,000	246,683	23,317	
	諸会費支出	284,000	264,000	20,000	
	雑支出	10,000	0	10,000	
	利用者負担軽減額	2,750,000	2,691,140	58,860	
	利用者負担軽減額	2,750,000	2,691,140	58,860	
	支払利息支出	1,502,000	1,502,654	△654	
	支払利息支出	1,502,000	1,502,654	△654	
	その他の支出	1,047,000	959,752	87,248	
	利用者等外給食費支出	1,017,000	959,752	57,248	
	雑支出	30,000	0	30,000	
	事業活動支出計(2)	552,010,000	543,971,104	8,038,896	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	102,699,000	113,450,595	△10,751,595	
施設整備等による収支	収入				
	その他の施設整備等による収入	0	87,392	△87,392	
	その他の収入	0	87,392	△87,392	
	施設整備等収入計(4)	0	87,392	△87,392	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	50,508,000	50,508,000	0	
	設備資金借入金元金償還支出	50,508,000	50,508,000	0	
	固定資産取得支出	7,453,000	4,391,330	3,061,670	
	器具及び備品取得支出	7,152,000	4,089,930	3,062,070	
	その他の資産取得支出	301,000	301,400	△400	
その他の施設整備等による支出	6,000	5,831	169		
その他の支出	6,000	5,831	169		
施設整備等支出計(5)	57,967,000	54,905,161	3,061,839		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△57,967,000	△54,817,769	△3,149,231		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	7,152,000	1,004,010	6,147,990	
	退職給付引当資産取崩収入	1,152,000	1,004,010	147,990	
	運営資金積立資産取崩収入	6,000,000	0	6,000,000	
	拠点区分間繰入金収入	0	2,204,447	△2,204,447	
	拠点区分間繰入金収入	0	2,204,447	△2,204,447	
	その他の活動収入計(7)	7,152,000	3,208,457	3,943,543	
	支出				
	長期貸付金支出	408,000	288,900	119,100	
	長期貸付金支出	408,000	288,900	119,100	
積立資産支出	23,156,000	23,134,807	21,193		
退職給付引当資産支出	4,156,000	4,134,807	21,193		
運営資金積立資産支出	19,000,000	19,000,000	0		
拠点区分間繰入金支出	25,355,000	25,355,000	0		
拠点区分間繰入金支出	25,355,000	25,355,000	0		
その他の活動支出計(8)	48,919,000	48,778,707	140,293		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△41,767,000	△45,570,250	3,803,250		
予備費支出(10)	6,598,000	—	145,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△6,453,000	13,062,576	△10,242,576		
前期末支払資金残高(12)	176,576,000	176,576,828	△828		
当期末支払資金残高(11)+(12)	179,396,000	189,639,404	△10,243,404		

予備費支出△6,453,000円は、手数料支出に969,000円、その他の支出に6,000円、拠点区分間繰入金支出に5,478,000円に充当使用した額である。

宝塚キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	656,008,218	651,541,811	4,466,407
	施設介護料収益	404,883,071	403,242,362	1,640,709
	介護報酬収益	360,249,644	358,144,848	2,104,796
	利用者負担金収益(公費)	1,883,325	1,932,189	△48,864
	利用者負担金収益(一般)	42,750,102	43,165,325	△415,223
	居宅介護料収益	67,100,898	65,931,582	1,169,316
	(介護報酬収益)	59,900,932	58,617,493	1,283,439
	介護報酬収益	59,818,660	58,528,535	1,290,125
	介護予防報酬収益	82,272	88,958	△6,686
	(利用者負担金収益)	7,199,966	7,314,089	△114,123
	介護負担金収益(公費)	402,984	360,883	42,101
	介護負担金収益(一般)	6,787,839	6,943,321	△155,482
	介護予防負担金収益(一般)	9,143	9,885	△742
	居宅介護支援介護料収益	22,921,771	17,833,426	5,088,345
	居宅介護支援介護料収益	20,335,145	15,486,084	4,849,061
	介護予防支援介護料収益	2,586,626	2,347,342	239,284
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	1,227,526	2,297,147	△1,069,621
	事業費収益	1,073,315	2,067,381	△994,066
	事業負担金収益(公費)	37,398	68,354	△30,956
	事業負担金収益(一般)	116,813	161,412	△44,599
	利用者等利用料収益	156,448,492	154,393,975	2,054,517
	施設サービス利用料収益	757,750	596,750	161,000
	居宅介護サービス利用料収益	1,575,103	2,931,993	△1,356,890
	食費収益(公費)	434,195	537,266	△103,071
	食費収益(一般)	43,152,876	33,694,599	9,458,277
	食費収益(特定)	14,701,471	22,444,959	△7,743,488
	居住費収益(一般)	74,473,918	70,348,492	4,125,426
	居住費収益(特定)	20,888,554	23,229,666	△2,341,112
	その他の利用料収益	464,625	610,250	△145,625
	その他の事業収益	3,426,460	7,843,319	△4,416,859
	補助金事業収益(公費)	2,981,510	7,283,194	△4,301,684
	補助金事業収益(一般)	0	148,725	△148,725
受託事業収益(公費)	444,950	411,400	33,550	
経常経費寄附金収益	30,000	102,000	△72,000	
経常経費寄附金収益	30,000	102,000	△72,000	
サービス活動収益計(1)	656,038,218	651,643,811	4,394,407	
サービス活動増減の部	人件費	396,927,095	396,478,558	448,537
	職員給料	212,509,514	207,101,406	5,408,108
	職員賞与	12,995,818	10,855,887	2,139,931
	賞与引当金繰入	16,701,253	16,514,988	186,265
	非常勤職員給与	92,669,163	94,681,571	△2,012,408
	派遣職員費	4,080,252	12,148,425	△8,068,173
	退職給付費用	12,429,222	10,597,860	1,831,362
	法定福利費	45,541,873	44,578,421	963,452
	事業費	84,011,662	83,614,916	396,746
	給食費	35,582,049	35,408,988	173,061
	介護用品費	15,505,088	16,341,691	△836,603
	医薬品費	88,500	177,712	△89,212
	診療・療養等材料費	290,717	489,700	△198,983
	保健衛生費	1,989,834	3,067,208	△1,077,374
	医療費	176,768	8,940	167,828
	教養娯楽費	582,845	710,856	△128,011
	日用品費	1,451,305	1,484,721	△33,416
	水道光熱費	22,198,026	19,492,366	2,705,660
	消耗器具備品費	3,552,587	3,740,949	△188,362
	保険料	1,710,714	1,754,006	△43,292
	賃借料	135,709	276,732	△141,023
	車輛費	606,783	660,678	△53,895
	雑費	140,737	369	140,368
	事務費	61,563,454	63,098,324	△1,534,870
	福利厚生費	2,513,467	2,296,350	217,117
	職員被服費	290,687	388,157	△97,470
	旅費交通費	5,350	50,740	△45,390
研修研究費	516,890	482,040	34,850	
事務消耗品費	1,143,356	2,794,996	△1,651,640	
印刷製本費	268,373	513,454	△245,081	
修繕費	3,180,485	4,010,257	△829,772	
通信運搬費	1,793,832	1,750,316	43,516	
費用				

宝塚キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	広報費	338,000	60,800	277,200	
	業務委託費	42,218,908	41,651,404	567,504	
	手数料	2,784,572	2,645,906	138,666	
	土地・建物賃借料	2,490,000	2,474,830	15,170	
	租税公課	160,370	83,950	76,420	
	保守料	3,348,481	3,415,800	△67,319	
	渉外費	246,683	197,324	49,359	
	諸会費	264,000	282,000	△18,000	
	利用者負担軽減額	2,691,140	3,095,832	△404,692	
	利用者負担軽減額	2,691,140	3,095,832	△404,692	
	減価償却費	32,203,568	31,735,534	468,034	
	減価償却費	32,203,568	31,735,534	468,034	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,753,985	△13,064,446	310,461	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,753,985	△13,064,446	310,461	
	徴収不能額	20,000	0	20,000	
	徴収不能額	20,000	0	20,000	
	徴収不能引当金繰入	370,052	304,383	65,669	
	徴収不能引当金繰入	370,052	304,383	65,669	
	サービス活動費用計(2)	565,032,986	565,263,101	△230,115	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	91,005,232	86,380,710	4,624,522	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	843	809	34
		受取利息配当金収益	843	809	34
		その他のサービス活動外収益	1,523,766	1,182,958	340,808
		受入研修費収益	257,000	155,000	102,000
		利用者等外給食収益	381,150	529,200	△148,050
		雑収益	885,616	498,758	386,858
	サービス活動外収益計(4)	1,524,609	1,183,767	340,842	
	費用	支払利息	1,502,654	2,301,148	△798,494
		支払利息	1,502,654	2,301,148	△798,494
		その他のサービス活動外費用	1,950,547	1,661,850	288,697
利用者等外給食費		959,752	1,109,310	△149,558	
雑損失	990,795	552,540	438,255		
サービス活動外費用計(5)	3,453,201	3,962,998	△509,797		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△1,928,592	△2,779,231	850,639		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	89,076,640	83,601,479	5,475,161		
特別増減の部	収益	拠点区分間繰入金収益	2,204,447	15,974,944	△13,770,497
		拠点区分間繰入金収益	2,204,447	15,974,944	△13,770,497
		拠点区分間固定資産移管収益	1	613,216	△613,215
		拠点区分間固定資産移管収益	1	613,216	△613,215
		その他の特別収益	304,383	225,637	78,746
		徴収不能引当金戻入益	304,383	225,637	78,746
	特別収益計(8)	2,508,831	16,813,797	△14,304,966	
	費用	固定資産売却損・処分損	0	935,239	△935,239
		器具及び備品売却損・処分損	0	935,239	△935,239
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△548,475	548,475
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)		0	△548,475	548,475	
拠点区分間繰入金費用	25,355,000	21,035,664	4,319,336		
拠点区分間繰入金費用	25,355,000	21,035,664	4,319,336		
拠点区分間固定資産移管費用	2,062,897	0	2,062,897		
拠点区分間固定資産移管費用	2,062,897	0	2,062,897		
特別費用計(9)	27,417,897	21,422,428	5,995,469		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△24,909,066	△4,608,631	△20,300,435		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	64,167,574	78,992,848	△14,825,274		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	852,482,654	779,489,806	72,992,848	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	916,650,228	858,482,654	58,167,574	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	19,000,000	6,000,000	13,000,000	
	運営資金積立金積立額	19,000,000	6,000,000	13,000,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	897,650,228	852,482,654	45,167,574		

宝塚キャンパス拠点区分貸借対照表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	211,098,366	199,606,642	11,491,724	流動負債	91,675,074	92,969,855	△1,294,781
現金預金	60,152,100	73,303,224	△13,151,124	事業未払金	12,281,039	12,400,211	△119,172
事業未収金	106,087,091	103,720,877	2,366,214	1年以内返済予定設備資金借入金	50,508,000	50,508,000	0
未収金	45,986	52,192	△6,206	職員預り金	50,000	50,000	0
未収補助金	2,162,545	1,088,705	1,073,840	拠点区分間借入金	9,487,975	10,863,986	△1,376,011
貯蔵品	185,307	280,836	△95,529	賞与引当金	19,348,060	19,147,658	200,402
立替金	687,994	626,114	61,880	固定負債	48,686,468	92,740,303	△44,053,835
前払費用	698,838	978,587	△279,749	設備資金借入金	18,753,000	69,261,000	△50,508,000
1年以内回収予定長期貸付金	10,000	20,000	△10,000	退職給付引当金	29,933,468	23,479,303	6,454,165
拠点区分間貸付金	41,438,557	19,840,490	21,598,067	負債の部合計	140,361,542	185,710,158	△45,348,616
徴収不能引当金	△370,052	△304,383	△65,669	純資産の部			
固定資産	1,163,030,060	1,168,456,811	△5,426,751	国庫補助金等特別積立金	271,916,656	284,670,641	△12,753,985
基本財産	1,047,612,779	1,073,284,779	△25,672,000	その他の積立金	64,200,000	45,200,000	19,000,000
土地	490,728,904	490,728,904	0	運営資金積立金	64,200,000	45,200,000	19,000,000
建物	1,150,733,284	1,150,733,284	0	次期繰越活動増減差額	897,650,228	852,482,654	45,167,574
建物減価償却累計額	△593,849,409	△568,177,409	△25,672,000	(うち当期活動増減差額)	64,167,574	78,992,848	△14,825,274
その他の固定資産	115,417,281	95,172,032	20,245,249				
車輛運搬具	19,216,127	16,471,900	2,744,227				
器具及び備品	77,449,224	73,359,294	4,089,930				
車輛運搬具減価償却累計額	△17,240,170	△13,504,477	△3,735,693				
器具及び備品減価償却累計額	△56,247,282	△50,933,808	△5,313,474				
権利	2	2	0				
ソフトウェア	422,492	347,720	74,772				
長期貸付金	957,850	678,950	278,900				
退職給付引当資産	26,505,781	23,317,633	3,188,148				
運営資金積立資産	64,200,000	45,200,000	19,000,000				
差入保証金	100,000	100,000	0				
長期前払費用	53,257	134,818	△81,561	純資産の部合計	1,233,766,884	1,182,353,295	51,413,589
資産の部合計	1,374,128,426	1,368,063,453	6,064,973	負債及び純資産の部合計	1,374,128,426	1,368,063,453	6,064,973

計算書類に対する注記（宝塚キャンパス拠点区分）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

(2) 固定資産の減価償却の方法

①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

(4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 宝塚キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（㊸））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	490,728,904	0	0	490,728,904

建物	582,555,875	0	25,672,000	556,883,875
合計	1,073,284,779	0	25,672,000	1,047,612,779

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	556,883,875
土地（基本財産）	490,728,904
合計	1,047,612,779

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	65,225,000
-----------------------	------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

神戸キャンパス拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	459,940,000	457,661,230	2,278,770	
	施設介護料収入	299,289,000	299,684,413	△395,413	
	介護報酬収入	266,654,000	267,612,395	△958,395	
	利用者負担金収入(公費)	2,028,000	1,806,249	221,751	
	利用者負担金収入(一般)	30,607,000	30,265,769	341,231	
	居宅介護料収入	44,026,000	43,502,531	523,469	
	(介護報酬収入)	38,407,000	38,329,689	77,311	
	介護報酬収入	37,569,000	37,447,569	121,431	
	介護予防報酬収入	838,000	882,120	△44,120	
	(利用者負担金収入)	5,619,000	5,172,842	446,158	
	介護負担金収入(公費)	60,000	0	60,000	
	介護負担金収入(一般)	5,381,000	4,969,737	411,263	
	介護予防負担金収入(一般)	178,000	203,105	△25,105	
	利用者等利用料収入	114,333,000	112,389,443	1,943,557	
	居宅介護サービス利用料収入	1,270,000	1,165,437	104,563	
	食費収入(一般)	33,934,000	33,598,340	335,660	
	食費収入(特定)	11,994,000	11,660,362	333,638	
	居住費収入(一般)	49,300,000	49,058,014	241,986	
	居住費収入(特定)	17,835,000	16,907,290	927,710	
	その他の事業収入	2,292,000	2,084,843	207,157	
	補助金事業収入(公費)	2,109,000	1,949,043	159,957	
	補助金事業収入(一般)	100,000	50,000	50,000	
	受託事業収入(公費)	83,000	85,800	△2,800	
	借入金利息補助金収入	2,174,000	2,174,586	△586	
	借入金利息補助金収入	2,174,000	2,174,586	△586	
	受取利息配当金収入	0	376	△376	
	受取利息配当金収入	0	376	△376	
その他の収入	2,108,000	2,030,650	77,350		
利用者等外給食費収入	1,658,000	1,580,250	77,750		
雑収入	450,000	450,400	△400		
事業活動収入計(1)	464,222,000	461,866,842	2,355,158		
事業活動による収支	人件費支出	300,439,000	300,388,796	50,204	
	職員給料支出	170,686,000	170,716,035	△30,035	
	職員賞与支出	21,744,000	22,768,165	△1,024,165	
	非常勤職員給与支出	60,763,000	58,845,448	1,917,552	
	派遣職員費支出	4,935,000	4,965,129	△30,129	
	退職給付支出	6,493,000	6,997,225	△504,225	
	法定福利費支出	35,818,000	36,096,794	△278,794	
	事業費支出	59,866,000	59,860,240	5,760	
	給食費支出	27,645,000	27,543,773	101,227	
	介護用品費支出	12,202,000	11,740,621	461,379	
	医薬品費支出	12,000	2,748	9,252	
	診療・療養等材料費支出	151,000	162,669	△11,669	
	保健衛生費支出	1,725,000	1,354,647	370,353	
	教養娯楽費支出	638,000	590,480	47,520	
	日用品費支出	1,713,000	1,618,995	94,005	
	水道光熱費支出	13,149,000	14,125,835	△976,835	
	消耗器具備品費支出	872,000	855,782	16,218	
	保険料支出	1,025,000	1,221,285	△196,285	
	賃借料支出	211,000	297,220	△86,220	
	車輛費支出	521,000	343,035	177,965	
	雑支出	2,000	3,150	△1,150	
	事務費支出	58,356,000	56,739,146	1,616,854	
	福利厚生費支出	1,779,000	1,757,909	21,091	
	職員被服費支出	30,000	0	30,000	
	旅費交通費支出	50,000	12,630	37,370	
	研修研究費支出	375,000	50,580	324,420	
	事務消耗品費支出	450,000	270,128	179,872	
	印刷製本費支出	274,000	218,740	55,260	
	修繕費支出	674,000	421,691	252,309	
	通信運搬費支出	1,036,000	927,364	108,636	
	広報費支出	891,000	891,000	0	
	業務委託費支出	45,176,000	44,994,559	181,441	
	手数料支出	2,744,000	2,636,959	107,041	
土地・建物賃借料支出	2,002,000	2,042,000	△40,000		
租税公課支出	99,000	80,250	18,750		
保守料支出	2,366,000	2,041,319	324,681		
渉外費支出	46,000	52,557	△6,557		
諸会費支出	364,000	341,460	22,540		
利用者負担軽減額	461,000	460,891	109		
利用者負担軽減額	461,000	460,891	109		
支払利息支出	10,108,000	10,107,194	806		
支払利息支出	10,108,000	10,107,194	806		

神戸キャンパス拠点区分資金収支計算書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
	その他の支出	2,680,000	2,624,520	55,480		
	利用者等外給食費支出	2,680,000	2,624,520	55,480		
	事業活動支出計(2)	431,910,000	430,180,787	1,729,213		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	32,312,000	31,686,055	625,945		
施設整備等による収支	収入	その他の施設整備等による収入	0	302,918	△302,918	
		その他の収入	0	302,918	△302,918	
		施設整備等収入計(4)	0	302,918	△302,918	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	42,492,000	42,492,000	0	
		設備資金借入金元金償還支出	42,492,000	42,492,000	0	
		固定資産取得支出	612,000	611,400	600	
		器具及び備品取得支出	410,000	310,000	100,000	
		その他の資産取得支出	202,000	301,400	△99,400	
		施設整備等支出計(5)	43,104,000	43,103,400	600	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△43,104,000	△42,800,482	△303,518	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	622,000	622,303	△303	
		退職給付引当資産取崩収入	622,000	622,303	△303	
		拠点区分間繰入金収入	878,000	405,000	473,000	
		拠点区分間繰入金収入	878,000	405,000	473,000	
		その他の活動収入計(7)	1,500,000	1,027,303	472,697	
	支出	長期貸付金支出	114,000	114,136	△136	
		長期貸付金支出	114,000	114,136	△136	
		積立資産支出	3,419,000	3,306,483	112,517	
		退職給付引当資産支出	3,419,000	3,306,483	112,517	
		その他の活動支出計(8)	3,533,000	3,420,619	112,381	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△2,033,000	△2,393,316	360,316		
	予備費支出(10)	5,196,000	—	4,674,000		
	△522,000					
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△17,499,000	△13,507,743	△3,991,257		
	前期末支払資金残高(12)	△92,155,000	△92,155,180	180		
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△109,654,000	△105,662,923	△3,991,077		

予備費支出△522,000円は、水道光熱費支出に510,000円、その他の資産取得支出に12,000円充当使用した額である。

神戸キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	457,661,230	476,147,607	△18,486,377
	施設介護料収益	299,684,413	303,270,398	△3,585,985
	介護報酬収益	267,612,395	270,246,286	△2,633,891
	利用者負担金収益(公費)	1,806,249	1,978,288	△172,039
	利用者負担金収益(一般)	30,265,769	31,045,824	△780,055
	居宅介護料収益	43,502,531	50,610,466	△7,107,935
	(介護報酬収益)	38,329,689	44,172,990	△5,843,301
	介護報酬収益	37,447,569	42,880,371	△5,432,802
	介護予防報酬収益	882,120	1,292,619	△410,499
	(利用者負担金収益)	5,172,842	6,437,476	△1,264,634
	介護負担金収益(公費)	0	160,914	△160,914
	介護負担金収益(一般)	4,969,737	6,067,620	△1,097,883
	介護予防負担金収益(一般)	203,105	208,942	△5,837
	利用者等利用料収益	112,389,443	115,663,648	△3,274,205
	居宅介護サービス利用料収益	1,165,437	1,311,148	△145,711
	食費収益(一般)	33,598,340	27,631,530	5,966,810
	食費収益(特定)	11,660,362	18,222,088	△6,561,726
	居住費収益(一般)	49,058,014	49,482,716	△424,702
	居住費収益(特定)	16,907,290	19,016,166	△2,108,876
	その他の事業収益	2,084,843	6,603,095	△4,518,252
	補助金事業収益(公費)	1,949,043	6,213,480	△4,264,437
補助金事業収益(一般)	50,000	309,005	△259,005	
受託事業収益(公費)	85,800	80,610	5,190	
サービス活動収益計(1)	457,661,230	476,147,607	△18,486,377	
サービス活動増減の部	人件費	305,207,451	293,180,867	12,026,584
	職員給料	170,716,035	151,873,051	18,842,984
	職員賞与	11,778,156	9,053,379	2,724,777
	賞与引当金繰入	12,788,176	10,990,009	1,798,167
	非常勤職員給与	58,845,448	69,427,859	△10,582,411
	派遣職員費	4,965,129	11,657,429	△6,692,300
	退職給付費用	9,738,026	7,091,271	2,646,755
	法定福利費	36,376,481	33,087,869	3,288,612
	事業費	59,860,240	60,353,750	△493,510
	給食費	27,543,773	28,414,340	△870,567
	介護用品費	11,740,621	12,365,971	△625,350
	医薬品費	2,748	14,564	△11,816
	診療・療養等材料費	162,669	133,673	28,996
	保健衛生費	1,354,647	1,693,003	△338,356
	医療費	0	500	△500
	教養娯楽費	590,480	508,654	81,826
	日用品費	1,618,995	1,928,320	△309,325
	水道光熱費	14,125,835	13,005,109	1,120,726
	消耗器具備品費	855,782	153,797	701,985
	保険料	1,221,285	924,944	296,341
	賃借料	297,220	270,930	26,290
	車両費	343,035	904,945	△561,910
	雑費	3,150	35,000	△31,850
	事務費	56,739,146	64,017,981	△7,278,835
	福利厚生費	1,757,909	1,492,017	265,892
	職員被服費	0	12,603	△12,603
	旅費交通費	12,630	496,111	△483,481
	研修研究費	50,580	441,896	△391,316
	事務消耗品費	270,128	400,971	△130,843
	印刷製本費	218,740	239,856	△21,116
	修繕費	421,691	1,084,500	△662,809
	通信運搬費	927,364	893,984	33,380
	広報費	891,000	0	891,000
	業務委託費	44,994,559	45,180,612	△186,053
	手数料	2,636,959	9,118,610	△6,481,651
	土地・建物賃借料	2,042,000	2,087,400	△45,400
	租税公課	80,250	25,300	54,950
保守料	2,041,319	2,107,427	△66,108	
渉外費	52,557	58,314	△5,757	
諸会費	341,460	378,380	△36,920	
利用者負担軽減額	460,891	210,769	250,122	
利用者負担軽減額	460,891	210,769	250,122	
減価償却費	49,112,239	49,733,705	△621,466	
減価償却費	49,112,239	49,733,705	△621,466	
費用				

神戸キャンパス拠点区分事業活動計算書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,791,439	△11,009,873	218,434	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,791,439	△11,009,873	218,434	
	徴収不能額	30,000	0	30,000	
	徴収不能額	30,000	0	30,000	
	徴収不能引当金繰入	212,530	333,080	△120,550	
	徴収不能引当金繰入	212,530	333,080	△120,550	
	サービス活動費用計(2)	460,831,058	456,820,279	4,010,779	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,169,828	19,327,328	△22,497,156	
	サービス活動外増減の部	借入金利息補助金収益	2,174,586	2,263,194	△88,608
		借入金利息補助金収益	2,174,586	2,263,194	△88,608
受取利息配当金収益		376	335	41	
受取利息配当金収益		376	335	41	
その他のサービス活動外収益		2,065,774	2,086,130	△20,356	
利用者等外給食収益		1,580,250	1,817,130	△236,880	
雑収益		485,524	269,000	216,524	
サービス活動外収益計(4)		4,240,736	4,349,659	△108,923	
費用		支払利息	10,107,194	10,551,301	△444,107
		支払利息	10,107,194	10,551,301	△444,107
	その他のサービス活動外費用	3,055,340	4,057,770	△1,002,430	
	利用者等外給食費	2,624,520	3,140,588	△516,068	
	雑損失	430,820	917,182	△486,362	
サービス活動外費用計(5)	13,162,534	14,609,071	△1,446,537		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△8,921,798	△10,259,412	1,337,614		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△12,091,626	9,067,916	△21,159,542		
特別増減の部	拠点区分間繰入金収益	405,000	0	405,000	
	拠点区分間繰入金収益	405,000	0	405,000	
	拠点区分間固定資産移管収益	105,264	81,092	24,172	
	拠点区分間固定資産移管収益	105,264	81,092	24,172	
	その他の特別収益	333,080	1,246,987	△913,907	
	徴収不能引当金戻入益	333,080	1,246,987	△913,907	
	特別収益計(8)	843,344	1,328,079	△484,735	
	費用	固定資産売却損・処分損	2	0	2
		器具及び備品売却損・処分損	2	0	2
		拠点区分間固定資産移管費用	242,724	577,958	△335,234
拠点区分間固定資産移管費用		242,724	577,958	△335,234	
特別費用計(9)	242,726	577,958	△335,232		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	600,618	750,121	△149,503		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△11,491,008	9,818,037	△21,309,045		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△63,763,966	△73,582,003	9,818,037	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△75,254,974	△63,763,966	△11,491,008	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△75,254,974	△63,763,966	△11,491,008		

神戸キャンパス拠点区分貸借対照表
2022年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	123,547,236	126,948,624	△3,401,388	流動負債	286,655,665	274,622,006	12,033,659
現金預金	54,804,629	57,746,053	△2,941,424	事業未払金	7,688,525	8,715,010	△1,026,485
事業未収金	64,704,982	64,823,164	△118,182	1年以内返済予定設備資金借入金	42,492,000	42,492,000	0
未収金	53,063	12,570	40,493	職員預り金	11,405	0	11,405
未収補助金	2,738,586	3,085,194	△346,608	拠点区分間借入金	221,662,759	210,691,874	10,970,885
貯蔵品	442,732	417,951	24,781	賞与引当金	14,800,976	12,723,122	2,077,854
立替金	107,866	142,723	△34,857	固定負債	992,438,631	1,032,189,830	△39,751,199
前払費用	847,908	1,024,049	△176,141	設備資金借入金	980,506,000	1,022,998,000	△42,492,000
1年以内回収予定長期貸付金	60,000	30,000	30,000	退職給付引当金	11,932,631	9,191,830	2,740,801
徴収不能引当金	△212,530	△333,080	120,550	負債の部合計	1,279,094,296	1,306,811,836	△27,717,540
固定資産	1,256,932,286	1,303,530,885	△46,598,599	純 資 産 の 部			
基本財産	1,235,844,494	1,280,186,445	△44,341,951	国庫補助金等特別積立金	176,640,200	187,431,639	△10,791,439
土地	438,250,000	438,250,000	0	次期繰越活動増減差額	△75,254,974	△63,763,966	△11,491,008
建物	1,063,646,200	1,063,646,200	0	(うち当期活動増減差額)	△11,491,008	9,818,037	△21,309,045
建物減価償却累計額	△266,051,706	△221,709,755	△44,341,951				
その他の固定資産	21,087,792	23,344,440	△2,256,648				
構築物	850,000	850,000	0				
車輛運搬具	8,520,000	8,170,000	350,000				
器具及び備品	32,213,209	33,241,329	△1,028,120				
構築物減価償却累計額	△147,120	△90,170	△56,950				
車輛運搬具減価償却累計額	△8,298,226	△6,839,348	△1,458,878				
器具及び備品減価償却累計額	△27,328,265	△25,534,091	△1,794,174				
ソフトウェア	820,857	886,361	△65,504				
長期貸付金	134,136	80,000	54,136				
退職給付引当資産	13,514,033	11,468,273	2,045,760				
長期前払費用	809,168	1,112,086	△302,918				
資産の部合計	1,380,479,522	1,430,479,509	△49,999,987	純資産の部合計	101,385,226	123,667,673	△22,282,447
				負債及び純資産の部合計	1,380,479,522	1,430,479,509	△49,999,987

計算書類に対する注記（神戸キャンパス拠点区分）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

・償却原価法（定額法）によっている。

②満期保有目的の債券以外の有価証券

・市場価格のあるものについては、会計年度末における時価をもって評価

(2) 固定資産の減価償却の方法

①平成19年3月31日以前に取得した固定資産・・・旧定額法

②平成19年4月1日以降に取得した固定資産・・・定額法

③リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金

・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②徴収不能引当金

・債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

③退職給付引当金

・兵庫県社会福祉協議会退職共済制度に基づき、期末要支給額を計上している。

(4) たな卸資産の評価基準及び評価方法

・貯蔵品は介護用品等について期末棚卸を行い、拠点区分毎の最終仕入原価法に基づき計上している。

(5) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(6) リース会計基準適用開始前の所有権移転外ファイナンスリース取引

・引き続き通常の賃貸借処理にかかる方法に準じた会計処理を適用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

- ・社会福祉施設職員退職手当共済制度
- ・兵庫県民間社会福祉事業職員退職金制度

4. 作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 神戸キャンパス拠点計算書類（会計基準省令第1号第4様式、第2号第4様式、第3号第4様式）
- (2) 拠点区分事業活動明細書（別紙3（Ⅱ））

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	438,250,000	0	0	438,250,000

建物	841,936,445	0	44,341,951	797,594,494
合 計	1,280,186,445	0	44,341,951	1,235,844,494

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

(単位：円)

建物（基本財産）	797,594,494
土地（基本財産）	438,250,000
合 計	1,235,844,494

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

(単位：円)

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	1,022,998,000
-----------------------	---------------

8. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

間接控除法のため記載なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

間接控除法のため記載なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

附属明細書

- 借入金明細書(別紙3 (①))
- 寄附金収益明細書(別紙3 (②))
- 補助金事業等収益明細書(別紙3 (③))
- 事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書(別紙3 (④))
- 事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)明細書(別紙3 (⑤))
- 基本金明細書(別紙3 (⑥))
- 国庫補助金等特別積立金明細書(別紙3 (⑦))
- 基本財産及びその他の固定資産の明細書(別紙3 (⑧))
- 引当金明細書(別紙3 (⑨))
- 拠点区分事業活動明細書(別紙3 (⑩))
- 積立金積立資産明細書(別紙3 (⑫))

借入金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

区分	借入先	拠点区分	期首残高 ①	当期借入金 ②	当期償還額 ③	差引期末残高 ④=①+②-③ (うち1年以内償還予定額)	元金償還 補助金	利率 %	支払利息		返済 期限	用途	担保資産			
									当期支出額	利息補助金収入			種類	地番または内容	帳簿価額	
設備資金借入金	医療機構	一宮キャンパス	32,249,000		3,252,000	(28,997,000 3,252,000)		1.600%	492,132		2031.2.10	グループホーム整備	建物	宍粟市一宮町福知1030番1	192,814,430	
						(-)							建物	宍粟市一宮町福知1030番1の2	157,135	
						(-)							建物	宍粟市一宮町福知1029番	55,618,117	
						(-)							建物	宍粟市一宮町福知1065番1	12,295,002	
						(-)							建物	宍粟市一宮町福知1065番1の2	14,648,176	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知寺坂576番1	3,700,000	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1030番1	16,894,000	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1029番	2,200,000	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1029番2	108,713	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1030番2	1,184,000	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1036番3	1,850,000	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1038番	2,022,835	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1038番2	184,812	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1065番1	3,789,685	
						(-)							土地	宍粟市一宮町福知字河原1065番3	72,475	
		西兵庫信用金庫	一宮キャンパス	22,904,000		4,608,000	(18,296,000 4,608,000)		1.150%	234,755		2026.3.1	特養ユニット増床			
		西兵庫信用金庫	一宮キャンパス	16,656,000		1,668,000	(14,988,000 1,668,000)		1.150%	181,172		2031.3.1	グループホーム整備			
		医療機構	宝塚キャンパス	114,725,000		49,500,000	(65,225,000 49,500,000)		1.600%	1,472,592		2023.7.10	宝塚まどか園	建物	宝塚市美座二丁目179番	556,883,875
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目185番	51,567,727	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目186番	56,255,702	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目187番	91,571,781	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目179番	217,997,095	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目215番	1,979,367	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目27番8	6,703,804	
						(-)							土地	宝塚市美座二丁目205番	1,405,351	

借入金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会

(単位:円)

区分	借入先	拠点区分	期首残高 ①	当期借入金 ②	当期償還額 ③	差引期末残高 ④=①+②-③ (うち1年以内償還予定額)	元金償還 補助金	利率 %	支払利息		返済 期限	用途	担保資産		
									当期支出額	利息補助金収入			種類	地番または内容	帳簿価額
						-							土地	宝塚市美座二丁目213番	2,916,962
						-							土地	宝塚市美座二丁目178番	40,954,151
						-							土地	宝塚市美座二丁目210番2	18,022,660
						-							土地	宝塚市美座二丁目210番3	1,354,304
	医療機構	神戸キャンパス	553,800,000		22,152,000	531,648,000 (22,152,000)		0.800%	4,349,172	2,174,586	2046.3.10	神戸まどか園整備	土地	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	438,250,000
	西兵庫信用金庫	神戸キャンパス	511,690,000		20,340,000	491,350,000 (20,340,000)		1.150%	5,758,022		2046.5.1	土地購入資金	建物	神戸市長田区大丸町一丁目6番47	797,594,494
	西兵庫信用金庫	本部拠点	5,400,000		3,600,000	1,800,000 (1,800,000)		0.500%	17,267		2022.9.1	介護ソフト			
	商工組合中央金庫	一宮キャンパス	4,047,000		804,000	3,243,000 (804,000)		0.695%	26,990		2026.3.1	LED工事			
	商工組合中央金庫	本部拠点	3,519,000		708,000	2,811,000 (708,000)		0.695%	23,301		2026.3.1	LED工事			
	商工組合中央金庫	宝塚キャンパス	5,044,000		1,008,000	4,036,000 (1,008,000)		0.695%	30,062		2026.3.1	LED工事			
	計		1,270,034,000	-	107,640,000	1,162,394,000 (105,840,000)	-		12,585,465	2,174,586					2,590,996,653
	合計		1,270,034,000	-	107,640,000	1,162,394,000 (105,840,000)	-		12,585,465	2,174,586					2,590,996,653

寄附金収益明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金 組入額	寄附金額の拠点区分ごとの内訳			
					法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス
法人の役職員	経常	1件	100,000		100,000			
利用者本人			—					
利用者の家族		6件	190,000			160,000	30,000	
取引業者			—					
その他		1件	10,000				10,000	
区分小計		8件	300,000	—	100,000	170,000	30,000	—
合 計		8件	300,000	—	100,000	170,000	30,000	—

補助金事業等収益明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

交付団体及び交付の目的	区分	交付金額	補助金事業に係る利用者からの収益	交付金額等合計	うち国庫補助金等特別積立金積立額	交付金額等合計の拠点区分ごとの内訳				
						法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス	
高齢障害求職者雇用支援機構 障害者雇用調整金	介護事業	354,000		354,000		51,804	103,610	155,415	43,171	
兵庫県 感染防止対策支援事業補助金		265,000		265,000			105,000	90,000	70,000	
兵庫県 外国人介護職員コミュニケーション支援事業補助金		120,000		120,000			60,000	60,000		
兵庫県 業務効率化支援事業補助金		304,619		304,619			304,619			
兵庫県 結核定期健康診断実施補助金		184,946		184,946			71,858	113,088		
兵庫県 不在者投票特別経費		51,450		51,450				36,750	14,700	
兵庫県 退院受入支援事業補助金		100,000		100,000				100,000		
兵庫県 介護事業者等サービス継続支援補助金		1,479,000		1,479,000				1,479,000		
兵庫労働局 両立支援等助成金		360,000		360,000				360,000		
兵庫労働局 特定求職者雇用開発助成金		630,000		630,000					630,000	
兵庫労働局 キャリアアップ助成金		540,000		540,000					540,000	
宍粟市 社福軽減補助金		366,813		366,813				366,813		
宍粟市 敬老会お祝い助成金		3,200		3,200				3,200		
宝塚市 社福軽減補助金		570,457		570,457					570,457	
宝塚市 不在者投票特別経費		16,800		16,800					16,800	
神戸市 新規採用介護職員住宅棟補助事業		564,000		564,000					564,000	
神戸市 結核予防費補助金		87,172		87,172					87,172	
兵庫県シルバーサービス事業者協議会 人材確保定着支援事業補助金		50,000		50,000					50,000	
区分小計			6,047,457	—	6,047,457	—	51,804	1,015,100	2,981,510	1,999,043
兵庫県 業務効率化支援事業補助金		施設	589,381		589,381	589,381		589,381		
区分小計		589,381	—	589,381	589,381	—	589,381	—	—	
神戸市 社会福祉施設整備資金利子補助金	利息	2,174,586		2,174,586					2,174,586	
区分小計		2,174,586	—	2,174,586	—	—	—	—	2,174,586	
合計		8,811,424	—	8,811,424	589,381	51,804	1,604,481	2,981,510	4,173,629	

事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

1) 事業区分間繰入金明細書

(単位:円)

事業区分名		繰入金の財源(注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

2) 拠点区分間繰入金明細書

(単位:円)

拠点区分名		繰入金の財源(注)	金額	使用目的等
繰入元	繰入先			
一宮キャンパス	法人本部	介護保険事業収入	16,092,000	法人本部運営費
宝塚キャンパス	法人本部	介護保険事業収入	25,355,000	法人本部運営費
法人本部	一宮キャンパス	運用収入	5,560,471	一宮キャンパス運営費
法人本部	宝塚キャンパス	運用収入	2,204,447	宝塚キャンパス運営費
法人本部	神戸キャンパス	運用収入	405,000	神戸キャンパス運営費

(注) 繰入金の財源には、介護保険収入、運用収入、前期末支払資金残高等の別を記入すること。

事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書

2022年 3月 31日現在

社会福祉法人名 正久福祉会

1) 事業区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

	貸付事業区分名	借入事業区分名	金額	使用目的等
短期				
	小計		—	
長期				
	小計		—	
	合計		—	

2) 拠点区分間貸付金(借入金)明細書

(単位:円)

	貸付拠点区分名	借入拠点区分名	金額	使用目的等
	法人本部	宝塚キャンパス	9,487,975	施設運営費等
	法人本部	神戸キャンパス	221,662,759	施設運営費等
	一宮キャンパス	法人本部	154,146,366	施設運営費等
	宝塚キャンパス	法人本部	41,438,557	施設運営費等
	小計		426,735,657	
長期				
	小計		—	
	合計		426,735,657	

基本金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会

(単位:円)

区分並びに組入れ及び 取崩しの事由	合 計	各拠点区分ごとの内訳			
		法人本部	一宮キャン パス	宝塚キャン パス	神戸キャン パス
前年度末残高	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第一号基本金	89,298,929		89,298,929		
第二号基本金	-				
第三号基本金	-				
当期末残高	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第一号基本金	89,298,929	-	89,298,929	-	-
第二号基本金	-	-	-	-	-
第三号基本金	-	-	-	-	-

国庫補助金等特別積立金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福祉会

(単位:円)

区分並びに積立て及び取崩しの事由		補助金の種類			合 計	各拠点区分の内訳			
		国庫補助金	地方公共団体補助金	その他の団体からの補助金		法人本部	一宮キャンパス	宝塚キャンパス	神戸キャンパス
前期繰越額					618,115,531	-	146,013,251	284,670,641	187,431,639
当期積立額	兵庫県業務効率化支援事業補助金		589,381		589,381		589,381		
	当期積立額合計	-	589,381	-	589,381	-	589,381	-	-
当期取崩額	サービス活動費用の控除科目として計上する取崩額				34,141,851		10,596,427	12,753,985	10,791,439
	特別費用の控除項目として計上する取崩額				-				
当期取崩額合計					34,141,851	-	10,596,427	12,753,985	10,791,439
当期末残高					584,563,061	-	136,006,205	271,916,656	176,640,200

社会福祉法人名 社会福祉法人 正久福祉会

拠点区分 法人本部

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

別紙3 (8)
(単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
【その他の固定資産（有形固定資産）】															
器具備品	5,197,410	0	1,483,448	0	953,790	0	188,683	0	5,538,385	0	3,267,449	0	8,805,834	0	
有形リース資産	777,700	0	0	0	777,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
※ その他の固定資産（有形固定資産）計 ※	5,975,110	0	1,483,448	0	1,731,490	0	188,683	0	5,538,385	0	3,267,449	0	8,805,834	0	
【その他の固定資産（無形固定資産）】															
ソフトウェア	5,940,000	0	0	0	3,564,000	0	0	0	2,376,000	0	15,444,000	0	17,820,000	0	
差入保証金	100,000	0	10,000	0	0	0	0	0	110,000	0	0	0	110,000	0	
※ その他の固定資産（無形固定資産）計 ※	6,040,000	0	10,000	0	3,564,000	0	0	0	2,486,000	0	15,444,000	0	17,930,000	0	
※ その他の固定資産計 ※	12,015,110	0	1,493,448	0	5,295,490	0	188,683	0	8,024,385	0	18,711,449	0	26,735,834	0	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	12,015,110	0	1,493,448	0	5,295,490	0	188,683	0	8,024,385	0	18,711,449	0	26,735,834	0	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	12,015,110	0	1,493,448	0	5,295,490	0	188,683	0	8,024,385	0					

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

別紙3 (8)
 (単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
【基本財産(有形固定資産)】															
土地(基)	38,391,773	0	0	0	0	0	0	0	38,391,773	0	0	0	38,391,773	0	
建物(基)	329,259,177	143,987,517	287,100	0	26,520,663	10,199,712	0	0	303,025,614	133,787,805	622,548,166	312,385,268	925,573,780	446,173,073	
※ 基本財産合計 ※	367,650,950	143,987,517	287,100	0	26,520,663	10,199,712	0	0	341,417,387	133,787,805	622,548,166	312,385,268	963,965,553	446,173,073	
【その他の固定資産(有形固定資産)】															
土地(固)	21,803,685	0	0	0	0	0	0	0	21,803,685	0	0	0	21,803,685	0	
建物(固)	43,384,486	0	0	0	3,408,943	0	0	0	39,975,543	0	53,106,751	0	93,082,294	0	
構築物(固)	7,386,783	0	0	0	1,625,258	0	0	0	5,761,525	0	32,871,131	0	38,632,656	0	
車輜運搬具	5,435,735	0	1,207,830	0	1,353,143	0	107,833	0	5,182,589	0	17,420,326	1,875,000	22,602,915	1,875,000	
器具備品	14,727,479	2,025,734	1,719,517	0	3,911,843	347,600	2	0	12,535,151	1,678,134	62,937,140	9,780,961	75,472,291	11,459,095	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	92,738,168	2,025,734	2,927,347	0	10,299,187	347,600	107,835	0	85,258,493	1,678,134	166,335,348	11,655,961	251,593,841	13,334,095	
【その他の固定資産(無形固定資産)】															
ソフトウェア	347,720	0	786,500	589,381	246,959	49,115	0	0	887,261	540,266	806,331	49,115	1,693,592	589,381	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	347,720	0	786,500	589,381	246,959	49,115	0	0	887,261	540,266	806,331	49,115	1,693,592	589,381	
※ その他の固定資産計 ※	93,085,888	2,025,734	3,713,847	589,381	10,546,146	396,715	107,835	0	86,145,754	2,218,400	167,141,679	11,705,076	253,287,433	13,923,476	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	460,736,838	146,013,251	4,000,947	589,381	37,066,809	10,596,427	107,835	0	427,563,141	136,006,205	789,689,845	324,090,344	1,217,252,986	460,096,549	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	460,736,838	146,013,251	4,000,947	589,381	37,066,809	10,596,427	107,835	0	427,563,141	136,006,205					

社会福祉法人名 社会福祉法人 正久福祉会

拠点区分 宝塚キャンパス

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

別紙3 (8)
(単位：円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
【基本財産(有形固定資産)】															
土地(基)	490,728,904	0	0	0	0	0	0	0	490,728,904	0	0	0	490,728,904	0	
建物(基)	582,555,875	283,075,224	0	0	25,672,000	12,336,485	0	0	556,883,875	270,738,739	593,849,409	290,688,261	1,150,733,284	561,427,000	
※ 基本財産合計 ※	1,073,284,779	283,075,224	0	0	25,672,000	12,336,485	0	0	1,047,612,779	270,738,739	593,849,409	290,688,261	1,641,462,188	561,427,000	
【その他の固定資産(有形固定資産)】															
車輜運搬具	2,967,423	1,595,417	1	0	991,466	417,500	1	0	1,975,957	1,177,917	17,240,170	5,548,458	19,216,127	6,726,375	
器具備品	22,425,486	0	4,089,930	0	5,313,474	0	0	0	21,201,942	0	56,247,282	11,788,890	77,449,224	11,788,890	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	25,392,909	1,595,417	4,089,931	0	6,304,940	417,500	1	0	23,177,899	1,177,917	73,487,452	17,337,348	96,665,351	18,515,265	
【その他の固定資産(無形固定資産)】															
権利(固)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7,683,298	0	7,683,300	0	
ソフトウェア	347,720	0	301,400	0	226,628	0	0	0	422,492	0	786,000	0	1,208,492	0	
差入保証金	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	447,722	0	301,400	0	226,628	0	0	0	522,494	0	8,469,298	0	8,991,792	0	
※ その他の固定資産計 ※	25,840,631	1,595,417	4,391,331	0	6,531,568	417,500	1	0	23,700,393	1,177,917	81,956,750	17,337,348	105,657,143	18,515,265	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	1,099,125,410	284,670,641	4,391,331	0	32,203,568	12,753,985	1	0	1,071,313,172	271,916,656	675,806,159	308,025,609	1,747,119,331	579,942,265	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差 引	1,099,125,410	284,670,641	4,391,331	0	32,203,568	12,753,985	1	0	1,071,313,172	271,916,656	675,806,159	308,025,609	1,747,119,331	579,942,265	

社会福祉法人名 社会福祉法人 正久福祉会

拠点区分 神戸キャンパス

基本財産及びその他固定資産（有形・無形固定資産）の明細書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

別紙3 (8)
(単位:円)

資産の種類及び名称	期首帳簿価額 (A)		当期増加額 (B)		当期減価償却 (C)		当期減少額 (D)		期末帳簿価額 (E)		減価償却累計 (F)		期末取得原価		摘要
		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(E=A+B-C-D)	うち国庫補助等の額		うち国庫補助等の額	(G=E+F)	うち国庫補助等の額	
【基本財産(有形固定資産)】															
土地(基)	438,250,000	0	0	0	0	0	0	0	438,250,000	0	0	0	438,250,000	0	
建物(基)	841,936,445	183,423,955	0	0	44,341,951	8,915,209	0	0	797,594,494	174,508,746	266,051,706	53,491,254	1,063,646,200	228,000,000	
※ 基本財産合計 ※	1,280,186,445	183,423,955	0	0	44,341,951	8,915,209	0	0	1,235,844,494	174,508,746	266,051,706	53,491,254	1,501,896,200	228,000,000	
【その他の固定資産(有形固定資産)】															
構築物(固)	759,830	0	0	0	56,950	0	0	0	702,880	0	147,120	0	850,000	0	
車輛運搬具	1,330,652	0	1	0	1,108,879	0	0	0	221,774	0	8,298,226	0	8,520,000	0	
器具備品	7,707,238	4,007,684	415,263	0	3,237,555	1,876,230	2	0	4,884,944	2,131,454	27,328,265	17,740,491	32,213,209	19,871,945	
※ その他の固定資産(有形固定資産)計 ※	9,797,720	4,007,684	415,264	0	4,403,384	1,876,230	2	0	5,809,598	2,131,454	35,773,611	17,740,491	41,583,209	19,871,945	
【その他の固定資産(無形固定資産)】															
ソフトウェア	886,361	0	301,400	0	366,904	0	0	0	820,857	0	1,289,953	0	2,110,810	0	
※ その他の固定資産(無形固定資産)計 ※	886,361	0	301,400	0	366,904	0	0	0	820,857	0	1,289,953	0	2,110,810	0	
※ その他の固定資産計 ※	10,684,081	4,007,684	716,664	0	4,770,288	1,876,230	2	0	6,630,455	2,131,454	37,063,564	17,740,491	43,694,019	19,871,945	
※ 基本財産及びその他の固定資産計 ※	1,290,870,526	187,431,639	716,664	0	49,112,239	10,791,439	2	0	1,242,474,949	176,640,200	303,115,270	71,231,745	1,545,590,219	247,871,945	
将来入金予定の償還補助金の額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
差 引	1,290,870,526	187,431,639	716,664	0	49,112,239	10,791,439	2	0	1,242,474,949	176,640,200					

引当金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 法人本部

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	4,742,739	6,194,638 ()	4,742,739	()	6,194,638	
退職給付引当金	12,783,191	5,526,237 (3,754,973)	57,006	()	18,252,422	
役員退職慰労引当金	16,774,740	6,190,640 ()		()	22,965,380	
計	27,163,229	17,911,515 (3,754,973)	4,799,745	(-)	47,412,440	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の増加額は、拠点間の異動によるものである。

引当金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
 拠点区分 一宮キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	14,821,207	14,195,443 ()	14,821,207	()	14,195,443	
退職給付引当金	32,651,408	4,437,317 ()	6,526,187	6,724,887 (6,724,887)	23,837,651	
徴収不能引当金	212,516	143,032 ()		212,516 ()	143,032	
計	47,685,131	18,775,792 (-)	21,347,394	6,937,403 (6,724,887)	38,176,126	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の減少額は、拠点間の異動によるものである。
2. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。

引当金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
 拠点区分 宝塚キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	19,147,658	19,348,060 ()	19,147,658	()	19,348,060	
退職給付引当金	23,479,303	7,538,269 (3,050,008)	1,004,010	80,094 (80,094)	29,933,468	
徴収不能引当金	304,383	370,052 ()		304,383 ()	370,052	
計	42,931,344	27,256,381 (3,050,008)	20,151,668	384,477 (80,094)	49,651,580	

(注)

1. 退職給付引当金の使用目的以外の増加額及び減少額は、拠点間の異動によるものである。
2. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。

引当金明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 神戸キャンパス

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	12,723,122	14,800,976 ()	12,723,122 ()	()	14,800,976	
退職給付引当金	9,191,830	3,363,104 ()	622,303 ()	()	11,932,631	
徴収不能引当金	333,080	212,530 ()	()	333,080 ()	212,530	
計	22,248,032	18,376,610 (-)	13,345,425 ()	333,080 (-)	26,946,137	

(注)

1. 徴収不能引当金の使用目的以外の減少額は、洗い替えによるものである。

一宮キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		特別養護老人ホームまどか園	まどか園ショートステイ	まどか園デイサービスセンター	まどか園在宅介護支援センター	まどか園ヘルパーステーション	グループホームまどか園	合計	内部取引消去	拠点区分合計
収益	介護保険事業収益	300,016,939	64,714,946	0	18,132,970	26,871,221	86,690,694	496,426,770	△480,000	495,946,770
	施設介護料収益	239,312,765	0	0	0	0	0	239,312,765	0	239,312,765
	介護報酬収益	215,321,913	0	0	0	0	0	215,321,913	0	215,321,913
	利用者負担金収益(公費)	161,535	0	0	0	0	0	161,535	0	161,535
	利用者負担金収益(一般)	23,829,317	0	0	0	0	0	23,829,317	0	23,829,317
	居宅介護料収益	0	51,199,050	0	0	24,711,423	0	75,910,473	0	75,910,473
	(介護報酬収益)	0	45,054,081	0	0	22,050,263	0	67,104,344	0	67,104,344
	介護報酬収益	0	44,626,401	0	0	22,050,263	0	66,676,664	0	66,676,664
	介護予防報酬収益	0	427,680	0	0	0	0	427,680	0	427,680
	(利用者負担金収益)	0	6,144,969	0	0	2,661,160	0	8,806,129	0	8,806,129
	介護負担金収益(公費)	0	16,770	0	0	113,781	0	130,551	0	130,551
	介護負担金収益(一般)	0	6,080,679	0	0	2,547,379	0	8,628,058	0	8,628,058
	介護予防負担金収益(一般)	0	47,520	0	0	0	0	47,520	0	47,520
	地域密着型介護料収益	0	0	0	0	0	65,039,770	65,039,770	0	65,039,770
	(介護報酬収益)	0	0	0	0	0	58,535,793	58,535,793	0	58,535,793
	介護報酬収益	0	0	0	0	0	58,535,793	58,535,793	0	58,535,793
	(利用者負担金収益)	0	0	0	0	0	6,503,977	6,503,977	0	6,503,977
	介護負担金収益(一般)	0	0	0	0	0	6,503,977	6,503,977	0	6,503,977
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	0	0	0	16,941,510	0	16,941,510
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	0	16,165,470	0	16,165,470	0	16,165,470
	介護予防支援介護料収益	0	0	0	0	776,040	0	776,040	0	776,040
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	0	0	0	0	0	2,069,737	2,069,737	0	2,069,737
	事業費収益	0	0	0	0	1,834,259	0	1,834,259	0	1,834,259
	事業負担金収益(公費)	0	0	0	0	17,453	0	17,453	0	17,453
	事業負担金収益(一般)	0	0	0	0	218,025	0	218,025	0	218,025
	利用者等利用料収益	59,573,290	13,261,741	0	0	0	21,635,924	94,470,955	0	94,470,955
	地域密着型介護サービス利用料収益	0	0	0	0	0	21,635,924	21,635,924	0	21,635,924
	食費収益(公費)	52,605	0	0	0	0	0	52,605	0	52,605
	食費収益(一般)	25,215,979	6,636,586	0	0	0	0	31,852,565	0	31,852,565
	食費収益(特定)	11,147,705	1,561,845	0	0	0	0	12,709,550	0	12,709,550
	居住費収益(公費)	0	1,455	0	0	0	0	1,455	0	1,455
	居住費収益(一般)	15,002,217	3,619,950	0	0	0	0	18,622,167	0	18,622,167
	居住費収益(特定)	8,091,784	1,441,905	0	0	0	0	9,533,689	0	9,533,689
その他の利用料収益	63,000	0	0	0	0	0	63,000	0	63,000	
その他の事業収益	1,130,884	254,155	0	1,191,460	90,061	15,000	2,681,560	△480,000	2,201,560	
補助金事業収益(公費)	738,964	166,075	0	10,000	85,061	15,000	1,015,100	0	1,015,100	
受託事業収益(公費)	0	0	0	1,064,714	0	0	1,064,714	0	1,064,714	
受託事業収益(一般)	391,920	88,080	0	116,746	5,000	0	601,746	△480,000	121,746	
経常経費寄附金収益	122,475	27,525	0	20,000	0	0	170,000	0	170,000	
経常経費寄附金収益	122,475	27,525	0	20,000	0	0	170,000	0	170,000	
サービス活動収益計(1)	300,139,414	64,742,471	0	18,152,970	26,871,221	86,690,694	496,596,770	△480,000	496,116,770	
サービス活動増減の部	人件費	183,659,360	40,996,344	0	14,110,011	21,934,647	64,964,095	325,664,457	0	325,664,457
	職員給料	87,464,611	19,656,775	0	4,183,536	5,034,364	25,488,548	141,827,834	0	141,827,834
	職員賞与	4,435,596	3,107,690	0	107,428	237,741	1,856,888	9,745,343	0	9,745,343
	賞与引当金繰入	9,231,101	0	0	553,300	516,943	1,945,208	12,246,552	0	12,246,552
	非常勤職員給与	54,781,391	12,311,556	0	6,882,185	13,381,503	26,349,971	113,706,606	0	113,706,606
	退職給付費用	5,656,297	947,131	0	531,139	234,984	1,721,389	9,090,940	0	9,090,940
	法定福利費	22,090,364	4,973,192	0	1,852,423	2,529,112	7,602,091	39,047,182	0	39,047,182
	事業費	44,720,265	10,050,422	0	1,067,501	1,600,249	10,280,000	67,718,437	0	67,718,437
	給食費	17,845,066	4,010,495	0	0	0	5,815,042	27,670,603	0	27,670,603
	介護用品費	7,532,483	1,692,848	0	0	46,385	958,473	10,230,189	0	10,230,189
	医薬品費	18,611	4,183	0	0	0	990	23,784	0	23,784
	診療・療養等材料費	129,716	29,152	0	0	0	2,951	161,819	0	161,819
	保健衛生費	733,100	164,757	0	11,800	111,886	76,228	1,097,771	0	1,097,771
	被服費	41,641	9,359	0	0	0	0	51,000	0	51,000
	教養娯楽費	617,672	138,815	0	14,889	0	102,694	874,070	0	874,070
	日用品費	393,291	88,388	0	2,688	0	114,834	599,181	0	599,181
	水道光熱費	13,081,266	2,939,880	0	331,656	207,384	2,621,858	19,182,044	0	19,182,044
	燃料費	323,808	72,773	0	0	0	0	396,581	0	396,581
	消耗器具備品費	1,642,194	369,066	0	5,008	0	301,577	2,317,845	0	2,317,845
	保険料	1,055,521	237,218	0	309,111	346,035	231,481	2,179,366	0	2,179,366
賃借料	778,281	174,911	0	66,000	74,800	21,450	1,115,442	0	1,115,442	

一宮キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		特別養護老人ホームまどか園	まどか園ショートステイ	まどか園デイサービスセンター	まどか園在宅介護支援センター	まどか園ヘルパーステーション	グループホームまどか園	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
費用	車両費	435,351	97,841	0	326,369	813,759	32,422	1,705,742	0	1,705,742	
	雑費	92,264	20,736	0	0	0	0	113,000	0	113,000	
	事務費	22,185,552	4,985,973	0	1,013,187	1,092,488	3,164,195	32,441,395	△480,000	31,961,395	
	福利厚生費	1,278,032	287,224	0	83,137	122,828	424,283	2,195,504	0	2,195,504	
	職員被服費	197,191	44,317	0	0	0	0	241,508	0	241,508	
	旅費交通費	1,633	367	0	0	0	0	2,000	0	2,000	
	研修研究費	144,561	32,489	0	6,500	24,500	67,730	275,780	0	275,780	
	事務消耗品費	2,241,519	503,758	0	14,073	16,030	67,266	2,842,646	0	2,842,646	
	印刷製本費	24,234	5,446	0	19,300	93,675	102,994	245,649	0	245,649	
	修繕費	3,815,232	857,434	0	213,849	270,052	132,960	5,289,527	0	5,289,527	
	通信運搬費	744,648	167,352	0	241,082	168,826	272,280	1,594,188	0	1,594,188	
	会議費	19,841	4,459	0	0	0	0	24,300	0	24,300	
	広報費	205,520	46,188	0	0	0	0	251,708	0	251,708	
	業務委託費	9,386,989	2,109,629	0	115,884	178,404	1,122,324	12,913,230	△480,000	12,433,230	
	手数料	807,459	181,468	0	40,052	52,121	65,100	1,146,200	0	1,146,200	
	土地・建物賃借料	29,394	6,606	0	0	0	0	36,000	0	36,000	
	租税公課	139,336	31,314	0	14,600	6,500	0	191,750	0	191,750	
	保守料	2,732,674	614,140	0	262,710	115,476	876,418	4,601,418	0	4,601,418	
	渉外費	94,200	21,171	0	0	40,024	30,840	186,235	0	186,235	
	諸会費	303,493	68,207	0	2,000	2,000	2,000	377,700	0	377,700	
	雑費	19,596	4,404	0	0	2,052	0	26,052	0	26,052	
	利用者負担軽減額	891,654	215,400	0	0	158,274	0	1,265,328	0	1,265,328	
	利用者負担軽減額	891,654	215,400	0	0	158,274	0	1,265,328	0	1,265,328	
	減価償却費	29,412,541	0	0	661,959	331,097	6,661,212	37,066,809	0	37,066,809	
	減価償却費	29,412,541	0	0	661,959	331,097	6,661,212	37,066,809	0	37,066,809	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,176,909	0	0	△551,093	0	△1,868,425	△10,596,427	0	△10,596,427	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△8,176,909	0	0	△551,093	0	△1,868,425	△10,596,427	0	△10,596,427	
徴収不能額	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000		
徴収不能額	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000		
徴収不能引当金繰入	128,734	0	0	0	1,931	12,367	143,032	0	143,032		
徴収不能引当金繰入	128,734	0	0	0	1,931	12,367	143,032	0	143,032		
サービス活動費用計(2)	272,851,197	56,248,139	0	16,301,565	25,118,686	83,213,444	453,733,031	△480,000	453,253,031		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	27,288,217	8,494,332	0	1,851,405	1,752,535	3,477,250	42,863,739	0	42,863,739		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	1,466	329	0	40	43	139	2,017	0	2,017
		受取利息配当金収益	1,466	329	0	40	43	139	2,017	0	2,017
		その他のサービス活動外収益	1,168,367	244,679	0	2,286,292	0	71,980	3,771,318	0	3,771,318
		受入研修費収益	8,173	1,837	0	0	0	0	10,010	0	10,010
		利用者等外給食収益	556,363	125,037	0	0	0	0	681,400	0	681,400
		雑収益	603,831	117,805	0	2,286,292	0	71,980	3,079,908	0	3,079,908
		サービス活動外収益計(4)	1,169,833	245,008	0	2,286,332	43	72,119	3,773,335	0	3,773,335
	費用	支払利息	213,715	48,030	0	0	0	673,304	935,049	0	935,049
		支払利息	213,715	48,030	0	0	0	673,304	935,049	0	935,049
		その他のサービス活動外費用	1,107,112	247,250	0	0	0	209,000	1,563,362	0	1,563,362
利用者等外給食費	1,100,164	247,250	0	0	0	209,000	1,556,414	0	1,556,414		
雑損失	6,948	0	0	0	0	0	6,948	0	6,948		
サービス活動外費用計(5)	1,320,827	295,280	0	0	0	882,304	2,498,411	0	2,498,411		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△150,994	△50,272	0	2,286,332	43	△810,185	1,274,924	0	1,274,924		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	27,137,223	8,444,060	0	4,137,737	1,752,578	2,667,065	44,138,663	0	44,138,663		

宝塚キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		特別養護老人ホーム宝塚まどか園	宝塚まどか園ショートステイ	宝塚まどか園ヘルパーステーション	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計
収益	介護保険事業収益	540,995,400	82,136,167	9,499,930	23,376,721	656,008,218	0	656,008,218
	施設介護料収益	404,883,071	0	0	0	404,883,071	0	404,883,071
	介護報酬収益	360,249,644	0	0	0	360,249,644	0	360,249,644
	利用者負担金収益(公費)	1,883,325	0	0	0	1,883,325	0	1,883,325
	利用者負担金収益(一般)	42,750,102	0	0	0	42,750,102	0	42,750,102
	居宅介護料収益	0	59,749,602	7,351,296	0	67,100,898	0	67,100,898
	(介護報酬収益)	0	53,285,188	6,615,744	0	59,900,932	0	59,900,932
	介護報酬収益	0	53,202,916	6,615,744	0	59,818,660	0	59,818,660
	介護予防報酬収益	0	82,272	0	0	82,272	0	82,272
	(利用者負担金収益)	0	6,464,414	735,552	0	7,199,966	0	7,199,966
	介護負担金収益(公費)	0	170,484	232,500	0	402,984	0	402,984
	介護負担金収益(一般)	0	6,284,787	503,052	0	6,787,839	0	6,787,839
	介護予防負担金収益(一般)	0	9,143	0	0	9,143	0	9,143
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	22,921,771	22,921,771	0	22,921,771
	居宅介護支援介護料収益	0	0	0	20,335,145	20,335,145	0	20,335,145
	介護予防支援介護料収益	0	0	0	2,586,626	2,586,626	0	2,586,626
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	0	0	1,227,526	0	1,227,526	0	1,227,526
	事業費収益	0	0	1,073,315	0	1,073,315	0	1,073,315
	事業負担金収益(公費)	0	0	37,398	0	37,398	0	37,398
	事業負担金収益(一般)	0	0	116,813	0	116,813	0	116,813
	利用者等利用料収益	133,543,459	21,983,925	921,108	0	156,448,492	0	156,448,492
	施設サービス利用料収益	757,750	0	0	0	757,750	0	757,750
	居宅介護サービス利用料収益	0	1,118,620	456,483	0	1,575,103	0	1,575,103
	食費収益(公費)	434,195	0	0	0	434,195	0	434,195
	食費収益(一般)	36,632,569	6,520,307	0	0	43,152,876	0	43,152,876
	食費収益(特定)	13,692,309	1,009,162	0	0	14,701,471	0	14,701,471
	居住費収益(一般)	62,981,832	11,492,086	0	0	74,473,918	0	74,473,918
	居住費収益(特定)	19,044,804	1,843,750	0	0	20,888,554	0	20,888,554
	その他の利用料収益	0	0	464,625	0	464,625	0	464,625
	その他の事業収益	2,568,870	402,640	0	454,950	3,426,460	0	3,426,460
	補助金事業収益(公費)	2,568,870	402,640	0	10,000	2,981,510	0	2,981,510
受託事業収益(公費)	0	0	0	444,950	444,950	0	444,950	
経常経費寄附金収益	25,935	4,065	0	0	30,000	0	30,000	
経常経費寄附金収益	25,935	4,065	0	0	30,000	0	30,000	
サービス活動収益計(1)	541,021,335	82,140,232	9,499,930	23,376,721	656,038,218	0	656,038,218	
サービス活動増減の部	人件費	319,335,003	49,413,243	8,167,873	20,010,976	396,927,095	0	396,927,095
	職員給料	174,501,712	27,351,049	1,196,911	9,459,842	212,509,514	0	212,509,514
	職員賞与	8,780,289	3,749,708	△87,316	553,137	12,995,818	0	12,995,818
	賞与引当金繰入	15,668,003	0	0	1,033,250	16,701,253	0	16,701,253
	非常勤職員給与	69,795,460	10,939,601	6,130,899	5,803,203	92,669,163	0	92,669,163
	派遣職員費	3,527,378	552,874	0	0	4,080,252	0	4,080,252
	退職給付費用	10,684,205	1,129,318	151,609	464,090	12,429,222	0	12,429,222
	法定福利費	36,377,956	5,690,693	775,770	2,697,454	45,541,873	0	45,541,873
	事業費	71,870,857	11,264,896	319,221	556,688	84,011,662	0	84,011,662
	給食費	30,760,681	4,821,368	0	0	35,582,049	0	35,582,049
	介護用品費	13,404,149	2,100,939	0	0	15,505,088	0	15,505,088
	医薬品費	76,508	11,992	0	0	88,500	0	88,500
	診療・療養等材料費	251,325	39,392	0	0	290,717	0	290,717
	保健衛生費	1,686,220	264,295	11,010	28,309	1,989,834	0	1,989,834
	医療費	152,816	23,952	0	0	176,768	0	176,768
	教養娯楽費	503,870	78,975	0	0	582,845	0	582,845

宝塚キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		特別養護老人ホーム宝塚まどか園	宝塚まどか園ショートステイ	宝塚まどか園ヘルパーステーション	宝塚まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
費用	日用品費	1,254,653	196,652	0	0	1,451,305	0	1,451,305	
	水道光熱費	18,850,611	2,954,607	196,404	196,404	22,198,026	0	22,198,026	
	消耗器具備品費	3,071,211	481,376	0	0	3,552,587	0	3,552,587	
	保険料	1,280,689	200,733	50,546	178,746	1,710,714	0	1,710,714	
	貸借料	117,320	18,389	0	0	135,709	0	135,709	
	車輛費	339,137	53,156	61,261	153,229	606,783	0	606,783	
	雑費	121,667	19,070	0	0	140,737	0	140,737	
	事務費	52,370,721	8,208,483	308,152	676,098	61,563,454	0	61,563,454	
	福利厚生費	2,056,411	322,318	55,800	78,938	2,513,467	0	2,513,467	
	職員被服費	251,299	39,388	0	0	290,687	0	290,687	
	旅費交通費	4,625	725	0	0	5,350	0	5,350	
	研修研究費	318,283	49,887	0	148,720	516,890	0	516,890	
	事務消耗品費	948,125	148,607	1,467	45,157	1,143,356	0	1,143,356	
	印刷製本費	220,316	34,532	12,100	1,425	268,373	0	268,373	
	修繕費	2,601,115	407,693	42,845	128,832	3,180,485	0	3,180,485	
	通信運搬費	1,414,295	221,674	82,793	75,070	1,793,832	0	1,793,832	
	広報費	292,201	45,799	0	0	338,000	0	338,000	
	業務委託費	36,376,600	5,701,596	63,324	77,388	42,218,908	0	42,218,908	
	手数料	2,367,541	371,084	24,887	21,060	2,784,572	0	2,784,572	
	土地・建物賃借料	2,152,605	337,395	0	0	2,490,000	0	2,490,000	
	租税公課	77,866	12,204	0	70,300	160,370	0	160,370	
	保守料	2,847,954	446,383	24,936	29,208	3,348,481	0	3,348,481	
	渉外費	213,257	33,426	0	0	246,683	0	246,683	
	諸会費	228,228	35,772	0	0	264,000	0	264,000	
	利用者負担軽減額	2,564,401	119,105	7,634	0	2,691,140	0	2,691,140	
	利用者負担軽減額	2,564,401	119,105	7,634	0	2,691,140	0	2,691,140	
	減価償却費	31,726,112	0	273,166	204,290	32,203,568	0	32,203,568	
	減価償却費	31,726,112	0	273,166	204,290	32,203,568	0	32,203,568	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,753,985	0	0	0	△12,753,985	0	△12,753,985	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△12,753,985	0	0	0	△12,753,985	0	△12,753,985	
徴収不能額	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000		
徴収不能額	20,000	0	0	0	20,000	0	20,000		
徴収不能引当金繰入	370,052	0	0	0	370,052	0	370,052		
徴収不能引当金繰入	370,052	0	0	0	370,052	0	370,052		
サービス活動費用計(2)	465,503,161	69,005,727	9,076,046	21,448,052	565,032,986	0	565,032,986		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	75,518,174	13,134,505	423,884	1,928,669	91,005,232	0	91,005,232		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	644	101	59	39	843	0	843
		受取利息配当金収益	644	101	59	39	843	0	843
		その他のサービス活動外収益	1,336,418	187,348	0	0	1,523,766	0	1,523,766
		受入研修費収益	222,176	34,824	0	0	257,000	0	257,000
		利用者等外給食収益	329,504	51,646	0	0	381,150	0	381,150
		雑収益	784,738	100,878	0	0	885,616	0	885,616
	サービス活動外収益計(4)	1,337,062	187,449	59	39	1,524,609	0	1,524,609	
	費用	支払利息	1,299,044	203,610	0	0	1,502,654	0	1,502,654
		支払利息	1,299,044	203,610	0	0	1,502,654	0	1,502,654
		その他のサービス活動外費用	1,598,619	130,046	221,882	0	1,950,547	0	1,950,547
利用者等外給食費		829,706	130,046	0	0	959,752	0	959,752	
雑損失	768,913	0	221,882	0	990,795	0	990,795		
サービス活動外費用計(5)	2,897,663	333,656	221,882	0	3,453,201	0	3,453,201		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△1,560,601	△146,207	△221,823	39	△1,928,592	0	△1,928,592		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	73,957,573	12,988,298	202,061	1,928,708	89,076,640	0	89,076,640		

神戸キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		特別養護老人ホーム神戸まどか園	神戸まどか園ショートステイ	神戸まどか園デイサービスセンター	神戸まどか園ヘルパーステーション	神戸まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計
収益	介護保険事業収益	398,616,558	59,044,672	0	0	0	457,661,230	0	457,661,230
	施設介護料収益	299,684,413	0	0	0	0	299,684,413	0	299,684,413
	介護報酬収益	267,612,395	0	0	0	0	267,612,395	0	267,612,395
	利用者負担金収益(公費)	1,806,249	0	0	0	0	1,806,249	0	1,806,249
	利用者負担金収益(一般)	30,265,769	0	0	0	0	30,265,769	0	30,265,769
	居宅介護料収益	0	43,502,531	0	0	0	43,502,531	0	43,502,531
	(介護報酬収益)	0	38,329,689	0	0	0	38,329,689	0	38,329,689
	介護報酬収益	0	37,447,569	0	0	0	37,447,569	0	37,447,569
	介護予防報酬収益	0	882,120	0	0	0	882,120	0	882,120
	(利用者負担金収益)	0	5,172,842	0	0	0	5,172,842	0	5,172,842
	介護負担金収益(一般)	0	4,969,737	0	0	0	4,969,737	0	4,969,737
	介護予防負担金収益(一般)	0	203,105	0	0	0	203,105	0	203,105
	利用者等利用料収益	97,114,162	15,275,281	0	0	0	112,389,443	0	112,389,443
	居宅介護サービス利用料収益	0	1,165,437	0	0	0	1,165,437	0	1,165,437
	食費収益(一般)	29,040,806	4,557,534	0	0	0	33,598,340	0	33,598,340
	食費収益(特定)	10,547,294	1,113,068	0	0	0	11,660,362	0	11,660,362
	居住費収益(一般)	42,498,628	6,559,386	0	0	0	49,058,014	0	49,058,014
	居住費収益(特定)	15,027,434	1,879,856	0	0	0	16,907,290	0	16,907,290
	その他の事業収益	1,817,983	266,860	0	0	0	2,084,843	0	2,084,843
	補助金事業収益(公費)	1,699,565	249,478	0	0	0	1,949,043	0	1,949,043
補助金事業収益(一般)	43,600	6,400	0	0	0	50,000	0	50,000	
受託事業収益(公費)	74,818	10,982	0	0	0	85,800	0	85,800	
サービス活動収益計(1)	398,616,558	59,044,672	0	0	0	457,661,230	0	457,661,230	
サービス活動増減の部	人件費	266,757,685	38,449,766	0	0	0	305,207,451	0	305,207,451
	職員給料	148,864,383	21,851,652	0	0	0	170,716,035	0	170,716,035
	職員賞与	8,863,831	2,914,325	0	0	0	11,778,156	0	11,778,156
	賞与引当金繰入	12,788,176	0	0	0	0	12,788,176	0	12,788,176
	非常勤職員給与	51,313,231	7,532,217	0	0	0	58,845,448	0	58,845,448
	派遣職員費	4,329,592	635,537	0	0	0	4,965,129	0	4,965,129
	退職給付費用	8,842,381	895,645	0	0	0	9,738,026	0	9,738,026
	法定福利費	31,756,091	4,620,390	0	0	0	36,376,481	0	36,376,481
	事業費	52,164,018	7,657,102	0	0	39,120	59,860,240	0	59,860,240
	給食費	24,018,170	3,525,603	0	0	0	27,543,773	0	27,543,773
	介護用品費	10,237,822	1,502,799	0	0	0	11,740,621	0	11,740,621
	医薬品費	2,396	352	0	0	0	2,748	0	2,748
	診療・療養等材料費	141,847	20,822	0	0	0	162,669	0	162,669
	保健衛生費	1,181,252	173,395	0	0	0	1,354,647	0	1,354,647
	教養娯楽費	514,899	75,581	0	0	0	590,480	0	590,480
	日用品費	1,411,764	207,231	0	0	0	1,618,995	0	1,618,995
	水道光熱費	12,317,728	1,808,107	0	0	0	14,125,835	0	14,125,835
	消耗器具備品費	737,967	108,325	0	0	9,490	855,782	0	855,782
	保険料	1,047,756	153,799	0	0	19,730	1,221,285	0	1,221,285
	賃借料	259,176	38,044	0	0	0	297,220	0	297,220
	車両費	290,494	42,641	0	0	9,900	343,035	0	343,035
	雑費	2,747	403	0	0	0	3,150	0	3,150
	事務費	49,420,365	7,254,366	0	0	64,415	56,739,146	0	56,739,146
	福利厚生費	1,532,897	225,012	0	0	0	1,757,909	0	1,757,909
	旅費交通費	11,013	1,617	0	0	0	12,630	0	12,630
	研修研究費	44,106	6,474	0	0	0	50,580	0	50,580
	事務消耗品費	235,552	34,576	0	0	0	270,128	0	270,128
印刷製本費	190,741	27,999	0	0	0	218,740	0	218,740	
修繕費	338,882	49,744	0	0	33,065	421,691	0	421,691	
通信運搬費	808,661	118,703	0	0	0	927,364	0	927,364	
広報費	776,952	114,048	0	0	0	891,000	0	891,000	
業務委託費	39,235,255	5,759,304	0	0	0	44,994,559	0	44,994,559	

神戸キャンパス拠点区分事業活動明細書
(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月31日

(単位：円)

勘定科目		特別養護老人ホーム神戸まどか園	神戸まどか園ショートステイ	神戸まどか園デイサービスセンター	神戸まどか園ヘルパーステーション	神戸まどか園居宅介護支援事業所	合計	内部取引消去	拠点区分合計	
	手数料	2,299,428	337,531	0	0	0	2,636,959	0	2,636,959	
	土地・建物賃借料	1,780,624	261,376	0	0	0	2,042,000	0	2,042,000	
	租税公課	42,641	6,259	0	0	31,350	80,250	0	80,250	
	保守料	1,780,030	261,289	0	0	0	2,041,319	0	2,041,319	
	渉外費	45,830	6,727	0	0	0	52,557	0	52,557	
	諸会費	297,753	43,707	0	0	0	341,460	0	341,460	
	利用者負担軽減額	460,891	0	0	0	0	460,891	0	460,891	
	利用者負担軽減額	460,891	0	0	0	0	460,891	0	460,891	
	減価償却費	49,107,216	0	0	0	5,023	49,112,239	0	49,112,239	
	減価償却費	49,107,216	0	0	0	5,023	49,112,239	0	49,112,239	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,791,439	0	0	0	0	△10,791,439	0	△10,791,439	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△10,791,439	0	0	0	0	△10,791,439	0	△10,791,439	
	徴収不能額	30,000	0	0	0	0	30,000	0	30,000	
	徴収不能額	30,000	0	0	0	0	30,000	0	30,000	
	徴収不能引当金繰入	212,530	0	0	0	0	212,530	0	212,530	
	徴収不能引当金繰入	212,530	0	0	0	0	212,530	0	212,530	
	サービス活動費用計(2)	407,361,266	53,361,234	0	0	108,558	460,831,058	0	460,831,058	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△8,744,708	5,683,438	0	0	△108,558	△3,169,828	0	△3,169,828	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	1,896,239	278,347	0	0	0	2,174,586	0	2,174,586
		借入金利息補助金収益	1,896,239	278,347	0	0	0	2,174,586	0	2,174,586
		受取利息配当金収益	326	48	0	0	2	376	0	376
		受取利息配当金収益	326	48	0	0	2	376	0	376
		その他のサービス活動外収益	1,805,851	259,923	0	0	0	2,065,774	0	2,065,774
		利用者等外給食収益	1,377,978	202,272	0	0	0	1,580,250	0	1,580,250
		雑収益	427,873	57,651	0	0	0	485,524	0	485,524
	サービス活動外収益計(4)	3,702,416	538,318	0	0	2	4,240,736	0	4,240,736	
	費用	支払利息	8,813,473	1,293,721	0	0	0	10,107,194	0	10,107,194
		支払利息	8,813,473	1,293,721	0	0	0	10,107,194	0	10,107,194
		その他のサービス活動外費用	2,719,401	335,939	0	0	0	3,055,340	0	3,055,340
		利用者等外給食費	2,288,581	335,939	0	0	0	2,624,520	0	2,624,520
		雑損失	430,820	0	0	0	0	430,820	0	430,820
		サービス活動外費用計(5)	11,532,874	1,629,660	0	0	0	13,162,534	0	13,162,534
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		△7,830,458	△1,091,342	0	0	2	△8,921,798	0	△8,921,798	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△16,575,166	4,592,096	0	0	△108,556	△12,091,626	0	△12,091,626		

積立金・積立資産明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 法人本部

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	22,000,000			22,000,000	
計	22,000,000	—	—	22,000,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	8,646,009	3,383,519	409,894	11,619,634	退職給付引当金に対応し積立
保険積立資産	52,023,840	3,738,240		55,762,080	役員退職慰労引当金に対応し積立
運営資金積立資産	22,000,000			22,000,000	
計	82,669,849	7,121,759	409,894	89,381,714	

積立金・積立資産明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 一宮キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	83,948,000	27,000,000	1,898,000	109,050,000	
計	83,948,000	27,000,000	1,898,000	109,050,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	25,867,292	6,151,690	11,490,240	20,528,742	退職給付引当金に対応し積立
運営資金積立資産	83,948,000	27,000,000	1,898,000	109,050,000	
計	109,815,292	33,151,690	13,388,240	129,578,742	

積立金・積立資産明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 宝塚キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
運営資金積立金	45,200,000	19,000,000		64,200,000	
計	45,200,000	19,000,000	—	64,200,000	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	23,317,633	6,068,728	2,880,580	26,505,781	退職給付引当金に対応し積立
運営資金積立資産	45,200,000	19,000,000		64,200,000	
計	68,517,633	25,068,728	2,880,580	90,705,781	

積立金・積立資産明細書

(自) 2021年 4月 1日 (至) 2022年 3月 31日

社会福祉法人名 正久福社会
拠点区分 神戸キャンパス

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
	-			-	
計	-	-	-	-	

(単位:円)

区分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付引当資産	11,468,273	3,341,607	1,295,847	13,514,033	退職給付引当金に対応し積立
計	11,468,273	3,341,607	1,295,847	13,514,033	

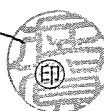
監査報告書

2022年6月14日


社会福祉法人正久福祉会

理事長 上田 芳史 殿

監事

在賀孝介 

監事

上垣 博 

私たち監事は、2021年（令和3年）4月1日から2022年（令和4年）3月31日までの2021年度（令和3年度）の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

社会福祉法人正久福祉会
理事長 上田 芳史 殿

R S M 清 和 監 査 法 人

神戸事務所

指定社員 公認会計士
業務執行社員

坂井 浩史

指定社員 公認会計士
業務執行社員

高橋 潔弘

<計算関係書類監査>

監査意見

当監査法人は、社会福祉法第45条の28第2項第1号及び社会福祉法施行規則第2条の30第1項の規定に基づく監査に準じて、社会福祉法人正久福祉会の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021会計年度の計算関係書類（社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表、同項第2号イ（1）に規定する法人単位資金収支計算書、同号ロ（1）に規定する法人単位事業活動計算書及び社会福祉法人会計基準第29条第1項に規定する法人全体についての計算書類に対する注記並びにそれらに対応する附属明細書（社会福祉法人会計基準第30条第1項第1号から第3号まで及び第6号並びに第7号に規定する書類に限る。）の項目をいう。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書、計算関係書類のうち監査意見の対象とされていない部分並びに、財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の遂行を監視することにある。

当監査法人の計算関係書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算関係書類監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算関係書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、社会福祉法第45条の19第2項及び社会福祉法施行規則第2条の22の規定に基づく監査に準じて、社会福祉法人正久福祉会の2022年3月31日現在の2021会計年度の財産目録（社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠するとともに、法人単位貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

2022年度(令和4年度) 社会福祉法人正久福祉会カレンダー

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	金 入職式	1	日	1	水	1	金	1	月	1	木	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水	1	水
2	土	2	月	2	木	2	土	2	火	2	金	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木	2	木
3	日	3	火	3	金	3	日	3	水	3	土	3	月	3	木	3	土	3	火	3	金	3	金
4	月	4	水	4	土	4	月	4	木	4	日	4	火	4	金	4	日	4	水 新年互礼会	4	土	4	土
5	火	5	木	5	日	5	火	5	金	5	月	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日	5	日
6	水	6	金	6	月	6	水	6	土	6	火	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月	6	月
7	木	7	土	7	火	7	木	7	日	7	水	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火	7	火
8	金	8	日	8	水	8	金	8	月	8	木	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水	8	水
9	土	9	月	9	木	9	土	9	火	9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木	9	木
10	日	10	火	10	金	10	日	10	水	10	土	10	月	10	木	10	土	10	火	10	金	10	金
11	月	11	水	11	土	11	月	11	木	11	日 スマイルフェスティバル(宝塚)	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土	11	土
12	火	12	木	12	日	12	火	12	金	12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日	12	日
13	水	13	金	13	月	13	水	13	土	13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月	13	月
14	木	14	土	14	火 監事監査(10:00~) 理事会(13:00~)	14	木	14	日	14	水	14	金	14	月	14	水	14	土	14	火	14	火 理事会(10:00~)
15	金	15	日	15	金	15	金	15	月	15	木	15	土	15	火	15	木	15	日	15	水	15	水
16	土	16	月	16	水	16	土	16	火	16	金	16	日	16	水	16	金	16	月	16	木	16	木
17	日	17	火	17	木	17	日	17	水	17	土	17	月	17	木	17	土	17	火	17	金	17	金
18	月	18	水	18	金	18	月	18	木	18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土	18	土
19	火	19	木	19	土	19	火	19	金	19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日	19	日
20	水	20	金	20	日 賞与支給日	20	水	20	土 盆会(一宮)	20	火	20	木	20	日	20	火 賞与支給日	20	金	20	月	20	月
21	木	21	土	21	月 賞与支給日	21	木	21	日	21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火	21	火
22	金	22	日	22	火	22	金	22	月	22	木	22	土	22	火	22	木	22	日	22	水	22	水
23	土	23	月	23	水	23	土	23	火	23	金	23	日 秋祭り(神戸)	23	水	23	金	23	月	23	木	23	木
24	日	24	火	24	木	24	日	24	水	24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金	24	金
25	月	25	水 運営執行会議 経営再建会議	25	金	25	月	25	木	25	日	25	火	25	金	25	日	25	水 運営執行会議 経営再建会議	25	土	25	土
26	火	26	木	26	土	26	火	26	金	26	月	26	水 運営執行会議 経営再建会議	26	土	26	月	26	木	26	日	26	日
27	水	27	金	27	日	27	水 運営執行会議 経営再建会議	27	土	27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月	27	月
28	木 運営執行会議 経営再建会議	28	土	28	月	28	木	28	日	28	水 理事会(10:00~) 運営執行会議 経営再建会議	28	金	28	月	28	水 理事会(10:00~) 運営執行会議 経営再建会議	28	土	28	火 運営執行会議 経営再建会議	28	火
29	金	29	日	29	火	29	金	29	月	29	土	29	火	29	火	29	木 運営執行会議 経営再建会議	29	日	29		29	水 評議員会(10:00~) 運営執行会議 経営再建会議
30	土	30	月	30	水 評議員会(10:00~) 運営執行会議 経営再建会議	30	土	30	火	30	木	30	日	30	水	30	木	30	月	30		30	木
		31	火	31	木	31	日	31	水 運営執行会議 経営再建会議	31	金	31	月			31	土	31	火			31	金

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		法人本部
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福祉571番地
会議・委員会の種類		・評議員会 ・評議員選任解任委員会 ・理事会 ・運営執行会議 ・経営再建会議 ・業績・育成評価委員会 ・ホームページ検討委員会 ・育成・研修検討委員会 ・技術指導部会 ・外国人対策課会議 ・外国人労働者育成会議 ・外国人労働者生活指導会議 ・各専門部会（ケアマネ・相談・介護・給食・看護・事務）
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	介護職員のイメージアップ戦略	高等学校・職業訓練校等教育関係機関で福祉授業に参加し、福祉の仕事の楽しさ、社会的役割について説明し、介護職員のイメージアップを図る。
	福祉人材の育成	高等学校等に出向き、福祉に関する知識・技術など介護現場での実践等活かし、福祉に興味をもてるよう福祉教育する。
		高等教育機関において、福祉現場から福祉に対する興味・関心を持ってもらえる情報を基にした福祉教育で社会貢献する。
外国人人材の育成と対策	国内での介護人材の確保が困難なことから、外国人介護労働者に日本の介護技術・知識・精神等の情報を発信することで福祉の理解と人材確保に繋がる活動を行う。	
財務の視点	法人内の共通した契約の再確認・見直し	法人内共通の契約について、確認を行い、経費削減を行う。
	経営再建会議の運営	経営方針、経営戦略等の法人経営に係る決定を行うために、経営再建会議の全体会を定期的に開催し、また、必要に応じて、目的と人を絞った「内部監査」や「ワーキング」を立ち上げ実施する。
	予算管理ルールの見直し	当初予算、補正予算作成時の予算策定の基本ルールとなる「予算管理ルール」の見直しを行う。
	給与規程改定に係る原資確保の調整	最低賃金引上げ、同一労働同一賃金等の法制度の改正に合わせた、給与規程の改定を行うにあたり、その原資確保等についての調整を行う。
顧客の視点	介護スタッフの育成	新卒・中途採用者等日本人の介護スタッフ全般と外国人の介護スタッフの育成・研修等を検討する。
	共通様式並びに、重要事項説明書・契約書の見直し	各職種部会において、3キャンパス共通化可能な様式等の確認を行い、可能なものについて統一様式化を図る。また、相談員部会において重要事項説明書・契約書の見直しを行う。

業務プロセスの視点	介護保険制度改正への対応	当法人事業に関連する介護保険最新情報等を確認し、関係部署へ情報提供・対応依頼・調整を図る。 また、10月に予定されている介護報酬改定の情報収集・共有を図り、対応準備を進める。
	採用プロセスの活性化	各キャンパスの採用計画に沿った採用の実施。新卒でカバーできない場合は、速やかに中途採用などで対応する。
		採用コストの削減。新卒・ハローワーク・職業訓練校からの採用割合を増やし、有料紹介業者の利用件数をできる限り少なくして採用コストを抑える。
		役割分担（キャンパスと日本人採用担当課）の明確化。キャンパスの採用担当と日本人採用担当課の役割分担を明確化し、採用に掛かるキャンパス業務を効率化する。
		情報の収集と研究による提案。新規開拓。学校・企業訪問について、計画的に新規開拓を進める。また、人材確保に必要な研修、説明会への参加、さらに、時代に合った新しい採用方法を研究して提案し、人材確保に結び付ける。
	WEBの活用	ホームページリニューアルを検討・推進し、求職者及びご利用者獲得のツールとして有効活用する。
	人材育成の構築	業績・育成評価課とのキャリアパスに沿った段階的な人材育成についての連携。担当の委員会内で協議行う。
	管理団体・登録支援機関等との連携と精査	質の高い介護サービスが提供できる外国人労働者の採用に向けて技能実習管理組合、登録支援機関、日本語学校等からの情報を収集し採用に繋げる取り組みを行う。
	職種部会の活性化	各職種部会、取組テーマの明確化を図り、各キャンパス間の取組の統一を図る一助と成すべく、効果的な取り組みを行う。
	BCP作成の援助	各キャンパスで作成を進めているBCP（事業継続計画）について、キャンパスの独自性を活かしながら、キャンパス間の情報共有など、作成の援助を行う。
	介護現場でのICT活用の研究	介護現場でのICT活用について、各キャンパスと協調して、研究を行う。
	運営執行会議の運用	各事業所及び各課におけるガバナンスや内部統制の強化とリスクマネジメントを行い、予期せぬトラブル回避と法人全体の運用における効率化を図っていく。
人事評価制度の導入・実施の対応	見直しを行った（改定）人事評価制度の導入及び実施を行う。	
働き方改革、職員処遇改善への対応	働き方改革PJ、及び職員処遇改善PJの活動状況に沿った、業務プロセス変更への働き掛けや、各例規の見直しを行う。	

学習と成長 の視点	スキルアップ支援	介護福祉士取得者への支援を行う。
		外国人労働者に対して、各種の検定試験の受審者に対する学習支援を行う。
	職種部会への介護保険制度の情報共有	各職種部会へ、関連する介護保険情報・改正情報等、情報提供並びに、解説等を行い、共通した制度理解を図る。
	業務省力化	事務業務の更なる効率化を図る。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
法人本部

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	介護職員のイメージアップ戦略	高等学校・職業訓練校等教育関係機関で福祉授業に参加し、福祉の仕事の楽しさ、社会的役割について説明し、介護職員のイメージアップを図る。	①訪問回数 ②福祉授業回数	①120回 ②8回(前年度実績)	赤松	赤松	①学校・ハローワーク・企業等訪問する。 12か所(毎月)×10カ月=120か所 ②依頼がある都度実施する	
	福祉人材の育成	高等学校と連携し福祉に視点が持てるアプローチにより人材確保につなげ、法人PRも行う。	学校との連携	実施数	小林	小林	授業開始から終了まで	
		専門学校をはじめとする短大・大学等の高等教育機関からの要望に応え福祉教育を提供する。	依頼の内容	関り件数(人数)	出口	出口	授業開始から終了まで	
	外国人人材の育成と対策	グローバル人材の育成は、介護の技術知識だけでなく価値観の違い、慣習の違いなど相互理解の為に情報をアジア全域を視野に入れて発信することで人材確保のパイプ作りに繋げる。	関わった地域や内容	提言の作成	出口	出口		
財務の 視点	法人内の共通した契約の再確認・見直し	法人内共通の契約について、確認行い、経費削減を行う。	契約見直し・更新	更新の都度	高尾	事業・制度政策課	通年	
	経営再建会議の運営	経営方針、経営戦略等の法人経営に係る決定を行うことについて、 ・経営再建会議の全体会の定期的な開催 ・必要に応じて、目的と人を絞った「内部監査」や「ワーキング」の立ち上げと実施	経営再建会議の全体会の開催頻度と内容	定期的な充実した内容での開催回数	白井	運営執行局事務局	4月～随時実行	
	予算管理ルールの見直し	当初予算、補正予算作成時の予算策定の基本ルールについて、 ・「予算管理ルール」の見直しと実施	予算管理ルールの見直し状況	予算管理ルールの見直しの完了	白井	経営再建会議	4月～随時実行	
	給与規程改定に係る原資確保の調整	最低賃金引上げ、同一労働同一賃金等の法制度の改正に合わせた、給与規程の改定について、 ・給与改定の原資確保等についての調整 ・給与規程の改定	給与改定の原資確保の調整状況、及び給与規程改定の調整状況	改定給与規程の施行準備完了 (※次年度令和5年度4月実施予定)	白井 仁尾	法人事務局(働き方改革PJ)	4月～随時実行	
顧客の 視点	介護スタッフの育成	中途採用者の育成プログラムを築く	担当会議	実行回数	小林	小林	通年	
		介護職全般の育成・研修をキャリアパスに準じて進める流れを検討していく。	担当会議	実行回数	小林	小林	通年	
	外国人スタッフへの育成	特定技能生への研修の実施と各キャンパスの要望により必要な研修の実施。	実施内容	実施数	小林	小林 外国人対策課	通年	
	介護関連書類の整備	3キャンパス共通可能な介護関連書類・様式の確認と統一化。重要事項説明書・契約書の見直し	法人内様式・手続統一		高尾	事業・制度政策課	4月～随時実行	

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
法人本部

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
業務プロセスの視点	介護保険制度改正の情報収集	介護保険最新情報等を確認し、関係部署へ情報提供・対応依頼・調整を図る。	制度改正に向け迅速な対応		高尾	事業・制度政策課	4月～随時実行	
	介護報酬改正に伴う法令遵守事項の確認・関連書類の整備	10月に予定されている、報酬改定に関連する料金表等改定に伴う準備の他、関連書類の整備・見直しを行う。	法人内様式・手続統一		高尾	事業・制度政策課	4月～随時実行	
	採用プロセスの活性化	各キャンパスの採用計画に沿った採用の実施。新卒でカバーできない場合は、速やかに中途採用などで対応する。	訪問回数	120回	赤松	赤松	学校・ハローワーク・企業等訪問する。12か所(毎月)×10カ月=120か所	
		採用コストの削減。新卒・ハローワーク・職業訓練校からの採用割合を増やし、有料紹介業者の利用件数をできる限り少なくして採用コストを抑える。	訪問回数	120回	赤松	赤松	学校・ハローワーク・企業等訪問する。12か所(毎月)×10カ月=120か所	
		役割分担(キャンパスと日本人採用担当課)の明確化。キャンパスの採用担当と日本人採用担当課の役割分担を明確化し、採用に掛かるキャンパス業務を効率化する。	指定校の決定等 各キャンパスとの意見調整	随時調整	赤松	赤松	4月～随時実行 意見調整を図る(施設訪問・打ち合わせ)	
		情報の収集と研究による提案。新規開拓。学校・企業訪問について、計画的に新規開拓を進める。また、人材確保に必要な研修、説明会への参加、さらに、時代に合った新しい採用方法を研究して提案し、人材確保に結び付ける。	業務報告書(週次)・月次報告書において提案件数	随時提案	赤松	赤松	業務報告書において毎週報告。月次報告書において随時提案・報告 年2回(上期・下期)程度、採用業務に関する総括レポートを提出する。	
	WEB機能の活用	ホームページリニューアルを検討・推進し、求職者及びご利用者獲得のツールとして有効活用する。	委員会の開催	毎月(年12回)	仁尾 赤松	広報・日本人採用課	4月～随時実行	
	人材育成の構築	業績・育成評価課との連携を行いながら、介護職の進むべき流れを作成する。また、担当の委員会内で協議を行う。	担当会議	検討回数	小林	小林 業績・育成評価課	通年	
	管理団体・登録支援機関等との連携と精査	外国人労働者の就労管理及び継続雇用手続き(就労ビザ発給等)に関わる支援の連携を通して適正な労管理を実践していく。	担当者会議	検討回数	出口	出口 担当事務局		
	職種部会の活性化	各職種部会、取組テーマの明確化を図り、各キャンパス間の取組の統一を図る一助と成すべく、効果的な取り組みを行う。	職種部会	定例開催	法人事務局 高尾	法人事務局 高尾	通年	
BCP作成の援助	2024年義務化に向けて各キャンパスで作成を進めているBCP(事業継続計画)について、進捗確認を行う。キャンパスの独自性を活かしながら、キャンパス間の情報共有など、作成の援助を行う。	キャンパス間の情報共有・進捗確認	2024年義務化に向けた進捗援助	高尾	事業・制度政策課	4月～随時実行		
介護現場でのICT活用の研究	介護現場でのICT活用は、次期改定時に加算要件になると想定できるため、導入に向けて、各キャンパスと協調して、研究を行うなどの支援を行う。	活用研究の対応		高尾	事業・制度政策課	4月～随時実行		

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
法人本部

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
	運営執行会議の運用	運営執行会議の定期開催を行い、現状に即した課題解決とトラブル回避のための予防策の検討、法人内運用におけるスケールメリットを活かし、業務効率化を図る	書面回覧による対応も含めた毎月の開催	12回	上田	運営執行会議	4月から毎月実施	
	人事評価制度の導入・実施の対応	見直しを行った(改定)人事評価制度の導入及び実施について、 ・導入に伴う調整 ・実施に伴う調整	改定人事評価制度の実施	改定人事評価制度の実施完了	白井	業績・育成評価委員会	4月～随時実行	
	働き方改革、職員処遇改善への対応	働き方改革PJ、及び職員処遇改善PJについて、 ・活動状況に沿った、業務プロセス変更への働き掛け ・活動状況に沿った、各例規の見直し	各例規の見直しの状況	各例規の見直しの完了	白井 仁尾	法人事務局 (働き方改革PJ)	4月～随時実行	
学習と成長	資格取得支援	介護福祉士取得希望者に支援や情報提供等行う。	過去問等資料提供	合格数	小林	小林 各キャンパス窓口	8月頃より試験終了まで	
	スキルアップ支援	技能実習生の定期試験及び日本語能力の向上を目指す外国人労働者に対して任意支援(情報や資料提供)行う。	過去問題等の資料	検定合格者数	出口	出口 育成・研修課		
	職種部会への介護保険制度の情報共有	各職種部会へ、関連する介護保険情報・改正情報等、情報提供並びに、解説等を行い、共通した制度理解を図る。	職種部会	定例開催	法人事務局 高尾	法人事務局 高尾	通年	
	業務効率化	事務業務の更なる効率化を図る。	事務員人件費	前年比減	仁尾	事務部会	4月～随時実行	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門	特別養護老人ホームまどか園 まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1	
会議・委員会の種類	運営委員会、接遇向上委員会、苦情解決委員会、個人情報保護委員会、感染症対策、衛生委員会、盆踊り実行委員会、広報委員会、リーダー会議、給食会議、適正化委員会、口腔ケア委員会、入所計画委員会、サービス担当者会議	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	地域児童との交流会の実施	コロナ禍におけるふれあい活動の実現。
	地域のイベントとなる夏祭りの開催	ナーモ協賛からまどか園主催の変った盆会を開催する。
	地域を巻き込んだ防災訓練の実施	災害時緊急避難場所としてデイサービスを活用してもらえる体制づくり。非常時ボランティアとして支えていただける体制づくり。自治会と協定を結ぶ。
財務の視点	大型修繕に備えた当初予算の作成	老朽化した施設の修繕費を捻出できる予算の作成・過度にならない執行。
	新たな加算取得に向けての体制づくり	科学的介護体制加算を上半期・褥瘡加算を下半期に取得する。
	新規利用者の獲得	他社のケアマネの利用割合60%以上とする。
顧客の視点	個別機能訓練の介護員での実施（レクリエーションも兼ねた）	機能訓練指導員を中心に計画を日々の介護で実現する。マニュアルを作成し個別化していく。
	水分摂取量の増加	一日の水分摂取量800CCを介護・看護・厨房の3部署共通のとして取り組む。
	ホームページによる情報の発信	行事・日々の様子を細かくホームページにアップし、ご家族に対する情報発信をする。
	食事の工夫のアピールし満足度調査を実施する。	厨房からの料理の工夫点をご利用者にアナウンスし、ご利用者の満足度の調査を実施する。
	皮膚のトラブルを減らす	皮膚トラブルの御利用者を5名以内とする。①3か月に1回褥瘡評価表をもとに見直しを行う。②2か月に1回の褥瘡委員会で現状報告を報告。
業務プロセスの視点	ほのぼのの記録の充実	生活記録の入力を充実する。居室担当の役割を果たし利用者の様子、希望を入力する。
	リフト・ロボットによる負担軽減の研究	先にリフト浴を導入された宝塚を参考にしつつ、ご利用者、職員が安心して負担なく介護のできる体制を研究し導入する。
	年次有給休暇の取得日を10日以上とする	年次有給休暇の連続取得する為の事前申請ルールを試行を行い、確立する。
学習と成長の視点	キャリアアップに向けての個々の職員の学習目標をもつ。	各個人がキャリアアップの為に必要な研修項目を自覚し、考課目標に設定し取得する。自分に必要な職能要件を明確にし目標として持つ。
	技能実習生・特定技能の育成	技能実習生については専門級の合格。3年間積み重ねた法人の経験と現場の経験の一つにして夜勤を任す事のできる人材の育成を行う。
	機能訓練の充実に向けた勉強会の開催	現場におけるミニ勉強会を各フロアで開催し、職員が機能訓練の知識を習得する。
	メディアパスを活用した園内研修の実施	メディアパスを活用しと職員の学びたい内容を組み込んだ園内研修を実施する。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
特別養護老人ホームまどか園・まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点 貢献	地域児童との交流会の実施	コロナ禍におけるオンラインを使用したふれあい活動の実現。	開催回数	年間5回	和田	中島	オンラインを使用したコロナ禍においてもできるふれあい活動を実施する。	
	地域のイベントとなる盆会の開催	ナーモ協賛からまどか園主催に変わった盆踊りの開催する。	委員会の稼働	4月からの開催	当初上山 委員会開催 後委員長	副委員長	従来ナーモ協賛の盆会の開催であったが、まどか園主催として行う。4月から委員会を開催し、6月ナーモ理事会に計画書を提出する。	
	地域を巻き込んだ防災訓練の実施	災害時緊急避難場所としてデイサービスを活用してもらえ体制づくり。ボランティアとして支えていただけ体制づくり。自治会と協定を結ぶ。	今日協定書の締結	6月までに締結	上山	小田	災害時緊急避難場所としてデイサービスを使用いただき、ボランティアとして施設を助けていただける体制を作る。自治会と協定書を結ぶ。	
財務の視 点	大型修繕に備えた当初予算の作成	老朽化した施設の修繕費を捻出できる予算の作成・過度にならない執行。	修繕費支出	予算内での執行	上山	小田	老朽化施設の応急的な修理に対応し、過度にならない修繕を行う。	
	新たな加算取得に向けての体制づくり。	科学的介護体制加算は上半期に褥瘡加算を下半期に取得する。	加算算定	加算算定	和田	川上	科学的介護体制加算5月届出・6月から加算取得 褥瘡加算9月届出・10月から加算算定する。	
	新規利用者を獲得する窓口を広げる。	他社マネの利用割合60%以上とする。	利用状況実績報告書	60%以上	中島	和田	他社マネの利用率を10%アップして60%以上とし新たな利用者の獲得を行う。	
顧客の視 点	個別機能訓練の介護員での実施(レクリエーションも兼ねた)	機能訓練指導員を中心に計画を日々の介護で実現する。マニュアルを作成し個別化していく。	記録入力	個別入力一括記録	森上	武田 川上	2021年度から始まった個別機能訓練指導を日々の介護に落とし込み実行する。個別にマニュアルを作成する。	
	水分摂取量の増加する。	一日の水分摂取量800CCを介護・看護・厨房の3部署共通の達成目標として取り組む。	水分摂取量	800CC	武田	川上 船積千	一日の水分摂取量を増やす為に4月主任会議の開催。目標値を達成・継続を行う。	
	ホームページによる情報の発信	まどか園での生活に関する様子を随時ホームページで発信する。	更新回数	12回以上	下川	事務員	ホームページにおいて絶えず情報を更新し、ご家族・入職希望者が新たな情報を確認できる発信を行う。	
	食事の工夫のアピールし満足度調査を実施する。	厨房からの料理の工夫点をご利用者にアナウンスしご利用者満足度の調査を実施する。	紹介回数 調査回数	4回/月 12回	船積千	調理員	厨房からの料理の工夫点をご利用者に調理員自らマイクを持ちアナウンスを行う。その上で満足度の調査を実施する。	
	皮膚のトラブルを減らす	皮膚トラブルの御利用者を5名以内とする。①3か月に1回褥瘡評価表をもとに見直しを行う。②2か月に1回の褥瘡委員会で現状報告を報告。	皮膚トラブル利用者数	月5名以内	川上	看護師	皮膚トラブルの御利用者を5名以内とする。①3か月に1回褥瘡評価表をもとに見直しを行う。②2か月に1回の褥瘡委員会で現状報告を報告。	
業務プロ セスの視 点	ほのぼの記録の充実	生活記録の入力を充実する。居室担当の役割を果たし利用者の様子、希望を入力する。	入力件数	60回/月	池上	武田	毎月入力件数を張り出し各自自覚をもって入力していく。(受け持ち居室の利用者に寄り添う)	
	リフト・ロボットによる負担軽減の研究・導入・開発	先にリフト浴を導入された宝塚を参考にしつつ、ご利用者、職員が安心して負担なく介護のできる体制を研究し導入する。	勉強会回数 導入	リフト浴下半期 導入・ロボット次 年度導入	中野	上川	介護の負担軽減を目指してリフト・ロボットの研究し、リーダー会議での情報を共有し、導入機種を選定して助成金の申請を行う。	
	年次有給休暇の取得日を10日以上とする	年次有給休暇の連続取得する為の事前申請ルールの試行を行い、確立する。	有給取得日	10日以上	武田	各主任	年間の取得日数を確認しながら計画的に取得し平均した取得日数を一人12日以上目標を達成する。	
	技能実習生・特定技能の育成	技能実習生については専門級の合格。3年間積み重ねた法人の経験と現場の経験の一つにして夜勤を任す事のできる人材の育成を行う。	専門級合格者 夜勤のできる特 定技能の育成	3人 入国時期により 変動	田中	山本 千本	技能実習生については専門級の合格に向けた学習、そして試験。入国できた特定技能が夜勤が一日でも早くできるように育成する。	
学 習の視 点 成長	キャリアアップに向けての個々の職員の学習目標をもつ。	各個人がキャリアアップの為に必要な研修項目を自覚し、考課目標に設定し取得する。自分に必要な職能要件を明確にし目標として持つ。	考課者勉強会	上半期1回	上山	一次考課者	上半期に考課者研修を実施し、職員がキャリアアップの為に自分に必要な目標を設定できるようにする。	
	機能訓練の充実に向けた勉強会の開催	現場におけるミニ勉強会を各フロアで開催し、職員が機能訓練の知識を習得する。	勉強会開催回数	毎月1回	森上	武田	各フロアにおけるミニ勉強会を月1回行う。	
	メディアバスを活用した園内研修の実施(格付け要素も含む)	メディアバスを活用し職員が学びたい内容を組み込んだ園内研修を実施する。	研修の開催回数	年間6回	上山	中野	法令研修の別に職員が学びたい内容を園内研修に組み込む。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		まどか園在宅介護支援センター
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1065番地
会議・委員会の種類		部署長会議、運営委員会、衛生委員会、感染症対策委員会、居宅事業所会議、盆会委員会、地域包括ケア会議、自立支援サポート会議、事業所連絡会、介護支援専門員部会、宍粟市ケアマネ連絡会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	包括的に日常生活を支援	必要に応じて、多様な社会資源を活用して利用者の日常生活全般を支援するサービスが包括的に提供されるような居宅サービス計画を作成します。
	事業所周辺地域に根差した支援	一宮全域、特に一宮北部の利用者を中心に新規受入対応し、住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるようにします。
	地域に開かれた居場所づくり	地域高齢者の介護予防・閉じこもり予防を目的としミニデイサービス開催します。また、要介護状態となった時でも介護保険サービス導入相談がしやすい関係をつくります。
財務の視点	財政再建への対応	特定事業所加算算定に向け、上期準備、下期算定を目標とします。 介護4月99件から3月121件に受持ち件数増やす、要支援15件維持します。
	ミニデイサービス利用者数の安定	感染症を予防しながら、ミニデイサービス利用者月平均45名利用し安定した事業提供をします。
	法人事業所の財務安定	まどか園ヘルパーステーション、まどか園ショートステイ利用割合を50～79%目標とし法人事業所のまどか園財務安定にも貢献します。
顧客の視点	クレームをなくす。	ヒヤリ・ハット報告徹底、情報分析し問題を見える化し、クレームにならないようにします。
	公平中立なケアプランの策定	中立公正を確保し、必要に応じて法人事業所だけでなく他法人事業所の情報も提供し、利用者・家族が選択できるようにします。
	連携・信頼性の強化	24時間、常時、携帯電話等により連絡可能な体制を確保し、必要に応じて利用者の相談に対応できる体制を確保します。
業務プロセスの視点	災害時事業継続できる体制づくり	個別支援計画作成促進事業に基づき計画作成し、避難行動要支援者の避難訓練を地域包括・自治会協力のもと、実施します。
	感染症事業継続できる体制づくり	感染症の最新情報を確認し、感染症発生時における業務継続計画を整備、感染症予防研修を行います。
学習と成長の視点	居宅内の連携強化	事業所内会議を定期的で開催し、利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達などできるようにします。
	介護支援専門員更新研修等の受講	介護支援専門員更新研修2名、主任介護支援専門員更新研修1名受講します。
	スキルアップを目的とした研修参加	スキルアップを目標とし、定期的に研修に参加します。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
まどか園在宅介護支援センター

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	包括的な居宅サービス計画作成	必要に応じて、多様な主体社会資源を活用し提供されるサービスを調整し計画を作成。	計画書作成数	計画書新規作成・見直し毎	平岩	ケアマネ全員	計画書新規作成、見直し毎に必要なに応じてフォーマルサービスだけでなくインフォーマルサービスも調整する。	
	事業所の地元、関係者からの紹介の利用者受入	一宮全域、特に一宮北部の利用者を中心に新規受入対応。	新規相談都度	月2件	平岩	ケアマネ全員	新規相談時、受入し対応していく。受け持ち件数が増えた場合でも減算対象にならない限り一宮北部利用者は受入する。	
	介護予防事業実施	ミニデイサービス開催。ミニデイサービス利用者介護相談受付。	開催回数	月4回	平岩	ケアマネ全員	週1回ミニデイサービス開催。ミニデイサービス利用者介護相談あれば受付し会後申請など対応していく。	
財務 の 視点	財政再建への対応	特定事業所加算算定、受持ち件数増。	特定事業所加算算定	介護受持ち平均110件/年	平岩	ケアマネ全員	上期準備期間(書類、研修計画、気づきの事例検討会参加、地域ケア会議事例検討など)、下期加算算定。	
	ミニデイ利用者数確保	ミニデイ定期利用者数維持。	利用者数	月平均45名利用	平岩	ケアマネ全員	利用者数をみながら新規利用者増も地域包括支援センターに依頼し利用者数を確保する。	
	法人事業所への導入	まどか園ヘルパーステーション、まどか園ショートステイ利用割合維持。	利用割合	50～79%	平岩	ケアマネ全員	訪問介護、ショートステイ、入所相談があれば法人事業所紹介。上期・下期ともに利用割合50%以上調整する。	
顧客 の 視点	クレームをなくし、居宅介護支援事業所変更をなくす。	利用者・家族とのやりとりでまずいと思う瞬間、言葉遣い、相手の顔色などをヒヤリハットにて報告分析をおこなう事でクレームをなくす。	クレーム数、居宅事業所変更数	クレーム0、居宅事業所変更0	平岩	ケアマネ全員	些細なことでもヒヤリハット報告を作成し分析し、クレームや居宅事業所変更につながらないようにする。	
	公平中立なケアプランの策定	利用者・家族が選択できる情報提供をする。	計画書作成数時利用割合交付	計画書新規・更新作成毎	平岩	ケアマネ全員	計画書新規作成、見直し毎に公平中立な立場であることを説明し、必要な情報を提供する。	
	連携・信頼性の強化	連絡可能な体制を確保し、必要に応じて利用者の相談に対応。	特定事業所加算算定算定後	毎月輪番制	平岩	ケアマネ全員	特定事業所加算算定後は輪番制で24時間連絡可能な体制を確保する。	
業務 プロセス の 視点	災害時事業継続できる体制づくり	個別支援計画作成、避難行動要支援者の避難訓練を実施。	避難行動要支援者の避難訓練	年2回	平岩	ケアマネ全員	寒くなる12月までに避難訓練対象地域利用者を中心に、避難行動要支援者の避難訓練を地域包括・自治会協力のもと年間2名以上は実施する。	
	感染症事業継続できる体制づくり	感染症発生時における業務継続計画を整備。	業務継続計画作成	2022年度内	平岩	ケアマネ全員	感染症最新情報に合わせて年度内には感染症の事業継続計画を作成する。	
		感染症予防研修実施。	研修実施回数	年2回	平岩	ケアマネ全員	事業所内研修を年2回は実施する。	
学習 の 視点 と 成長	居宅内の連携強化	事業所内会議を定期的に行う。	会議開催数	月1回から加算算定後週1回	平岩	ケアマネ全員	事業所内会議月1回開催継続し、加算算定後は週1回開催し、処遇困難ケース検討、社会資源の状況、制度、苦情対応など共有する。	
	研修等の受講	介護支援専門員更新研修2名、主任介護支援専門員更新研修1名受講。	研修受講者数	3名	平岩	ケアマネ全員	年度内に介護支援専門員更新研修2名、主任介護支援専門員更新研修1名受講。	
	スキルアップを目的とした研修参加	事業所内研修、地域包括支援センター、宍粟市保健福祉課、宍粟市ケアマネ会が主催する研修に参加。	研修回数	月1回	平岩	ケアマネ全員	月1回程度、事業所内や宍粟市などが開催する研修に参加する。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		まどか園ヘルパーステーション
所在地		兵庫県宍粟市一宮町福知1030番地1
会議・委員会の種類		部署長会議・運営委員会・感染症対策委員会・衛生委員会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	事業継続計画の作成	感染症の影響が少なく、災害時にも事業が継続できる計画を作成し在宅生活を支援する。
	地域交流を兼ねた施設行事に参加	地域と繋がる事の出来る盆会に、感染症対策を講じて積極的に参加する。
財務の視点	財政再建への対応	一宮南部地区件数増加を目指し居宅へアピールする。
		公用車の有効活用を行い経費削減を行う。
	待機時間の活用	訪問介護員の待機時間を活用し他部署との連携を図る。
顧客の視点	看取り介護を強化	増加傾向の看取り介護に対応できる職員を増やす。
	利用者の意向の実現	時間帯によっての人員不足を解消し意向に沿った訪問を目指す。
業務プロセスの視点	ほのぼの活用の充実	ほのぼのの使用を指導を強化していく事で業務分担を図る。
	計画的な有給消化	長期休暇が取得できる勤務への体制作りを目指す。
学習と成長の視点	メディパスアカデミーを活用した研修	園内研修で訪問介護に特化した研修を受ける事で専門性を強化する。
	看取り介護研修の継続	定期研修を行い訪問時の職員の不安を軽減していく。
	事業継続計画の研修・訓練の確立	事業継続計画の意味や必要性を勉強できる環境を整える。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
まどか園ヘルパーステーション

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	事業継続計画の作成	感染症の影響が少なく、災害時にも事業が継続できる計画を年度内に完成させる。	計画の作成	計画の完成	檀山	檀山	特養作成の計画と他の法人の作成分を参考にし事業継続計画を作成する。	
	地域交流を兼ねた施設行事に参加	地域と繋がる事のできる盆会に感染症対策を講じて参加する。	行事参加	1回参加	檀山	春田	盆会に参加出来るよう勤務を調整する。	
財務の 視点	財務再建への対応	一宮南部地区件数増加を目指し居宅へ営業を強化する。	訪問件数増	月500件	檀山	檀山	地域包括支援センター、社協いちのみやへ空き状況を送る。	
	財務再建への対応	公用車の有効活用を行い経費削減を目指す。	私用車借上げ金削減	20%の削減	檀山	檀山	公用車使用のルールを決めて私用車借上げ金の削減につなげる。	
	他部署との連携	コロナ禍の状況考慮しつつ、可能な限り訪問介護員の待機時間を活用し他部署との連携を図る。	他部署応援	待機時間の活用	檀山	春田	感染状況を踏まえて施設長と相談し空き時間又は曜日で他部署を応援できるようにする。	
顧客の 視点	看取り介護を強化	増加傾向にある看取り介護に対応できる職員を増やす。	対応職員増	2人→4人	檀山	春田	看取り介護の訪問依頼があれば、同行訪問を計画し対応できる職員を増やす。	
	利用者の意向の実現	時間帯よっての発生する人員不足を解消する為、求人募集を行う。	登録ヘルパー増	登録ヘルパー1人増員	檀山	檀山	16時以降の人員不足を解消できる様に求人募集を行う。	
業務の 視点 プロセス	ほのぼの活用の充実	ほのぼのの使用の指導を強化していく事で業務負担を図る。	業務分担	利用者管理ができる	檀山	春田	常勤介護員が提供表、保険証のほのぼの登録、そして内部ケアマネとの連絡が年度内にできるように指導していく。	
	計画的な有給消化	長期休暇取得できる訪問スケジュールを組む。	同行訪問を増やす	連続4日以上有給取得	檀山	檀山	取得中に担当外の訪問ができるように可能な限り同行訪問を増やす。	
学習と 成長 の 視点	メディパスアカデミーを活用した研修	園内研修やヘルパー研修で訪問介護内容を受講していく。	研修回数	月1回視聴	春田	春田	訪問スケジュールで視聴予定をたて1人でも研修できるようにする。	
	看取り介護研修の継続	定期研修を行い訪問時の職員の不安を軽減していく。	研修回数	奇数月に1回開催	檀山	檀山	前年度同様、看取り介護研修に特化したZOOM研修を行う。	
	事業継続計画の研修・訓練の確立	事業継続計画の意味や必要性を理解できる。	研修環境を決める	研修環境を決める	檀山	檀山	特養の研修や委員会を活用し勉強できる環境を整える。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門	グループホームまどか園 まどか園デイサービスセンター（休止中）	
所在地	兵庫県宍粟市一宮町福知1029番地	
会議・委員会の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・西担当者会議 ・東担当者会議 ・全体会議 ・運営推進会議（身体拘束適正化委員会） ・パート会議 ・運営委員会 ・衛生委員会 ・感染症対策委員会 ・口腔ケア委員会 ・給食会議 ・職責者会議 	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の視点	効率的なサービス利用促進	GH利用者と、ショートの利用者を、適宜に入れ替えができるように特養担当者と調整を行う。
	地域交流の促進	運営推進会議の継続的な開催をすることにより、地域での情報を知り、コロナ禍が終息した時には地域行事に参加できるよう道筋を作る。
	サービス利用の情報提供	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換を行い、地域への情報提供へ繋げる。
財務の視点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的に実施し、稼働率安定を図る。
		常勤職員・夜勤専従職員の確保すると同時に介護報酬の取得可能な加算は、積極的に申請する。
		パウチ食の導入により、介護業務と生活支援業務を一体化し、人件費の削減を図る。
顧客の視点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う。
	GHの対象者への情報提供	地域の居宅介護支援事業所や民生委員にグループホームまどか園の入居に関する情報を定期的に提供する。
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報をキャンパス内で情報共有を行う。
業務プロセスの視点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを行う。
	介護関連無資格者に資格取得の勧奨	介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行う。
	業務の見直しの実施	介護業務と生活支援業務を一本化し、全ての職員が、すべての業務を行えるようにしていく。
学習と成長の視点	認知症研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を隔月に開催する。
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と将来的に介護福祉士資格を取得出来るように支援を行う。
	園内研修への参加	園内研修に積極的に参加し、法令で定められた研修を必ず受講できるように配慮する。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
グループホームまどか園・まどか園デイサービスセンター(休止中)

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	効率的なサービス利用促進	GH利用者と、ショートの利用者を、適宜に入れ替えができるように特養担当者と調整を行う。	人数	年間3名	岩崎	岩崎	GH利用者で特養移動可能者の順位付けを行い、特養待機者やロングショート利用者との入れ替えの調整を積極的に行う。	
	地域交流の促進	運営推進会議の継続的な開催をすることにより、地域での情報を知り、コロナ禍が終息した時には地域行事に参加できるよう道筋を作る。	実施回数	6回	岩崎	栢橋	コロナ禍が終息後、福知運動会・ふれあい喫茶・秋祭り等、地域で開催される行事等を運営推進会議等で情報収集し、積極的に参加していく。	
	地域密着型サービス事業所との連携の強化	市内4箇所のGHでの連携を続け、情報の交換を行い、地域への情報提供へ繋げる。	実施回数	3回	岩崎	栢橋	宍粟市GH連絡会に参加し、情報交換や情報発信を行い、キャンパス内や地域への情報提供につなげていく。	
財務 の 視点	財政再建への対応	稼働率を安定させるため、待機者確保と特養との連携移動を積極的に実施し、稼働率安定を図る。	稼働率	平均稼働率 99.7%	岩崎	栢橋	体調変化が見られた時は、特養連携看護師に連絡し対応する。入院になった場合は、病名と予後を判断し、利用者入替を行い、空きベッド減少に務める。	
		介護報酬の取得可能な加算は、積極的に申請する。	加算数	1つの加算	岩崎	栢橋	人員配置基準等から職員体制を鑑み、新たな加算算定を申請する。	
		パウチ食の導入により、介護業務と生活支援業務を一体化し、人件費等の削減を図る。	時間数	月200時間	栢橋	柴原	生活支援パートの月の勤務時間数を減らしていく。	
顧客 の 視点	4DASの促進	ご家族面会時に情報収集・提供を行う。	4DASシート数	18名	栢橋	柴原	ご家族面会時に居室担当者が、GHの暮らしの様子の提供時に情報収集・提供を行う。	
	GHに最適な対象者の情報提供	地域の居宅介護支援事業所や民生委員にグループホームまどか園の入居に関する情報を定期的に提供する。	提供回数	3回以上	岩崎	柴原	地域の居宅介護支援事業所や民生委員へグループホームまどか園の入居に関する情報を定期的に提供する。	
	キャンパス内の情報共有	入所待機者・潜在利用者情報を部門長会議にて情報共有を行う。	共有回数	12回以上	岩崎	栢橋	キャンパス内での利用者の情報提供を部門長会議にて行う。	
業務 プロセス の 視点	緊急時対応の整備	一宮キャンパス事業継続計画に積極的に参画して、入居者が安心して暮らせる体制作りを行う。	計画参画	年3回	岩崎	栢橋	年4回、計画の周知と防火訓練時に再度確認をする。	
	職員採用と無資格者に資格取得の勧奨	常勤職員・夜勤専従職員の確保すると同時に、介護保険制度に基づき、積極的に介護関連資格取得の支援を行う。	人員数	2名以上	岩崎	栢橋	2年間の経過措置があるが、シフトや行事などを考慮して、順次実施していく。国の研修と初任者研修とを比較して、良い方に参加する。	
	業務の見直しの実施	介護業務と生活支援業務を一本化し、全ての職員が、すべての業務を行えるようにしていく。	会議回数	10回以上	栢橋	柴原	勤務時間の変更と試行を行い、利用者に寄り添った業務ができるようにシフトの見直しを行うと同時に業務の見直しも行っていき、会議で意思疎通を図る。	
学習 の 視点 と 成長	認知症研修の継続実施	GH内での認知症勉強会を隔月開催する。	回数	6回以上	岩崎	栢橋 柴原	隔月に定期開催を行う。	
	介護福祉士の養成	実務者研修への受講支援と将来的に介護福祉士資格を取得出来るように支援を行う。	人数	1名以上	栢橋	岩崎	1名以上の職員が介護福祉士受験できるように業務上の配慮等を行う。	
	園内研修への参加	園内研修に積極的に参加し、法令で定められた研修を必ず受講できるように配慮する。	延べ参加人数	18名以上	栢橋	柴原	2カ月に1回実施される園内研修を聴講し、日常の業務に活かしていく。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		特別養護老人ホーム宝塚まどか園 宝塚まどか園ショートステイ
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		<ul style="list-style-type: none"> ●会議 運営執行会議、経営改善会議、運営会議、介護主任リーダー会議、介護リーダー会議、給食会議 ●委員会 入居計画委員会、感染症対策委員会、事故防止検討委員会、機械安全対策委員会、身体的拘束適正化検討委員会、高齢者虐待防止委員会、褥瘡対策委員会、広報委員会、衛生管理委員会、医行為安全対策委員会、災害対策委員会、LIFE検討プロジェクト ●外部 県老協（阪神ブロック）、宝塚市介護保険事業者協会、社会福祉法人連絡協議会、ボランティアセンター（社会福祉協議会）、美座コミュニティ運営委員会、防災対策委員会（コミュニティ美座）、ネットワーク会議、福祉避難所連絡協議会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	まどかブランドの構築	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナ禍終息後の安心ほっとステーションとしての機能回復。 ②各種団体（自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会）との連携を深める。
	地域住民の居場所作り	<ul style="list-style-type: none"> ①こども食堂の実施。 ②いきいき百歳体操の会場提供。 ③トライやるウィークの受入れ。
	喫茶の再開	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナ禍終息を見込み、喫茶担当職員の確保。 ②喫茶営業のための資格研修受講。 ③喫茶再開に向けた調整の実施。
財務の視点	科学的介護への取り組み	<p>「ほのぼの」のLIFEのデータを活用し、利用者の状態像の変化を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①LIFE検討委員会を開催。 ②科学的介護推進体制加算の算定開始。 ③フィードバックデータから状態維持のためのケア模索。
	稼働率の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ①新規顧客の開拓。 ②緊急ショート受け入れ条件を整備する。 <p>入院者減少への取り組み。 重大事故の削減への取り組み。</p>
	水道光熱費の経費節減策の研究	<ul style="list-style-type: none"> ①冷暖房の効果的な使用方法の研究。 ②水道使用の効果的な削減方法の研究。
顧客の視点	行事再開に向けた取り組み	コロナ禍で休止した行事の再開を行う。
	ノーリフティングケアの実施	<p>介護機器を導入し、業務の改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入浴リフトの使用。 ②移乗リフトの使用。 ③スライディングボード・シートの使用。
	面会再開に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ①居室やトイレ、寮母室の清掃の組内ルール徹底。 ②起床後の保清と身支度の徹底。 ③面会を知らない職員への指導。

業務プロセスの視点	介護職の体制を強化	①フロア間の調整役として統括主任体制を実現する。 ②申し送り方法の課題を再分析し、有効な方法を検討する。 (新人や外国人労働者を戦力視する上で、新たな申し送り方法を検討)
	I C T導入の研究	I C T機器の研究を行い2023年度導入機器を決定する。
	事業継続のための係内 ユーティリティ化	係内の担当の業務を複数理解することで業務継続計画に備える。
学習と成長の視点	介護リーダー・サブリーダーの研修	①リーダー対象として、勤務表作成、勤怠管理、残業承認ルールを熟知した職員の育成研修の実施。 ②サブリーダー対象として、利用者状態像把握方法の研修。
	eラーニングを活用した、園内研修の体系化	年間研修計画を策定し、運営基準必須研修をできるだけeラーニングを組み込む。 研修受講の試験・レポートを全員実施する。
	資格取得者の増加	パートの介護職員を含め全員介護の資格を保有する。 介護福祉士資格保有者を増員する。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
特別養護老人ホーム宝塚まどか園・宝塚まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点	まどかブランドの構築	①コロナ禍終息後の安心ほっとステーションとしての機能回復。 ②各種団体(自治会・コミュニティ・学校・老人会・子ども会)との連携を深める。	各種会議、行事参加回数	会議、行事への参加	出水施設長	川元リーダー	・各種団体と連携した地域交流事業の継続的实施: 通年(コロナ禍終息後)。 ・美座コミュニティ会議、子ども食堂運営会議等定例会議、防災ネットワーク会議等に参加: 通年(コロナ禍終息後)	
	地域住民の居場所作り	①子ども食堂の実施。 ②いきいき百歳体操の会場提供。 ③トライやるウィークの受入れ。	①②実施回数 ③受入学校数	①月1回 ②毎週1回 ③受入2校	出水施設長	①津川相談員 西垣栄養士 ②③北野サブリーダー	①子ども食堂を月1回、土曜日に開催し、運営する。 ②いきいき百歳体操: 毎週月曜日、1階ホール提供。 ③トライやるウィークを5・6月に2校から受入れ。	
	喫茶の再開	①コロナ禍終息を見込み、喫茶担当職員の確保。 ②喫茶営業のための資格研修受講。 ③喫茶再開に向けた調整の実施。	喫茶営業	喫茶営業開始	出水施設長	植村栄養士	①8月以降コロナの状況を見て職員の募集を行う。 ②採用後、保健所の行う食品衛生責任者の資格研修受講。 ③栄養士より、喫茶営業方法についてOJT研修実施。	
財務の 視点	科学的介護への取り組み	「ほのぼの」のLIFEのデータを活用し、利用者の状態像の変化を把握する。 ①LIFE検討委員会を開催。 ②科学的介護推進体制加算の算定開始。 ③フィードバックデータから状態維持のためのケア模索。	①開催回数 ②加算算定期	①6回以上 ②10月から	三枝ケアマネ 宇都ケアマネ	原主任 植村栄養士 土屋機能訓練 細川看護職員	①年間で6回以上開催し下記内容を検討実施する。 ・加算算定へ向けて課題整理し、負担の少ない導入方法を検討。 ・現状の各種アセスメントを再検討し、状態像の把握方法を見直し。 ・ケアプラン、介護計画、記録の在り方の検討。 ②10月から算定開始	
	稼働率の安定化	①新規顧客の開拓。 ②緊急ショート受け入れ条件を整備する。	稼働率	合計稼働率 96.0%	中田主任	北野サブリーダー 津川相談員	①営業 ・営業(電話連絡や居宅訪問): 半年に1回 ・営業(チラシ等の作成と配布): 下期中 ②緊急ショート受入条件の設定と周知: 上期中	
		入院者減少への取り組み。 重大事故の削減への取り組み。	入院者数	年1000人以下	船積施設長補佐	山下サブリーダー 仮谷リーダー	①看取り前の段階で意向確認を行いながら、施設での看取りを強化する。 ②主治医と随時連携をとり、早めの治療に取り組み、状態の悪化を防ぐ ③入院につながるような事故を防止するための学習会を開催する。	
水道光熱費の経費削減策の研究	①冷暖房の効果的な使用方法の研究。 ②水道使用の効果的な削減方法の研究。	削減の提案	削減案の提案の提出	川元リーダー	井上事務員 原主任 植村栄養士	①電気料金削減 ・24時間継続の冷暖房による電気使用量の増減の検証。 ・その他電気料金削減の方法を専門家に確認しながら検証。 ②水道量金削減 ・節水対策の研究の実施: 通年 ・水道使用状況把握のためのメーター設置を検討。		
顧客の 視点	行事再開に向けた取り組み	コロナ禍で休止した行事の再開を行う。	行事	行事再開	北野リーダー	津川相談員	コロナ禍の終息状況を見極める。 ①過去に協力してもらっていたボランティアへの連絡する。 ②新規のボランティアグループとの関係を構築する。 ③2023年度の年間の行事計画作成。	
	ノーリフティングケアの実施	介護機器を導入し、業務の改善。 ①入浴リフトの使用。 ②移乗リフトの使用。 ③スライディングボード・シートの使用。	①入浴リフトの実施 ②移乗リフトの使用 ③ボード・シートの研修	①入浴リフトマニュアル ②移乗リフト利用者数4名(雪) ③研修実施回数	原主任	①中村リーダー ②原リーダー ③阪本リーダー 土屋機能訓練	①入浴リフト ・華組導入入浴リフトの使用手順をまとめ、マニュアル化し安全に使用できる体制にする。 ・入浴使用者を選定し使用者を決定する。 ・使用後の評価を実施する。 ②移乗リフト ・雪組導入リフトについて、全職員が使用できる状態にする。 ・利用者選定を行い。利用を開始し、使用後の評価をまとめる。 ③スライディングボード ・ボード・シートの使用方法について学習会を年2回開催し、利用促進を図る。	
	面会再開に向けた取り組み	①居室やトイレ、寮母室の清掃の組内ルール徹底。 ②起床後の保清と身支度の徹底。 ③面会を知らない職員への指導。	①② 管理者チェック ③指導完了時期	①② 6月末まで月一回 ③6月末まで	原主任	介護サブリーダー	①②4月組会議でルールを確認し実行。月一回、施設長か施設長補佐がチェックを行う。 ③各組で対象者を実施し6月末までに完了する。	

業務プロセスの視点	介護職の体制を強化	①フロア間の調整役として統括主任体制を実現する。 ②申し送り方法の課題を再分析し、有効な方法を検討する。(新人や外国人労働者を戦力視する上で、新たな申し送り方法を検討)	①体制時期 ②見直し案の施行時期	①7月 ②下期中	船積施設長補佐	①原主任 ②原主任 徳野リーダー	①介護リーダー、サブリーダー体制を整備し、7月に統括主任体制を実現。 ②上期中に課題を再分析し、試行案を作成する。特定の組から試行し、年度内に評価する。
	ICT導入の研究	ICT機器の研究を行い2023年度導入機器を決定する。	ICT機器選定	ICT導入機器の決定	出水施設長	原主任 細川看護職員 北野サブリーダー	リーダー会議にて研究したたき台を11月までに作成。 運営委員会にて導入機器の決定を行う。
	事業継続のための係内ユーティリティ化	係内の担当の業務を複数理解することで業務継続計画に備える。	業務担当の交代	3組以上	船積施設長補佐	中田主任 高村主任 植村栄養士	事務係、相談係は4月から実施。 栄養係は9月に実施。
学習と成長の視点	介護リーダー・サブリーダーの研修	①リーダー対象として、勤務表作成、勤怠管理、残業承認ルールを熟知した職員の育成研修の実施。 ②サブリーダー対象として、利用者状態像把握方法の研修。	①リーダーによる勤怠管理実施時期 ②研修実施人数	①上期中 ②全サブリーダー	出水施設長	船積施設長補佐 高村主任	①勤怠管理 ・配置人数を把握しやすい勤務表の書式に修正。 ・労基上の注意点、勤務表作成の注意点をリーダーに研修。 ②LIFE検討委員会の内容を受けて、サブリーダーに対する研修を実施。
	eラーニングを活用した、園内研修の体系化	年間研修計画を策定し、運営基準必須研修をできるだけeラーニングを組み込む。 研修受講の試験・レポートを全員実施する。	研修の実施	必須研修の全職員実施	出水施設長	原主任 西本リーダー	5月事故防止、6月感染症予防、7月褥瘡予防、8月高齢者虐待防止、身体拘束適正化、9月看取り、2月高齢者虐待防止の研修の実施。
	資格取得者の増加	パートの介護職員を含め全員介護の資格を保有する。 介護福祉士資格保有者を増員する。	①認知症基礎研修受講 ②介護福祉士	①パート介護職員全員 ②介護福祉士資格取得者3名	船積施設長補佐	①松井事務員 ②原主任	①無資格のパート職員9名に対し、1月2名のペースで受講を計画し、受講を完了させる。 ②受験資格者に受験意向を確認。実務者研修未受講者は受講させる。 法人の資格取得支援を利用させる。

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		宝塚まどか園居宅介護支援事業所
所在地		兵庫県宝塚市美座2丁目22番2号
会議・委員会の種類		運営委員会、衛生委員会、居宅内定例会議 宝塚市介護認定審査会、宝塚市介護保険事業者協会居宅部会 地域貢献部会
基本事業		独自実施事業
地域貢献の 視点	地域に開かれた場所作り	コロナ禍終息後、月1回（第4土曜日）、オレンジカフェ（認知症カフェ）を開催します。
	地域社会との連携	民生委員や地域交流会の参加を通じて地域関係者と関係を構築し支援を必要とする人の課題解決に向けて協働していきます。
財務の視点	財政再建への対応	要介護月平均111人、要支援は月平均49件を目指します。
	新規利用者の確保	要支援・要介護合わせて月3件確保する。
顧客の視点	専門性を発揮した相談援助の実践	サービス提供状況の把握とモニタリングを行い、ケアプランの改善や新たなサービス導入に向けて提案します。
	在宅医療連携強化	医療連携事業所とのかかわり方を学び、利用者がより安心できる環境を提供していきます。
	利用者の情報管理	利用者に係る情報を共通化し、一元的に管理する。
業務プロセスの視点	災害時の体制づくり	災害・感染時における業務継続計画を作成する。
	BCP対応のための業務効率化の実施	BCP作成のため削減時の業務内容を検討し効果的に取り組めるよう作成する。
	委員会の整備	運営基準を意識した委員会の体制を再構築する。
学習と成長の視点	介護支援専門員の資質・向上を図る	適切な対応・困難ケースの共有を行い対応できるマネジメント技術を提供できる体制をつくる。
	ケアプランの適正化を目指す	第1表・第2表・第3表が連動した帳票となるようケアプランの具体的な内容や目標などについて記入方法について居宅内で定期的に研修をする。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
宝塚まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の 視点 貢献	地域に開かれた場所作り	コロナ禍終息後、月1回(第4土曜日)、オレンジカフェ(認知症カフェ)を開催します。	開催回数	月1回	喜多	梶田	コロナ禍終息後、オレンジカフェを月1回開催する。	
	地域社会との連携	民生委員や地域交流会の参加を通じて地域関係者と関係を構築し支援を必要とする人の課題解決に向けて協働していきます。	参加回数	年6回	安原	喜多	2か月に1回地域貢献部会、ケアマネ交流会に参加し求められるサービスの情報収集を行う。	
財務 の 視点	財政再建への対応	要介護月平均111人、要支援は月平均49件を目指します。	要介護・要支援の給付管理数	一人当たり担当件数1件増加	喜多	時吉	4～9月で2.5名の純増。 10～3月で2.5名の純増。	
	新規利用者の確保	要支援・要介護合わせて月3件確保する。	依頼件数	月3～5件	安原	梶田	月半ばで新規依頼件数を確認し、件数が満たない時は包括支援センターに受け持つことができる旨の連絡をいれる。	
顧客 の 視点	専門性を発揮した相談援助の実践	サービス提供状況の把握とモニタリングを行い、ケアプランの改善や新たなサービス導入に向けて提案します。	実施回数	年2回	小原	安原	モニタリングの結果、改善が必要と思われる利用者について検証・提案・見直しを半年に1人行う。	
	在宅医療連携強化	医療連携事業所とのかかわり方を学び、利用者がより安心できる環境を提供していきます。	医療連携についての学び	事例検討	梶田	小原	上期:医療連携事業所とのかかわり方を検討する。 下期:検討内容をまとめ提供する。	
	利用者の情報管理	利用者に係る情報を共通化し、一元的に管理する。	利用者情報	全利用者	安原	時吉	上期:ほのぼのをベースに、緊急ショート等に対応できる利用者情報を整理する。 下期:全担当利用者のデータを入力する。	
業務 プロセス の 視点	災害時の体制づくり	災害・感染時における業務継続計画を作成する。	進捗確認回数	年3回	梶田	喜多・時吉 小原・安原	利用者状況の把握:4～9月 原案作成:10～3月	
	感染時の事業継続の体制づくり	BCPを作成し、感染時の業務内容を見直しを検討し効果的な体制を図る。	事業継続計画	年3回	時吉	喜多・安原 小原・梶田	上期:他施設の事業継続計画の情報収集を行う。 下期:資料を参考に、事業継続計画の作成及び体制を構築する。	
	委員会の整備	運営基準を意識した委員会の体制を再構築する。	委員会表	委員会の開催	安原	梶田	上期:必要な委員会について調査を行う。 下期:特養の委員会と連携しながら委員会の開催を行う。	
学習 と 成長 の 視点	介護支援専門員の資質・向上を図る	適切な対応・困難ケースの共有を行い対応できるマネジメント技術を提供できる体制をつくる。	開催回数	毎週の開催	安原	喜多・時吉 小原・梶田	週1回会議を行い対応方法や困難ケースを事業所全体で把握し意見を交換できるようにする。	
	ケアプランの適正化を目指す	第1表・第2表・第3表が連動した帳票となるようケアプランの具体的な内容や目標などについて記入方法について居宅内で定期的に研修をする。	開催回数	年2回	時吉	喜多・安原 小原・梶田	半年に1回ケアプランの検討会を実施する。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門	特別養護老人ホーム神戸まどか園 神戸まどか園ショートステイ	
所在地	兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号	
会議・委員会の種類	会議：運営会議 リーダー会議 ユニット会議 衛生委員会 委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待 感染症対策 リスクマ ネージメント 入所検討 食事 口腔ケア	
基本事業	独自実施事業	
地域貢献の 視点	地域との共生を図る	コロナ禍における地域との連携の機会を作る。
	福祉避難所として地域との つながりを作る	福祉避難所として神戸市と連携し、訓練の実施を行う。
	B C P 計画の策定	B C P 計画を作成し、感染症対策・災害時対策を施設全体として 取り組んでいく。
財務の視点	財政再建への対応	加算の算定としてL I F Eの導入を計画し、上半期で準備、下 半期で算定を行って行く。
	安心すこやかセンター、 神戸まどか園居宅との連 携	長田区周辺の居宅事業所及び安心すこやかセンターとの連携を 深めていく。（ラインワークスを含む）
	医療機関、老健との綿密 な関係の構築	医療機関、老健等に定期的な訪問や情報提供により関係性を構 築していく。（ラインワークスを含む）
顧客の視点	L I F Eの導入による生 活の質の向上	L I F Eの導入によるケアの課題抽出と改善を図っていく。
	各ユニットの企画を検証 する	各ユニットの企画を全体に周知することにより、ユニット間の 相乗効果を図っていく。
業務プロセ スの視点	働きやすい環境作り	研修を定期的に行い、働きやすい環境を整備していく。
	業務の効率化	業務の見直しによる業務時間数の減少を図る。
学習と成長 の視点	個々のスキルアップと キャリアアップ	個々に応じた研修を提案し、資格取得のサポートを行う。
	介護技術等の習得	R X組青山氏から介護の楽しさや介護技術の向上を図り、ご利 用者の生活の質を高めていく。
	資格取得者の人数を増や す	介護福祉士、介護支援専門員、介護職員初任者研修、介護職員 実務者研修、認知症介護基礎研修の取得者を増やす。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
特別養護老人ホーム神戸まどか園・神戸まどか園ショートステイ

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点 の 地 域 貢 献	地域との共生	コロナ禍における地域との連携の機会を作る。	神戸シニアポイント制度の登録	登録	上田施設長	真砂相談員	「神戸シニアポイント」制度を活用し、地域との交流を行う。また、自治会との交流も図っていく。	
	福祉避難所として地域とのつながり	福祉避難所として神戸市と連携し、訓練の実施を行う。	実施	1回	上田施設長	岡崎施設長補佐	福祉避難所の訓練実施に向けて準備を行い、訓練を実施する。	
	BCP計画の策定	BCP計画を作成し、感染症対策及び災害時対策を施設として取り組んでいく。	計画書の作成	完了	岡崎施設長補佐	真砂相談員 中岡看護主任	BCP計画を検討し、訓練が実施できるように計画書を完成させる。	
財務の視 点	加算の算定(LIFE)の導入	上半期LIFE導入の準備期間とし、下半期に取得を行っていく。	実施	加算取得	真砂相談員	恒松相談員 沼本ケアマネ 磯部ケアマネ	上半期で運用に向けたほのぼののシステムの準備を行い、利用者周知の上、下半期に加算取得を行う。	
	安心すこやかセンター、神戸まどか園居宅との連携	長田区周辺の居宅介護支援事業所及びあんしんすこやかセンターとの連携を深めていく。	回数	4回	岡崎施設長補佐	真砂相談員	研修や会議等に参加し、顔の見える関係作りを行う。	
	医療機関、老健との綿密な関係の構築	医療機関、老健等に定期的な訪問や情報提供により関係性を構築していく。	回数	6回	岡崎施設長補佐	恒松相談員	定期的な訪問の実施とラインワークスを活用し、神戸まどか園の周知を行う。	
顧客の視 点	LIFEの導入による生活の質の向上	LIFEの導入によるケアの課題抽出と改善を図っていく。	加算取得	加算取得	真砂相談員	恒松相談員 沼本ケアマネ 磯部ケアマネ	LIFEを導入することにより、利用者様の生活の質の向上を検討する。	
	各ユニットの企画を検証する	各ユニットの企画を全体に周知することにより、ユニット間の相乗効果を図っていく。	回数	回数	上田施設長	松井介護リーダー 深蔵管理栄養士	各ユニットの行事計画を施設全体として周知していく。	
業務の視 点 の プ ロ セ ス	働きやすい環境作り	研修を定期的に行い、働きやすい環境を整備していく。	研修回数	4回	上田施設長	中岡看護主任	定期的に運営会議で研修を行う。またメンタルヘルス研修も行い、働きやすい環境を作っていく。	
	業務の効率化	適切なシフト作成と業務の見直しによる業務時間数の減少を図る。	昨年度業務時間数からの減少	減少	上田施設長	岡崎施設長補佐 労務担当事務員	毎月の業務時間数の確認を行う。	
学習の視 点 と 成 長	個々のスキルアップとキャリアアップ	個々に応じた研修を提案し、資格取得のサポートを行う。	回数	6回	上田施設長	岡崎施設長補佐	職員に応じたスキルアップができるように、研修を提案していく。	
	介護技術等の習得	RX組青山氏から介護の楽しさや介護技術向上を図り、ご利用者の生活の質を高めていく。	回数	1回	岡崎施設長補佐	研修担当	研修を開催することにより、介護の楽しさや介護技術向上を図っていく。	
	資格取得者の人数を増やす	介護福祉士、介護支援専門員、介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、認知症介護基礎研修の取得者を増やす。	人数	5名	上田施設長	岡崎施設長補佐	介護福祉士、介護支援専門員、介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、認知症介護基礎研修等一人一人にあったキャリア形成を行う。	

2022年度（令和4年度）事業計画

部門		神戸まどか園居宅介護支援事業所
所在地		兵庫県神戸市長田区大丸町1丁目5番1号
会議・委員会の種類		会議：運営会議 衛生委員会 委員会：身体拘束廃止 高齢者虐待 感染症対策 リスクマネジメント
基本事業		独自実施事業
地域貢献の視点	地域に根ざした事業所を作る	地域に開かれた事業所を意識し、神戸まどか園居宅介護支援事業所のブランド力を作っていく。
	地域の福祉拠点を作る	福祉の拠点作りを目指し、長田地区から選ばれる事業所を作る。
財務の視点	財政再建への対応	利用者の確保のために、神戸まどか園・安心すこやかセンター等と連携し、契約件数を増やしていく。
	他キャンパスと連携する	他キャンパスとの情報を共有し、市外からの受け入れ態勢を整備する。
顧客の視点	地域で暮らす支援体制を作る	地域行事に参加する。
	高齢者虐待、感染症等における計画書の策定	委員会や研修を通じて、地域に還元できる事業所を目指す。
	行政、医療機関、サービス事業所等と連携する	連携を基本に考え、相互に理解できる関係を作る。
業務プロセスの視点	宝塚まどか園居宅、一宮まどか園居宅と連携し、運営等を学ぶ	ほのぼのソフトを有効に活用し、効率的な運営を行う。
	電子媒体時代にあった書類の作成を行う	電子媒体等を活用し、効率的且つ介護保険制度に即した運営を行う。
学習と成長の視点	理念・運営を学ぶ	理念・運営を学ぶことにより、法人の職員としての自覚を持つ。
	介護支援専門員として、マネジメント力を学ぶ	介護支援専門員として基礎的なマネジメント力を身につける。

経営計画(2022年4月～2023年3月末)
神戸まどか園居宅介護支援事業所

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	責任者	担当者	スケジュール	評価
地域の視 点 の 視 点 の 視 点	地域に根ざした事業所を作る	地域に開かれた事業所を意識し、神戸まどか園居宅介護支援事業所のブランド力を作っていく。	回数	1回	岡崎	岡崎	地域のニーズを知るための場を設け、実践する。	
	地域の福祉拠点を作る	介護相談会、福祉展示会を開催する。	回数	1回	岡崎	岡崎	地域のニーズを知り、企画し、開催する。	
財務の視 点 の 視 点	財政再建への対応	利用者の確保のために、神戸まどか園・安心すこやかセンター等と連携し、契約件数を増やしていく。	契約者数	10名	岡崎	長野	神戸まどか園、安心すこやかセンターと連携し、契約者数を増やす。	
	他キャンパスと連携する	他キャンパスとの情報を共有し、市外からの受け入れ態勢を整備する。	打ち合わせ回数	10回	岡崎	長野	他キャンパスと情報を共有することにより、契約者数を増やす。	
顧客の視 点 の 視 点	地域で暮らす支援体制を作る	地域行事に参加する。	回数	1回	岡崎	岡崎	参加できる関係性を作っていく。	
	高齢者虐待、感染症等の委員会を開催し、情報を得る	研修及び委員会へ参加し、計画案を作成する。	回数	4回	岡崎	長野	感染症対策、高齢者虐待、BCP計画等を作成する。	
	行政、医療機関、サービス事業所等と連携する	行政、医療機関、サービス事業所と情報を共有し、講習会等を企画していく。	回数	1回	岡崎	岡崎	主催できる下地を作っていく。	
業務の視 点 の 視 点	宝塚まどか園居宅、一宮まどか園居宅と連携し、運営等を学ぶ	ほのぼのの運営(入力等)を学び、実践をしていく。	回数	3回	岡崎	長野	ほのぼのソフトを学び、効率の良い運営を行う。	
	電子媒体時代にあった書類の作成を行う	電子媒体を使用し、介護保険法に基づく運営を行う。	回数	毎月	岡崎	長野	介護保険法を学び、ほのぼのソフトを有効に活用していく。	
学習と成 長 の 視 点	理念・運営方針を学ぶ	理念・運営方法を学ぶことにより、法人職員の自覚を持つ。	回数	1回	岡崎	長野	理念・運営を学び、業務に活かしていく。	
	介護支援専門員として、マネジメント力を学ぶ	基礎的なマネジメント力を学び、実践する。	回数	3回	岡崎	長野	介護支援専門員としての基礎的なスキルを身につける。	

社会福祉法人正久福祉会 役員等名簿

区分	No.	氏名	任期
理事長	1	上田 芳史	2021年6月23日～ 2022年度に関する 定時評議員会終結の時まで
業務執行 理事	2	上田 崇	
理事	3	上山 安博	
	4	出水 賢也	
	5	船積 靖明	
	6	山川 義光	
監事	1	上垣 博	
	2	在賀 孝介	

区分	No.	氏名	任期
評議員	1	飯田 吉則	2021年7月5日～ 2024年度に関する 定時評議員会終結の時まで
	2	小田 伸二	
	3	下川 洋一	
	4	世良 智	
	5	段林 繁	
	6	村上 貞治	
	7	岡本 務	2022年6月14日～ 2024年度に関する 定時評議員会終結の時まで

社会福祉法人正久福祉会 役員等報酬規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人正久福祉会（以下「当法人」という。）の定款第9条及び第23条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」という。）の報酬等について定めることを目的とする。

(報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次のとおり報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員については、報酬並びに賞与及び退職手当を支給する。
- (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬及び退職手当を支給することとし、賞与は支給しない。
- 2 常勤役員に対する退職手当は、役員等として円満に任期を満了、又は辞任、死亡により退任した者に支給するものとし、死亡により退任した者については、その遺族に支払うものとする。
- 3 当法人の理事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が一人当り1,500万円以下とする。ただし、退職手当を除く。
- 4 当法人の監事に対する報酬等の支給額は、各年度の総額が52万円を超えない範囲とする。

(常勤役員の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、評議員会が定める額
- (2) 常勤役員が会務のために出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、宿泊料）を支給する。
- (3) 通勤手当については、職員給与規程の規定に準ずる額。但し、職員給与で支給している場合は支給しない。
- (4) 退職手当については、役員報酬を支給するものを対象とし、評議員会が認めた額を支給する。

(非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表1に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のために出張をしたときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、宿泊料）を支給する。
- (3) 退職手当については、10万円以内で記念品を支給するものとし、支給については都度評議員会の決議を要する。

2 理事会及び評議員会等の会議に出席した場合の交通費については、職員旅費規程に基づき、実費相当額を支給する。

(役員を兼務する職員)

第5条 当法人の職員が、役員として選任された場合は、職員として処遇し、役員報酬等は支給しない。

(支給の方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月15日とする。ただし、その日が土曜日及び休日に当たるときは、翌営業日に支払うものとする。
- 2 非常勤役員等に対する報酬は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。
 - (1) 報酬については、会務に従事した都度、支給する。
- 3 報酬等の支払いは、現金支給又は銀行振込みとする。
- 4 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。
- 5 退職手当については、任期の満了、辞任または死亡により退職した後、評議員会の決議後2か月以内に支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、常勤役員が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 当法人は、この規定をもって、社会福祉法第59条の2第3項に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行う。

(補足)

第11条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

別表1 非常勤役員等の報酬（第4条関係）

（1）評議員

	日額（源泉徴収後）
評議員会への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

（2）理事

	日額（源泉徴収後）
理事会等会議への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

（3）監事

	日額（源泉徴収後）
監事監査等への出席	1万円
理事会、評議員会、評議員選任解任委員会等会議への出席	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間以上）	1万円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤 （会務が4時間未満）	5千円

沿革

平成31年3月28日 役員報酬規程・役員退職慰勞金規程

平成31年3月31日廢止

役員等報酬規程 平成31年4月1日施行